

(様式第 10)

九大院医医第 62 号
平成 29 年

厚生労働大臣

殿

九州大学病院長 石橋 達

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1

開設者の住所及び氏名

住 所	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
氏 名	国立大学法人九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出 3 - 1 - 1	電話(092)641-1151 (代表)
-----------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 血液・腫瘍・心血管内科 2 免疫・膠原病・感染症内科 3 消化管内科 4 腎・高血圧・脳血管内科 5 内分泌代謝・糖尿病内科 6 肝臓・膵臓・胆道内科 7 心療内科 8 神経内科 9 循環器内科 10 呼吸器科		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科

医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
1 消化管外科(1) 2 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 3 呼吸器外科(1) 4 乳腺外科(1) 5 内分泌外科 6 消化管外科(2) 7 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 8 呼吸器外科(2) 9 乳腺外科(2) 10 血管外科 11 心臓血管外科 12 小児外科、成育外科、小腸移植外科		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 2 矯正歯科 3 歯内治療科 4 歯周病科 5 義歯補綴科 6 咬合補綴科 7 顎口腔外科 8 顔面口腔外科 9 歯科麻酔科 10 口腔画像診断科 11 口腔総合診療科 12 高齢者歯科・全身管理歯科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科・病理部	3 総合診療科	4 先端分子・細胞治療科
5 形成外科			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
93床	床	床	床	1,182床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成29年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	360人	204人	564人	看護補助者	27人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	94人	60.8人	154.8人	理学療法士	21人	臨床検査技師	103人
薬 剤 師	85人	0人	85人	作業療法士	10人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	41人	0人	41人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1183人	10.8人	1193.8人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	15人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	26人
歯科衛生士	20人	0人	20人	歯科技工士	5人	事務職員	329人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	68人	その他の職員	181人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成29年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	39人	眼科専門医	16人
外科専門医	56人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	28人
小児科専門医	36人	脳神経外科専門医	7人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	18人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	4人
		合 計	282人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (石橋達朗) 任命年月日 平成26年1月1日

副病院長 (安全管理・危機管理担当) 平成18年4月1日～平成20年3月31日

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,090人	34人	1,124人
1日当たり平均外来患者数	2,257人	686人	2,943人
1日当たり平均調剤数	2,116 剤		
必要医師数	250人		
必要歯科医師数	39人		
必要薬剤師数	38人		
必要(准)看護師数	663人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	442.93m ²	鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
救命ICU	292.52m ²	鉄筋コンクリート	病床数	10床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	54床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 84.74 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	1,597 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	629 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	371 m ²	SRC	(主な設備) パーチャルスライト・スキャナー、自動免疫染色装置			
病理解剖室	350 m ²	SRC	(主な設備) ラミナフローユニット・イオハザード解剖台			
研究室	m ²		(主な設備)			
講義室	m ²		室数	室	収容定員	人
図書室	m ²		室数	室	蔵書数	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成28年4月1日～平成29年3月31日	
紹介率	76.5%	逆紹介率	64.9%
算出根拠	A：紹介患者の数	20,897人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	19,147人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,663人	
	D：初診の患者の数	29,493人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学	○	安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
木村早希子	佐賀大学		安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	<input checked="" type="radio"/> 有 無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
宮部 治恵	キャンサーサポート		医療を受ける者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表の方法	
ホームページ上に公表している。	

医療法第6条の6第1項に基づく診療科名

		医科	
届出	標榜診療科(医療法)	院内診療科名	備考
○	内科	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科 消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科 内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科 総合診療科 先端分子・細胞治療科	
○	心療内科	心療内科	
○	精神科	精神科神経科	
	神経科		
○	神経内科	神経内科	
○	呼吸器科	呼吸器科	
	消化器科(胃腸科)		
○	循環器内科	循環器内科	
	アレルギー科		
	リウマチ科		
○	小児科	小児科	
○	外科	消化管外科(1) 消化管外科(2) 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 呼吸器外科(1) 呼吸器外科(2) 乳腺外科(1) 乳腺外科(2) 内分泌外科 血管外科	
○	整形外科	整形外科	
○	形成外科	形成外科	
	美容外科		
○	脳神経外科	脳神経外科	
	呼吸器外科		
○	心臓血管外科	心臓血管外科	
○	小児外科	小児外科、成育外科、小腸移植外科	
	皮膚泌尿器科		
○	皮膚科	皮膚科	
○	泌尿器科	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	
	性病科		
	こう門科		
	産婦人科		
○	産科	産科婦人科	
○	婦人科		
○	眼科	眼科	
○	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
	気管食道科		
○	リハビリテーション科	リハビリテーション科	
○	放射線科	放射線科	
○	病理診断科	病理診断科・病理部	
○	麻酔科	麻酔科蘇生科	
○	救急科	救命救急センター	

24

		歯科	
	標榜科	院内診療科名	備考
○	歯科	歯内治療科 歯周病科 義歯補綴科 咬合補綴科 歯科麻酔科 口腔画像診断科 口腔総合診療科 高齢者歯科・全身管理歯科	
○	矯正歯科	矯正歯科	
○	小児歯科	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	
○	歯科口腔外科	顎口腔外科 顔面口腔外科	

4

必要医師数等試算表(医療法施行規則第22条の2に基づく)

全体

一日平均入院患者者数(全体)	1124.000	A		
一日平均入院患者者数(全体)(入院新生児含む)	1129.600	A'	新生児	5.6
一日平均外来患者者数(全体)	2943.000	B		
一日平均入院患者者数(医科)	1090.000	C		
一日平均外来患者者数(医科)	2257.000	D		
一日平均入院患者者数(歯科)	34.000	E		
一日平均外来患者者数(歯科)	686.000	F		

必要医師数	249.10000	≒	250	L	$(C+(D\div 2.5))\div 8$
必要歯科医師数	38.55	≒	39	M	$(E\div 8)+(F\div 20)$
必要看護師及び准看護師	662.90	≒	663	N	$(A'\div 2)+(B\div 30)$
必要薬剤師数	37.47	≒	38.00	O	$A\div 30$

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	0人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	3人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
オクトレオチド皮下注射療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	1人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	1人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断	1人
テモゾロミド用量強化療法	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	患者数	患者数
5	56	205	
41	57	116	
5	58	26	
0	59	0	
7	60	64	
150	61	3	
16	62	0	
2	63	73	
0	64	0	
0	65	42	
192	66	32	
1	67	33	
311	68	5	
46	69	71	
4	70	12	
1	71	203	
25	72	20	
90	73	0	
15	74	39	
4	75	18	
13	76	2	
84	77	6	
1	78	53	
1	79	1	
1	80	1	
7	81	3	
0	82	0	
18	83	2	
0	84	130	
2	85	27	
0	86	65	
0	87	1	
0	88	52	
38	89	6	
31	90	200	
2	91	5	
8	92	3	
5	93	124	
2	94	2	
71	95	11	
3	96	357	
16	97	486	
21	98	2	
16	99	3	
14	100	0	
12	101	0	
26	102	0	
0	103	0	
509	104	0	
155	105	0	
195	106	0	
57	107	1	
25	108	2	
12	109	1	
3	110	0	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	4
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	5
116	アトピー性脊髄炎	6	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	2
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	6	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	2
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	3
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	4
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	6
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	8

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	23	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	2
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	2
222	一次性ネフローゼ症候群	19	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	1	281	クリッペル・トレノニー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	3
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	8
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病		319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	
308	進行性白質脳症		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
309	進行性ミオクローヌスてんかん		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
310	先天異常症候群		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
311	先天性三尖弁狭窄症		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312	先天性僧帽弁狭窄症		324	メチルグルタコン酸尿症	
313	先天性肺静脈狭窄症		325	遺伝性自己炎症疾患	
314	左肺動脈右肺動脈起始症		326	大理石骨病	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316	カルニチン回路異常症		328	前眼部形成異常	
317	三頭酵素欠損症		329	無虹彩症	
318	シトリン欠損症		330	先天性気管狭窄症	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

※ No.307～330は平成29年4月1日指定

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算 2
・歯科外来診療環境体制加算	・退院支援加算 1
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算 3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・精神疾患診療体制加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟15対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料1(CCU病棟)
・診療録管理体制加算 1	・救命救急入院料3(ハイケア病棟)
・医師事務作業補助体制加算(30対1)	・救命救急入院料4(救命ICU)
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・特定集中治療室管理料 1
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・看護補助加算 1 (精神科病棟のみ)	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算2	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・感染防止対策地域連携加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・総合評価加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料 1	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料 2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料 3	・胎児心エコー法
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・人工臓器検査、人工臓器療法
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・外来放射線照射診療料	・脳磁図
・ニコチン依存症管理料	・脳波検査判断料 1
・がん治療連携計画策定料	・神経学的検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・補聴器適合検査
・薬剤管理指導料	・ロービジョン検査判断料
・地域連携診療計画加算(退院支援加算の加算)	・内服・点滴誘発試験
・医療機器安全管理料1	・有床義歯咀嚼機能検査
・医療機器安全管理料2	・画像診断管理加算2
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・歯科画像診断管理加算1・2
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・ポジトロン断層撮影
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピュータ断層複合撮影
・造血器腫瘍遺伝子検査	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝学的検査	・冠動脈CT撮影加算
・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外傷全身CT加算
・検体検査管理加算(IV)	・乳房MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・心臓MRI撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・外来化学療法加算1	・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・運動器リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん患者リハビリテーション料	・網膜再建術
・各リハビリテーション料の初期加算	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料 2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・通院・在宅精神療法の児童思春期精神科専門管理加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・精神科作業療法	
・認知療法・認知行動療法 1・2	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)、乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・内視鏡下筋層切開術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療保護入院等診療料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・硬膜外自家血注入	・経皮的中隔心筋焼灼術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・手術用顕微鏡加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算 1及び2	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・小児補助人工心臓
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・同種死体肝移植術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膝体尾部腫瘍切除術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・高エネルギー放射線治療
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・1回線量増加加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療
・同種死体腎移植術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・生体腎移植術	・画像誘導密封小線源治療加算
・膀胱水圧拡張術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・口腔病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込・置換術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・胎児胸腔・羊水腔シャント術(一連につき)	・口腔病理診断管理加算2
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料Ⅰ	・歯科矯正診断料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	・入院時食事療養(Ⅰ)
・手術時歯根面レーザー応用加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術(保険収載H28年4月～)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	59 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 98 例 / 剖検率 42.4 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。



高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明	赤司 浩一	第一内科	4,108 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究S)
2	骨髄性およびリンパ性白血病幹細胞に共有されるTIM-3増殖シグナル機構の解析	宮本 敏浩	第一内科	455 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
3	階層ベイズによる高多様性領域HLAゲノムシーケンス解析法の開発	水野 晋一	第一内科	468 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
4	幹細胞ニッチの機能破綻による発癌機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	507 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
5	新規細胞系列ILCsの関節リウマチ発症・進展における役割の解明	有信 洋二郎	第一内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
6	全身性強皮症の病態形成におけるマスト細胞および生理活性物質の役割の解明	赤星 光輝	第一内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
7	インフラマソームの制御機構の解明と自己免疫疾患治療への応用	三苫 弘喜	第一内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
8	ヒト検体を用いた消化器癌幹細胞の分化制御機構の解明と遠隔転移抑制法の確立	馬場 英司	第一内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
9	膝ベータ細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明	勝田 仁	第一内科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
10	Prdm16を介したミトコンドリア代謝経路の造血幹細胞制御における役割の解明	亀崎 健次郎	第一内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
11	原発性胆汁性肝硬変 (PBC) の胆管細胞から明らかにする発症機序と治療への応用	下田 慎治	第一内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
12	新規治療戦略の確立をめざした慢性骨髄系腫瘍幹細胞の同定	竹中 克斗	第一内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
13	インフルエンザ患者から分離されたウイルスの全ゲノム解析によるワクチン効果の検討	鄭 湧	第一内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
14	自己免疫疾患の病態におけるエフェクターB細胞と制御性B細胞の役割	新納 宏昭	第一内科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
15	Exhaustion関連分子による白血病幹細胞制御機構の解明	菊繁 吉謙	第一内科	845 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究A)
16	アポトーシス/CD300aを基軸とした全身性強皮症の病態解明と新規治療法開発	綾野 雅宏	第一内科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
17	骨髄ニッチを最適化した異種移植アッセイによる新規がん幹細胞アッセイ系の確立	赤司 浩一	第一内科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
18	生体イメージングを用いた神経による造血幹細胞ニッチ制御機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	182 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	大学病院研修医のストレスと対処法ならびにメンタルヘルスとの関わりに関する研究	丸山 徹	第一内科	65 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
20	細胞周期を考慮したBKウイルス腎症診断法の確立	升谷 耕介	第二内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
21	オートファジーは血管石灰化を抑制するか?	鳥巢 久美子	第二内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
22	慢性腎臓病 (CKD) 進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究	鶴屋 和彦 (分担)	第二内科	100 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
23	患者レジストリを活用した難知性クッシング症候群及びサブクリニカルクッシング症候群の病態解明と11 β -HSD1阻害剤の臨床開発	野村 政壽	第三内科	5,867 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
24	ミトコンドリアダイナミクスが制御するオルガネラネットワーク機構の解明とその応用	野村 政壽	第三内科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
25	プリン作動性化学伝達による糖代謝制御	坂本 昌平	第三内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
26	代謝と炎症を制御するミトコンドリアダイナミクス	王 麗香	第三内科	234 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
27	末梢血単核を用いた急性肝障害における免疫システム異常の評価	国府島 庸之	第三内科	200 万円	補 公益財団法人 武田科学振興財団
28	ゲノム編集技術による膵管上皮細胞から膵 β 細胞新生の確立と新たな糖尿病治療戦略	伊藤 鉄英	第三内科	208 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
29	切除不能進行性消化器・膵神経内分泌腫瘍の予後に関する後向き観察研究 (PROP-UP study I)	伊藤 鉄英	第三内科	4,000 万円	補 公益財団法人 先端医療振興財団
30	治癒切除不能進行性消化器・膵神経内分泌腫瘍の予後に関する前向き観察研究 (PROP-UP study II)	伊藤 鉄英	第三内科	8,000 万円	補 公益財団法人 先端医療振興財団
31	治癒切除不能進行性消化器・膵神経内分泌腫瘍患者の血清クロモグラニンA・NSEに関する研究 (PROP-UP study II 付随研究)	伊藤 鉄英	第三内科	3,000 万円	補 公益財団法人 先端医療振興財団
32	腸内細菌・発酵産物による制御性T細胞表面結合TGF- β 発現誘導の研究	中村 和彦	第三内科	247 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
33	下部食道括約筋における筋原性緊張調節機序の解明と新規食道アカラシア治療薬の開発	伊原 栄吉	第三内科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
34	ME/CFS 患者の心身医学的分析	吉原 一文	心療内科	26 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
35	短鎖脂肪酸による宿主行動変化の全容とそのメカニズム	朝野 泰成	心療内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
36	全ゲノムと免疫病理解析に基づく脱髄性疾患のグリアシンシチウム破綻機序の解明と修復	吉良 潤一	神経内科	2,002 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究A)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	グリア特異的コネクシンコンディショナルノックアウトによる巨大同心円状脱髄巢の誘導	吉良 潤一	神経内科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
38	脱髄性疾患・統合失調症における白質グリア障害の機構解明と画期的治療法の開発	吉良 潤一	神経内科	1,010 万円	補 文部科学省科学研究費
39	難治性疾患政策研究事業「難病医療資源の地域ギャップ解消をめざした難病医療専門員のニーズ調査と難病医療専門員ガイドブックの作成」	吉良 潤一	神経内科	346 万円	委 厚生労働科学研究費補助金
40	多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝子環境因子探索による病態解明	吉良 潤一	神経内科	3,161 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
41	抗 Neurofascin155抗体関連中枢・末梢神経障害症候群（CCPD/CIDP）の診療ガイドライン作成のための定量的抗体測定法の開発と基盤エビデンスの構築	吉良 潤一	神経内科	808 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
42	アストログリアコネクシンの脳内免疫系賦活作用の抑制による多発性硬化症治療法の開発	山崎 亮	神経内科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
43	局所皮質異形成におけるミオクロニー発作の誘導とその分子メカニズムの解析	高瀬 敬一郎	神経内科	143 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
44	てんかん脳の異常ネットワーク形成により発現する細胞膜蛋白を標的とする新規治療	重藤 寛史	神経内科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
45	筋萎縮性側索硬化症の病早期白質浸潤ミクログリアによる運動ニューロン逆行性変性起源	林 信太郎	神経内科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
46	脳梗塞急性期プロトコル改修による治療効率及び予後の改善に関する研究	松本 省二	神経内科	52 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
47	日本人多発性硬化症の全ゲノム関連解析に基づく $\gamma\delta$ T細胞と自然免疫を標的とした治療	松下 拓也	神経内科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
48	脳コネクトーム可視化によるアルツハイマー病での分子病理進展機序の解明	山下 謙一郎	神経内科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
49	筋萎縮性側索硬化症におけるCCR2陽性単球による神経保護機構解明と移植療法の開発	立石 貴久	神経内科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
50	多発性硬化症に特異的な病原性Th17細胞でのレトロエレメント挿入多型とその作用	河野 祐治	神経内科	143 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
51	グリアシンシチウムを介するエネルギー供給機構の破綻による巨大脱髄巢形成機序の解明	眞崎 勝久	神経内科	65 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
52	扁桃体腫大内側側頭葉てんかんの脳磁図マーカーの確立と扁桃体選択的切除術の適応決定	茶谷 裕	神経内科	200 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
53	てんかんにおける大域ネットワーク機能障害の病態解明とそれに基づいた治療法の開発	上原 平	神経内科	65 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
54	T細胞によるグリアコネクシン喪失機構の解明とそれに基づく脱髄疾患の新規治療法開発	渡邊 充	神経内科	195 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
55	C型レクチン Mincle の中枢脱髄疾患エフェクター相での役割に基づいた治療法開発	篠田 絢司	神経内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
56	アトピーが脊髄グリアを活性化して神経障害性疼痛を誘導する機構の解明と新規治療開発	米川 智	神経内科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
57	筋萎縮性側索硬化症における電気シナプス喪失による運動ニューロン死の促進とその制御	小早川 優子	神経内科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
58	抗neurofascin155抗体関連脱髄疾患のフラグメント抗体による病態モデル	緒方 英紀	神経内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
59	心筋リモデリングにおけるmitoNEETによるミトコンドリア機能制御機構の解明	筒井 裕之	循環器内科	546 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
60	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	5,104 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
61	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	筒井 裕之	循環器内科	859 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
62	脳卒中・循環器病の遠隔医療の開発と検証のための研究	筒井 裕之	循環器内科	1,128 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
63	認知症と心血管病の改善を図る迷走神経刺激効果を有する簡易トレーニングプログラムの開発とメカニズムの解明	井手 友美	循環器内科	626 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
64	重症心不全における自由水排泄促進に抗する代償機構の解明	日浅 謙一	循環器内科	150 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
65	低酸素応答による生理的心肥大抑制を介した心不全発症機転の解明	池田 昌隆	循環器内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
66	Nox4を介したミトコンドリア形態制御の分子基盤解明による新たな心不全治療の開発	松島 将士	循環器内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
67	トラスツズマブ誘発性心筋症の危険因子の同定と機序解明	大谷 規彰	循環器内科	221 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
68	ミトコンドリアDNAをターゲットとした新しい心不全治療の開発	藤野 剛雄	循環器内科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
69	容量負荷を伴う成人先天性心疾患の介入による右室の可逆性の検討	坂本 一郎	循環器内科	182 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
70	SP-D欠損マウスを用いた喘息COPDオーバーラップ症候群の病態解析と治療法探索	福山 聡	呼吸器科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
71	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における癌幹細胞マーカーCD44vの機能解析	岡本 勇	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
72	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	2,486 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
73	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム比較試験	岡本 勇	呼吸器科	319 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
74	高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準治療の確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	60 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
75	アンメットメディカルニーズにおける抗がん薬のPK/PDに基づく最適化医療の実施	岡本 勇	呼吸器科	39 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
76	ALK融合遺伝子陽性のⅢ期非小細胞肺癌に対する集学的治療法の開発に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	200 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
77	Liquid Biopsyによる分子標的薬の治療感受性・抵抗性の予測および新規獲得耐性機序の解明	岡本 勇	呼吸器科	195 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
78	非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセドを用いた術後補助化学療法	岡本 勇	呼吸器科	13 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
79	未承認薬の早期臨床開発試験における薬物動態・薬力学解析・薬理遺伝学解析の標準化に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	20 万円	委 国立がん研究センターがん研究開発費
80	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	岡本 勇	呼吸器科	25 万円	委 国立がん研究センターがん研究開発費
81	子宮内膜幹細胞の老化とそれに基づく着床不全の病態の解明	加藤 聖子	産科婦人科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
82	着床・初期胎盤形成における絨毛・子宮内膜幹細胞の維持機構とその破綻の病態の解明	加藤 聖子	産科婦人科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
83	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	加藤 聖子	産科婦人科	495 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
84	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	加藤 聖子	産科婦人科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
85	転写調節機構から見た子宮体癌の浸潤・転移機構を司る新たな分子機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
86	小児がん患者における輸血後鉄過剰症に対する鉄キレート療法の有用性	古賀 友紀	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
87	Pten変異マウスを用いた新しいてんかん病理・治療モデルの確立	酒井 康成	小児科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
88	X連鎖劣性遺伝性疾患女性患者由来iPS細胞を用いたX染色体不活化機構の解明	高田 英俊	小児科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
89	新生児・乳児に発症する突発性血栓症の病態解明および治療管理法と根治療法の確立に関する研究	大賀 正一	小児科	693 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
90	重篤な疾患や障害をもつ子どもの延命に関わる治療方針決定について	戸田 尚子	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	新生児気管支肺異形成BPD重症化因子の検索と炎症特異的な治療戦略の開発	落合 正行	小児科	195 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
92	mTOR阻害薬による川崎病患者血清特異的物質の炎症惹起作用抑制の検討	西尾 壽乗	小児科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
93	脂肪萎縮性糖尿病原因遺伝子POLD1の機能解析	大久保 一宏	小児科	195 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
94	動脈硬化早期における未知の内因性NOD1リガンドの検索	神野 俊介	小児科	260 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
95	極低出生体重児における高フェリチン血症の病態解析	藤吉 順子	小児科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
96	亜急性硬化性全脳炎の病態解明とバイオマーカーの確立	大賀 正一 (分担)	小児科	30 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
97	小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	10 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
98	慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	大賀 正一 (分担)	小児科	75 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
99	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	高田 英俊 (分担)	小児科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
100	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証班	酒井 康成 (分担)	小児科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
101	Toll様受容体を介す熱性痙攣と続発性てんかんの病態解明と新規分子標的療法の開発	石崎 義人 (分担)	小児科	15 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
102	先天性赤芽球癆（Diamond-Blackfan貧血）の新規原因遺伝子の同定と病態解明に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	50 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
103	シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱（FMF）に対するトシリズマブの医師主導治験	高田 英俊 (分担)	小児科	160 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
104	PS細胞を活用した血液・免疫系難病に対する革新的治療薬の開発	高田 英俊 (分担)	小児科	215 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
105	転移を導く臓器特異的リーディングセルの解明と微小転移環境リモデリングの制御	中村 雅史	第一外科	611 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
106	新規人工ウイルスによるDDSとmicroRNA制御による膵癌治療の新展開	永井 英司	第一外科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
107	膵癌微小環境reprogrammingによる癌進展抑制性膵星細胞集団の誘導	水元 一博	第一外科	533 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
108	膵癌の新たな転移・再発機序の解明；膵管内播種に着目して	大塚 隆生	第一外科	611 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	治療誘導性secretomeにかかわる肺癌微小環境の新たな機序解明とその制御	真鍋 達也	第一外科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
110	肺癌微小環境normalizationと浸潤を導くleading cellの解明	大内田 研宙	第一外科	533 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
111	肺癌肝転移における微小環境誘導メカニズムの解明とそのリモデリングによる制御	藤田 逸人	第一外科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
112	肺癌前癌病変周囲の間質細胞由来exosomeに着目したバイオマーカーの開発	宮坂 義浩	第一外科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
113	オートファジーによる癌幹細胞静止期維持機構の解明及び人工ウイルス治療法の開発	仲田 興平	第一外科	468 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究A）
114	肺癌細胞におけるオートファジー誘導を標的とした新規創薬スクリーニング	仲田 興平	第一外科	169 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
115	肺癌の転移・播種における間質細胞（線維芽細胞・肺癌細胞）との関わり	森山 大樹	第一外科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
116	切除標本からの門脈系exosome解析による大腸癌肝転移ハイリスク群選別法の発明	貞苺 良彦	第一外科	143 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
117	進行大腸癌における白金錯体系薬剤の蛍光X線分析を用いた腫瘍組織中動態と薬理効果に関する検討	永吉 絹子	第一外科	50 万円	補 公益信託 外科学研究助成基金
118	がん幹細胞化に関与するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発	前原 喜彦	第二外科	3,562 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究S）
119	難治性がんにおけるSelf-niche仮説の提唱と革新的治療の開発	前原 喜彦	第二外科	234 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
120	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	前原 喜彦	第二外科	3,260 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
121	宇宙空間における筋萎縮（Sarcopenia）の分子機序解明と新たな治療への展開	吉住 朋晴	第二外科	143 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
122	がんのニオイ発生の分子機序解明と新しいがん診断法の開発	沖 英次	第二外科	208 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
123	消化管癌における免疫チェックポイント阻害剤の分子機序解明とがん免疫複合療法の開発	佐伯 浩司	第二外科	208 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
124	肺扁平上皮癌における喫煙量別比較に基づいた新たなドライバー遺伝子変異の同定	岡本 龍郎	第二外科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
125	重症虚血肢に対する老化制御遺伝子BubR1導入による革新的血管新生療法	松本 拓也	第二外科	221 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
126	非小細胞肺癌における抗炎症及び抗線維化による腫瘍制御とその分子機序の解明	庄司 文裕	第二外科	104 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	脂肪肝の再生に於けるオートファジーの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	ストレス応答性転写因子による代謝リプログラミングを標的とした肝癌への革新的治療	伊藤 心二	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	食道癌における酸化ストレス損傷のメカニズム解明と革新的治療法の開発	中島 雄一郎	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
130	ALK阻害剤に対する耐性機序の網羅的解析と耐性克服の治療戦略の確立	豊川 剛二	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
131	トリプルネガティブ乳癌における上皮間葉系移行の分子機序解明と新規治療への展開	山下 奈真	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
132	DNAミスマッチ修復異常大腸癌における免疫寛容誘導メカニズムの解明	中西 良太	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
133	肝類洞様血管構造解析による肝細胞癌に対する肝移植後再発機序の解明	原田 昇	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
134	肝線維化及び発癌に関わるマクロファージと線維芽細胞間の分子シグナルの解明	本村 貴志	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
135	マウスを用いた胃癌腹膜播種規定因子の解明と治療標的分子の探索	藏重 淳二	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
136	慢性炎症及び線維化に着目した肺癌悪性度獲得メカニズムの解明と治療への応用	庄司 文裕	第二外科	200 万円	補 公益財団法人武田科学振興財団
137	肝発癌を促進する微小環境の制御による新しい癌治療法の開発の研究	本村 貴志	第二外科	10 万円	補 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
138	TFTD(コンサーフ®)のDNA取り込み量測定法の新規開発と大腸癌治療への応用	中西 良太	第二外科	10 万円	補 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
139	血管攣縮の観点から行う大腿骨頭壊死症の病態解析と予防法の確立	池村 聡	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
140	関節疾患に対する再建術における動態要素を含めた3次元術前計画の実現化	水内秀城	整形外科	107 万円	補 九州大学学術研究・産学官連携本部(2016年度QRプログラムわかばチャレンジ)
141	X線動画像とCT、CADモデルを用いた股関節の三次元動態解析	濱井 敏	整形外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
142	特発性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国国際研究	本村 悟朗	整形外科	730 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
143	大腿骨頭壊死症における骨頭圧潰予防を目指した病態解析	本村 悟朗	整形外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
144	骨髄間質細胞を標的とした、悪性骨軟部腫瘍の新規治療法の開発	松本 嘉寛	整形外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	松本 嘉寛 (分担)	整形外科	20 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究A)
146	変形性関節症における新しい病態機序 -Transthyretin性アミロイド沈着-	赤崎 幸穂	整形外科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
147	長寿遺伝子であるFOXO転写因子の活性化による変形性関節症治療	赤崎 幸穂	整形外科	150 万円	補 平成28年度長寿科学研究者支援事業
148	間葉系幹細胞移植と併用したスタチン製剤の関節内投与による軟骨再生促進の試み	赤崎 幸穂	整形外科	150 万円	補 公益財団法人 中富健康科学振興財団研究助成金
149	MMP2/MT1-MMP機能不全に伴う骨破壊機序の解明	福士 純一	整形外科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
150	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	福士 純一 (分担)	整形外科	77 万円	補 厚生労働行政推進調査事業補助金
151	バイオ3Dプリンタを用いた間葉系幹細胞構造体による腱・靭帯組織の再生技術の開発	岡田 貴充	整形外科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
152	DPC情報を用いた脳卒中大規模データベースによるベンチマーキングに関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	429 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
153	脳卒中の医療体制の整備のための研究	飯原 弘二	脳神経外科	538 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究
154	脳卒中を含む急性循環器疾患の救急医療の的確化をめざした評価指標の確率に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	3,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
155	脳卒中後遺症の低減に向けた汎用性の高い革新的治療法の開発	飯原 弘二	脳神経外科	1,923 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
156	脳卒中高リスク群を抽出する革新的な臨床診断意思決定システムの開発に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	3,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
157	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標の開発に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	2,800 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
158	頸動脈プラーク破綻におけるエピジェネティクス変化の解明	佐山 徹郎	脳神経外科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
159	トランスクリプトーム解析を基盤にした膠芽腫形成の分子メカニズム解明と治療への応用	吉本 幸司	脳神経外科	65 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
160	膠芽腫に対するBevacizumab治療における血中バイオマーカーの同定	空閑 太亮	脳神経外科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
161	体外循環下の酸化ストレスと血管内皮機能障害の関係解明:末梢循環不全予防のために	塩川 祐一	心臓血管外科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
162	日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性および安全性に関する臨床研究	塩川 祐一 (分担)	心臓血管外科	7 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	我が国の外科領域におけるノンテクニカル・スキル評価システムの構築	塩川 祐一 (分担)	心臓血管外科	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
164	左心補助下の右心バイパス手術は機械的右心補助の代替手段となり得るか	田ノ上 禎久	心臓血管外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
165	幹細胞移植による心筋再生療法-アクトン重合制御因子Phod3を用いた新たな試み-	帯刀 英樹	心臓血管外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
166	大動脈ステント内挿術後の左心機能を心臓エナジェティクスの解析により評価する試み	大石 恭久	心臓血管外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
167	ヒルシウスプルング病および類縁疾患の治療としての新腸管作成に関する研究	田口 智章	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
168	ヒルシウスプルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田口 智章	小児外科	2,132 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
169	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	田口 智章 (代表)	小児外科	1,789 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
170	疾患特異的歯髄幹細胞を用いたヒルシウスプルング病モデル腸管の作製及び機能解析	伊崎 智子	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
171	小児肝移植におけるリンパ球及びその遊走因子の解析による免疫監視システムの開発	江角 元史郎	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
172	内視鏡外科手術における画像処理技術を用いた擬似的視点変更システムの開発	小幡 聡	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
173	小児固形悪性腫瘍に対する、免疫学的糖鎖解析法を用いた新規診断システムの開発	木下 義晶	小児外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
174	難治性小児悪性軟部腫瘍におけるFOXM1および関連蛋白発現と標的分子としての評価	久田 正昭	小児外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
175	技術評価システムを備えた小児希少高難度内視鏡外科手術・網羅的シミュレータの構築	神保 教広	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
176	神経芽腫に対する革新的手術シミュレーション・ナビゲーションシステムの開発	宗崎 良太	小児外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
177	高解像度画像システムを用いた小腸移植後拒絶反応の革新的診断法の開発	高橋 良彰	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
178	ヒト歯髄幹細胞による肝不全に対する新規再生医療の開発	林田 真	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
179	薬剤抵抗性小腸移植片拒絶反応に対する細胞治療法の確立	松浦 俊治	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
180	短腸症の重症度分類・集学的小腸リハビリテーション指針作成に関する研究	松浦 俊治	小児外科	92 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等政策研究(難治性疾患政策研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	ヒルシユスプルング病類縁疾患におけるアセチルコリンレセプター発現の解析	三好 きな	小児外科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
182	バイオ3Dプリンターを用いた胆管構造を有する大型肝組織作製法の開発	柳 佑典	小児外科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
183	ヒト乳歯歯髄幹細胞によるヒルシユスプルング病類縁疾患に対する新規再生医療の開発	吉丸 耕一郎	小児外科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
184	羊水由来間葉系幹細胞の脱細胞化気管への投与による広範気管再生医療	和田 桃子	小児外科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
185	膀胱癌に対するキラーおよびヘルパーT細胞をともに活性化するがん免疫療法の開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	351 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
186	上部尿路がん早期発見を目的とした新規検査法の開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
187	Adipokineと膀胱癌- PGE2を介した新規メカニズムの解明	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
188	去勢抵抗性前立腺癌におけるLASP1の機能解析および治療への応用	出嶋 卓	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
189	下部尿路における平滑筋の新規収縮弛緩調節機構の解明とその臨床応用	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
190	統合失調症におけるミクログリア制御異常による白質・シナプス伝達障害の機構解	神庭 重信	精神科神経科	1,365 万円	補 平成28年日本学術振興会科学研究費補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型))
191	統合失調症の神経活動異常と神経免疫異常: 相互メカニズムの解明に向けて	神庭 重信	精神科神経科	2,002 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究A)
192	精神疾患の病態を反映した鑑別診断、重症度予測が可能な血中バイオマーカーの実用化研究	神庭 重信	精神科神経科	2,500 万円	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (障害者対策総合研究開発事業)
193	ICD-11「精神と行動の障害」改訂案の信頼性・有用性の評価研究	神庭 重信	精神科神経科	800 万円	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (障害者対策総合研究開発事業)
194	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究の創設	神庭 重信	精神科神経科	260 万円	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (認知症研究開発事業)
195	精神疾患の興奮性・抑制性神経機能-脳磁図研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	182 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
196	精神疾患における神経グリア相関異常を解明するための再生医学技術を用いた橋渡し研究	加藤 隆弘	精神科神経科	572 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究A)
197	神経グリア発達によるモチベーションの形成とその破綻・修復機構の解明	加藤 隆弘	精神科神経科	1,495 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型))
198	「現代抑うつ症候群 (新型うつ・現代型うつ)」の多軸的な診断評価法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	「社会的ひきこもり」及び「現代抑うつ症候群(新型うつ)」の国際評価法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	200 万円	補 日本学術振興会二国間交流事業 オープンパートナーシップ 共同研究 (日米共同研究事業)
200	うつ病におけるミクログリア異常の病態解明とそれに基づく層別化と診断法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	2,652 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
201	精神疾患患者早期介入のための医療従事者向け教育研修プログラムの開発ーメンタルヘルス・ファーストエイドの応用ー	加藤 隆弘	精神科神経科	400 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
202	慢性疼痛のトランスレーショナルリサーチ: 精神心理学的・神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発	加藤 隆弘	精神科神経科	1,060 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
203	脳内酸化ストレス反応を介した統合失調症の病態・治療機序の解明	加藤 隆弘	精神科神経科	200 万円	補 平成28年度九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点若手育成事業
204	血液メタボローム解析による、抑うつ重症度・希死念慮のバイオマーカー開発研究	加藤 隆弘	精神科神経科	100 万円	補 (公財)先進医薬研究振興財団・平成28年度『精神薬療分野研究助成』(一般助成)
205	意志動力学 (ウィルダイナミクス) の創成と推進	加藤 隆弘 (分担)	精神科神経科	1,953 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型))
206	「新型うつ」の予防と治療に関する心理学および精神医学的研究	加藤 隆弘 (分担)	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
207	ポリジェニック脳神経画像解析による統合失調症の早期診断法の開発	鬼塚 俊明	精神科神経科	195 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
208	自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の治験実施と、オキシトシン反応性脳波マーカーの確立に向けて	鬼塚 俊明	精神科神経科	811 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
209	精神病症状と側頭葉構造異常の関連ーてんかん性精神病の脳構造MRI研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	100 万円	補 公益財団法人先進医薬研究振興財団 研究助成金
210	先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築	吉田 敬子	精神科神経科	30 万円	委 厚生労働科学研究委託費「難治性疾患実用化研究事業」
211	災害時の精神科トリアージの実態検証と精神科トリアージ法の開発に関する研究	久我 弘典	精神科神経科	30 万円	補 公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 研究助成金
212	生体肝移植後におけるレシピエントとドナーの精神症状に関する臨床研究	光安 博志	精神科神経科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
213	統合失調症患者由来iN細胞を用いたマイクロエンドフェノタイプの同定と病態解明	佐方 功明	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
214	久山町高齢住民における認知症の実態とその危険因子・防御因子の解明に関する縦断研究	小原 知之	精神科神経科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
215	健康長寿の実現を目指した大規模認知症コホート研究	小原 知之	精神科神経科	77 万円	補 認知症研究開発事業
216	久山町高齢者におけるMRIを基盤にした認知症、うつ病発症の前向きコホート研究	小原 知之 (分担)	精神科神経科	30 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究A)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	一般住民における心理社会的因子・家族機能・社会脳と認知症の関連	小原 知之 (分担)	精神科神経科	10 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
218	統合失調症患者の社会機能障害についての多角的脳画像研究	織部 直弥	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
219	ヒト体細胞由来ミクログリア作製法の確立と精神疾患研究への応用	扇谷 昌宏	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
220	ためこみ症と強迫症・不安症患者の生物学的差異の検討	村山 桂太郎 (分担)	精神科神経科	25 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
221	認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明	村山 桂太郎 (分担)	精神科神経科	86 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
222	統合失調症における幻聴発生の神経活動基盤の多角的脳画像研究	中村 一太	精神科神経科	273 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
223	ためこみ症と強迫症・不安症患者の生物学的差異の検討	中尾 智博	精神科神経科	80 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
224	認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明	中尾 智博 (分担)	精神科神経科	50 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
225	神経生理学的手法を用いた、内因性精神疾患の客観的診断方法の確立	土本 利架子	精神科神経科	247 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
226	初発統合失調症とハイリスク群におけるγ帯域皮質活動異常の包括的解明	平野 羊嗣	精神科神経科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
227	神経発達症を基盤に持つ強迫性障害患者に対する入院行動療法: 治療技法・対応の工夫の検討	豊見山 泰史	精神科神経科	30 万円	補 メンタルヘルス岡本記念財団研究支援
228	認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明	實松 寛晋 (分担)	精神科神経科	30 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
229	ためこみ症と強迫症・不安症患者の生物学的差異の検討	實松 寛晋 (分担)	精神科神経科	5 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
230	糖尿病網膜症に対する包括的・画期的治療法の開発	石橋 達朗	眼科	338 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
231	網膜色素変性の病態を反映するバイオマーカーの探索	石橋 達朗	眼科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦の萌芽研究)
232	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療臨床研究～GCPに準拠した遺伝子治療臨床研究～	石橋 達朗	眼科	1,700 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
233	緑内障モデル動物を用いた網膜神経節細胞保護遺伝子治療	池田 康博	眼科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦の萌芽研究)
234	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	池田 康博	眼科	10 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等政策研究 (難治性疾患政策研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
235	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療の実用化に関する研究～医師主導治験への移行を目指した研究～	池田 康博	眼科	8,464 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
236	加齢黄斑変性に対するQOL向上をめざした個別化治療の研究	大島 裕司	眼科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
237	眼内線維血管増殖性疾患の病態究明と治療薬開発	小林 義行	眼科	90 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (特別研究員奨励費)
238	自然炎症制御を基軸とした網膜自己再生促進	園田 康平	眼科	325 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
239	眼組織基底膜の糖化最終産物検出と生体内における糖化最終産物検出用臨床機器の開発	園田 康平	眼科	91 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
240	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	園田 康平	眼科	130 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 食品の安全確保推進研究
241	自己免疫性ぶどう膜炎における摂食抑制ペプチドの機能解析	武田 篤信	眼科	182 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
242	網脈絡膜疾患に対するリンパ管をターゲットとした新しい治療戦略	中尾 新太郎	眼科	351 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究A)
243	網膜色素変性の錐体細胞死を抑制する新規ナノ粒子治療薬の開発	村上 祐介	眼科	360 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
244	視覚障害を及ぼす眼科疾患の危険因子および予防因子の解明:久山町研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
245	増殖組織特徴的遺伝子を標的とした革新的眼内増殖抑制治療戦略の体系的構築	吉田 茂生	眼科	338 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
246	マトリセラー蛋白を標的とした次世代型アンチセンス点眼・内服治療薬の開発	吉田 茂生	眼科	208 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
247	難治性聴覚障害に関する調査研究	中川 尚志	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	50 万円	補	国立保健医療科学院 (厚生労働科研)
248	農薬の気道アレルギー増強作用の解明と新規標的分子の探索	久保 和彦	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	234 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
249	放射線性唾液腺障害に対する新規治療法の開発	古後 龍之介	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	156 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
250	拡張現実技術を融合した死角のない新しい側頭骨頭蓋内視鏡手術支援システムの開発	小宗 徳孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	169 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
251	共焦点顕微鏡による組織発生源に基づく唾液腺癌分子標的マーカー及び融合遺伝子解析	中野 貴史	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	208 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
252	新規経口免疫寛容剤を用いたスギ花粉症に対する2重盲検ランダム化比較試験	村上 大輔	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	91 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
253	鼻・副鼻腔乳頭腫における癌化メカニズムの解明と予測マーカーの確立	安松 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	273 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
254	64Cuを用いた新たなimmuno-PET/MRI法の確立	本田 浩	放射線科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
255	医療計画の評価と実効性の向上に関する研究	本田 浩 (分担)	放射線科	150 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 地域医療基盤開発推進研究
256	画像診断ナショナルデータベース実現のための開発研究（2017.1~3）	本田 浩	放射線科	648 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
257	PET/MR装置を用いた頸動脈プラークの高解像度ハイブリッドイメージング	渡邊 祐司	放射線科	169 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
258	幹細胞形質を有する胆道系腫瘍の形態学的特徴および生物学的悪性度の解明	浅山 良樹	放射線科	195 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
259	PET/MRIを用いた新たな放射線治療抵抗部位の同定法の開発	馬場 眞吾	放射線科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
260	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究（伊丹班分担金）	大賀 才路	放射線科	25 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
261	新しい高分解能拡散強調像を用いた頭蓋内及び頭頸部病変の診断法の開発	樋渡 昭雄	放射線科	117 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
262	CESTイメージングによる頭頸部腫瘍の悪性度診断の確立と治療効果予測への応用	神谷 武志	放射線科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
263	320列面検出CT仮想展開像を用いた胃癌の多様性診断に関する研究	鶴丸 大介	放射線科	78 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
264	CESTに基づく脳腫瘍のMR分子イメージング法の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
265	近似症例検索エンジンを用いた放射線治療計画支援システムの開発	吉武 忠正	放射線科	169 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
266	肝機能および肝線維化のMRIを用いた形態-機能融合診断の確立	高山 幸久	放射線科	104 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
267	CTコログラフィーの半定量的側面像解析を用いた新たな大腸癌深達度診断法の確立	宮坂 光俊	放射線科	104 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
268	MRI微小灌流・拡散定量による脳腫瘍診断への包括的アプローチ	山下 孝二	放射線科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
269	機能画像を用いた子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療法の開発	渥美 和重	放射線科	117 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
270	PET/MR装置による心サルコイドーシスのステロイド治療効果予測	丸岡 保博	放射線科	117 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
271	PET/MRを用いた画素単位でのマルチパラメトリック解析：骨軟部腫瘍への応用	鷺山 幸二	放射線科	169 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
272	Dual energy CT を用いた食道癌の新たな画像バイオマーカーの確立	西牟田 雄祐	放射線科	221 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
273	酸素強調心臓MRIの撮影法の開発	川波 哲	放射線科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
274	血管信号を抑制した3次元MRIの脳転移確率マップ構築と画像診断支援システムの開発	菊地 一史	放射線科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
275	MRIを用いた慢性血栓性肺高血圧症の新たな非侵襲的評価法の開発	山崎 誘三	放射線科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
276	食道癌ゲノム・エピゲノムの腫瘍内不均一性解析による化学放射線療法耐性機構の解明	平田 秀成	放射線科	403 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
277	血管抑制法を用いた高感度MRによる肺結節検出と悪性度評価及び間質性肺炎の病勢評価	亀井 僚太郎	放射線科	299 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
278	MRI 4 次元フローとT1マップによるフォンタン循環エネルギー効率と線維化の解析	長尾 充展	放射線科	208 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
279	320列MDCTを用いた4D-CTによるエンドリークの血行動態の解析	森田 孝一郎	放射線科	65 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
280	高比放射能18F-FBPAの新規合成法の確立	山田 明史	放射線科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
281	肝不全に対するフェルネシルトランスフェラーゼ阻害薬及びスタチンの肝保護作用の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
282	術後痛に対する全身麻酔薬およびTRPチャネルの関与の検討	辛島 裕士	麻酔科蘇生科	286 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
283	植物フラボノイドクエルセチンの強心作用と分子メカニズムに関する研究	早水 憲吾	麻酔科蘇生科	143 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
284	心停止心肺蘇生後に活性化される炎症系細胞が引き起こす虚血性脳神経障害の機序の解明	藤吉 哲宏	麻酔科蘇生科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
285	コホート・生体試料支援プラットフォーム	古庄 憲浩 (分担)	総合診療科	1,430 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））『学術研究支援基盤形成』
286	転座関連および非転座関連悪性軟部腫瘍における分子標的網羅的探索	小田 義直	病理診断科・病理部	247 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
287	炎症性筋線維芽細胞腫瘍の新規融合遺伝子の同定と機能の解明	山元 英崇	病理診断科・病理部	234 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
288	網羅的遺伝子解析に基づいた子宮内膜癌の病理形態所見の解明	大石 善丈	病理診断科・病理部	65 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
289	軟部肉腫におけるSWI/SNF型クロマチン再構成因子発現および治療への応用	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
290	多元計算解剖学の外科における臨床展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,392 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
291	医用画像に基づく計算解剖学の多元化と高度知能化診断・治療への展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	1,600 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
292	新たな手術支援装置:リアルタイム・生体色素反応ハイパースペクト装置の開発	池田 哲夫	先端医工学診療部	500 万円	委 文部科学省(先端計測分析技術・機器開発プログラム)
293	バイオマテリアルを用いたレーザー透過溶着法による革新的生体組織接合技術の研究開発	池田 哲夫	先端医工学診療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
294	肝星細胞を標的とする革新的ナノドラッグキャリアを用いた画期的肝硬変治療薬の開発	富川 盛雅	先端医工学診療部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
295	乳歯で染色体異常疾患を克服するトランスレーショナル研究	野中 和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
296	ヒト乳歯幹細胞を基盤とした新規アンチエイジング機構の解明	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
297	酸化ストレスからみた口唇裂口蓋裂発症機序解明と予防法の開発	加藤 大樹	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
298	セントロメアを染色体上の一カ所に調節する機構の解明	佐藤 浩	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
299	歯根膜組織形成能を有したバイオアクティブレジンの開発	前田 英史	歯内治療科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
300	カルシウム感知受容体制御に着目した象牙質修復治療法の開発	前田 英史	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
301	歯根端切除後の周囲組織の治癒を促す神経ペプチドの同定	橋口 勇	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
302	3Dプリンターを用いた歯内治療シミュレーションシステムの創出	後藤 康治	歯内治療科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	iPS細胞由来の歯根膜幹細胞の樹立およびこの細胞を用いた効果的な歯根膜組織の再生	濱野 さゆり	歯内治療科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
304	Wnt5aシグナルによる効果的な歯根膜組織再生を用いた次世代型意図的再植法の開発	長谷川 大学	歯内治療科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
305	Semaphorin 3A を用いた新規直接覆髄剤の開発	吉田 晋一郎	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
306	歯周医学の新展開～歯周炎症とエネルギー代謝の連関	西村 英紀	歯周病科	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	歯髄細胞由来TNF誘導因子(DPTIF)受容体の探索研究	西村 英紀	歯周病科	65万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
308	M2マクロファージ転換技術を応用した新規歯周組織再生療法の開発	讃井 彰一	歯周病科	143万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
309	新規アメリロジニン会合蛋白の分子基盤構築による歯周組織再生の創薬標的分子の同定	福田 隆男	歯周病科	143万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
310	歯肉増殖症におけるカテプシンの役割の解明～多様なカテプシンK0マウスを用いた検討	山下 明子	歯周病科	117万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
311	歯周病を合併したインスリン抵抗性関連疾患における補体分子CfBの役割の解明	岩下 未咲	歯周病科	221万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
312	TLR2遺伝子を標的としたエピジェネティクス制御による新規歯周治療薬の開発	田中 麗	歯周病科	195万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
313	新規アメリロジニン会合分子Grp78の誘導を介した歯周組織再生治療に向けて	豊田 敬介	歯周病科	130万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
314	エピカテキンの抗炎症効果の検証～脂肪組織炎症および実験的歯周炎モデルにおける検討	佐野 朋美	歯周病科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
315	Wnt5aを介した歯周組織再生における脂質メディエーターの役割と分子機序の解明	東 陽子	歯周病科	130万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
316	脂質メディエーターによる新たな骨形成促進機序の解明と歯周組織再生療法への応用	東 克匡	歯周病科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
317	直感的インターフェースを有する歯科インプラント手術ナビゲーションシステムの開発	大内田 理一	咬合補綴科	182万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	歯科用コーンビームCTの画質に基づく参照線量レベルの構築	吉浦 一紀	口腔画像診断科	39万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
319	頭頸部触診シミュレーションシステムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	65万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
320	シェーグレン症候群国際診断基準への超音波診断導入のための基礎的研究	清水 真弓	口腔画像診断科	117万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
321	顎顔面部における可動性蛋白質/ペプチドの化学交換イメージングの検討	筑井 徹	口腔画像診断科	143万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
322	癌治療患者の経口摂取支援に向けた味覚障害発症機構の解明と対策の検討	山添 淳一	口腔総合診療科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
323	近赤外光・レーザー等を用いた新たな歯科疾患診断・治療機器の開発に関する研究	和田 尚久	口腔総合診療科	110万円	委 国立長寿医療研究センター受託研究収入(プロジェクト)
324	歯根膜幹細胞誘導による組織再生を基盤とした包括的歯内疾患治療法の開発	和田 尚久	口腔総合診療科	702万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
325	セマフォリン3Aと歯髄幹細胞を用いた新規象牙質/歯髄複合体再生直接覆髄法の開発	和田 尚久	口腔総合診療科	78万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
326	唾液を用いたシェーグレン症候群の診断および重症度分類法の確立	大山 恵子	口腔総合診療科	169万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
327	Porphyromonas gingivalis is involved in the detachment and aggregation of Aggregatibacter actinomycetemcomitans biofilm.	原口 晃	口腔総合診療科	195万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
328	標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発(II24-実用化(国際)-指定-004)課題2:がんワクチンOCV-C011による標準療法不応進行再発胆道がんに対する第II相医師主導治験	村橋睦了	先端分子・細胞治療科	2,249万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
329	創造的次世代医療実現化を担うAROの構築	中西 洋一	ARO次世代医療センター	73,020万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
330	安全性と科学性を担保した革新的医療・最適医療の開発	中西 洋一	ARO次世代医療センター	20,000万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
331	九州大学病院における中央IRB体制の基盤構築	河原 直人	ARO次世代医療センター	2,200万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
332	免疫抑制薬の副作用に着目した慢性移植腎症の分子機構解明と非侵襲マーカーの探索	増田 智先	薬剤部	546万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
333	薬剤性腎障害における尿中バイオマーカーの調節分子機構の解明と臨床応用に関する研究	矢野 貴久	薬剤部	208万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
334	新規抗MRSA薬におけるTDMの有用性評価と至適投与のためのノモグラムの構築	山田 孝明	薬剤部	143万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
335	肺癌治療に伴う薬物性腎障害早期発見のための非侵襲尿中バイオマーカーの探索	渡邊 裕之	薬剤部	182万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
336	肝移植患者における術後拒絶反応の個人差克服を目指した新規分子機序の解明	山本 奈々絵	薬剤部	234万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
337	抗がん薬による末梢神経障害の対応策確立のための基礎および臨床研究からのアプローチ	川尻 雄大	薬剤部	208万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
338	薬剤師と看護師の職種間に介在する薬剤インシデント発生メカニズムの究明と比較	辻 敏和	薬剤部	57万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
339	抗がん剤曝露防止のための閉鎖式システムの活用および手順遵守による効果の検討	中嶋 一恵	薬剤部	57万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
340	妊婦・授乳婦薬物療法における医薬品情報の共有化と情報提供の標準化システムの開発	村上 裕子	薬剤部	41万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)

244,495

合計 340 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
1	赤司 浩一	第一内科	Assessing the safety and efficacy of ruxolitinib in a multicenter, open-label study in Japanese patients with myelofibrosis.	Int J Hematol. 2017 Mar;105(3):387.	Original Article
2	在田 修二	第一内科	Efficacy and Safety of TAS-102 in Clinical Practice of Salvage Chemotherapy for Metastatic Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 2016 Apr;36(4):1959-66.	Original Article
3	有信 洋二郎	第一内科	Functional interleukin-33 receptors are expressed in early progenitor stages of allergy-related granulocytes.	Immunology. 2017 Jan;150(1):64-73.	Original Article
4	稲富 享子	第一内科	Bi-cytopenia possibly induced by anti-PD-1 antibody for primary malignant melanoma of the esophagus: A case report.	Medicine (Baltimore). 2016 Jul;95(29):	Case report
5	小田代 敬太	第一内科	Anticoagulation Stability Depends on CHADS2 Score and Hepatorenal Function in Warfarin-treated Patients, Including Those with Atrial Fibrillation.	J Atheroscler Thromb. 2017 Jan 1;24(1):68-76.	Original Article
6	加藤 光次	第一内科	Graft-versus-host disease targets ovary and causes female infertility in mice.	Blood. 2017 Mar 2;129(9):1216-1225.	Original Article
7	加藤 光次	第一内科	Mogamulizumab Treatment Prior to Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Induces Severe Acute Graft-versus-Host Disease.	Biol Blood Marrow Transplant. 2016 Sep;22(9):1608-14.	Original Article
8	亀崎 健次郎	第一内科	Ascites Retention during Mogamulizumab Treatment in a Patient with Adult T-cell Leukemia/lymphoma.	Intern Med. 2016;55(13):1793-6.	Case report
9	草場 仁志	第一内科	Efficacy analysis of the aprepitant-combined antiemetic prophylaxis for non-round cell soft-tissue sarcoma patients received adriamycin and ifosfamide therapy.	Medicine (Baltimore). 2016 Dec;95(49)	Others
10	栗山 拓郎	第一内科	Cord Blood Transplantation Following Reduced-intensity Conditioning for Adult-onset Inherited Hemophagocytic Lymphohistiocytosis.	Intern Med. 2016;55(6):667-71.	Case report
11	下田 慎治	第一内科	Hydrophobic bile acids suppress expression of AE2 in biliary epithelial cells and induce bile duct inflammation in primary biliary cholangitis.	J Autoimmun. 2016 Dec;75:150-160.	Original Article
12	次郎丸 高志	第一内科	Identification of unipotent megakaryocyte progenitors in human hematopoiesis.	Blood. 2017 Mar 23.	Original Article
13	竹中 克斗	第一内科	Splenic irradiation provides transient palliation for symptomatic splenomegaly associated with primary myelofibrosis: a report on 14 patients.	Int J Hematol. 2016 Apr;103(4):423-8.	Original Article
14	竹中 克斗	第一内科	Clinical features and outcomes of patients with primary myelofibrosis in Japan: report of a 17-year nationwide survey by the Idiopathic Disorders of Hematopoietic Organs Research Committee of Japan.	Int J Hematol. 2017 Jan;105(1):59-69.	Original Article
15	土橋 賢司	第一内科	The EGF Receptor Promotes the Malignant Potential of Glioma by Regulating Amino Acid Transport System xc(-).	Cancer Res. 2016 May 15;76(10):2954-63.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
16	土橋 賢司	第一内科	Cardiac metastasis of squamous cell carcinoma of the thyroid gland with severe disseminated intravascular coagulation: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Jan;6(1):91-95.	Case report
17	中野 翔太	第一内科	Retrospective analysis of cardiovascular diseases related to chemotherapies for advanced solid tumor patients.	Anticancer Drugs. 2016 Oct;27(9):891-8.	Original Article
18	南 満理子	第一内科	Comparative analysis of pulmonary hypertension in patients treated with imatinib, nilotinib and dasatinib.	Br J Haematol. 2017 Mar 24.	Original Article
19	宮本 敏浩	第一内科	Analysis of the variable factors influencing tacrolimus blood concentration during the switch from continuous intravenous infusion to oral administration after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol. 2017 Mar;105(3):361-368.	Original Article
20	宮本 敏浩	第一内科	Comparison of cyclosporine and tacrolimus combined with mycophenolate mofetil in prophylaxis for graft-versus-host disease after reduced-intensity umbilical cord blood transplantation.	Int J Hematol. 2017 Jan;105(1):92-99.	Original Article
21	百合野 彩乃	第一内科	Calreticulin mutation does not contribute to disease progression in essential thrombocythemia by inhibiting phagocytosis.	Exp Hematol. 2016 Sep;44(9):817-825.	Original Article
22	百合野 彩乃	第一内科	Enhanced Reconstitution of Human Erythropoiesis and Thrombopoiesis in an Immunodeficient Mouse Model with Kit(Wv) Mutations.	Stem Cell Reports. 2016 Sep 13;7(3):425-38.	Original Article
23	西田 留梨子	第一内科	Helicobacter cinaedi Bacteremia Mimicking a Flare of Systemic Lupus Erythematosus.	Intern Med. 2017;56(6):725-728.	Case report
24	二尾 健太	第一内科	Efficacy and safety analysis of chemotherapy for advanced colitis-associated colorectal cancer in Japan.	Anticancer Drugs. 2016 Jun;27(5):457-63.	Original Article
25	鶴屋 和彦	第二内科	Association between responsiveness to methoxy polyethylene glycol-epoetin beta and renal survival in patients with non-dialysis-dependent chronic kidney disease: a pooled analysis of individual patient-level data from clinical trials	Nephrology (Carlton). 2016 Jun 17.	Original Article
26	鶴屋 和彦	第二内科	Erythropoiesis-stimulating agent slows the progression of chronic kidney disease: a possibility of a direct action of erythropoietin.	Ren Fail. 2016;38(3):390-6.	Original Article
27	升谷 耕介	第二内科	Histological Analysis in ABO-Compatible and ABO-Incompatible Kidney Transplantation by Performance of 3- and 12-Month Protocol Biopsies.	Transplantation. 2017 Jun;101(6):1416-1422.	Original Article
28	鳥巢 久美子	第二内科	PKC η deficiency improves lipid metabolism and atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice.	Genes Cells. 2016 Oct;21(10):1030-1048.	Original Article
29	土本 晃裕	第二内科	The potential role of perivascular lymphatic vessels in preservation of kidney allograft function.	Clin Exp Nephrol. 2016 Oct 21.	Original Article
30	江里口 雅裕	第二内科	Extended Swan-Neck Catheter With Upper Abdominal Exit-Site Reduces Peritoneal Dialysis-Related Infections.	Ther Apher Dial. 2016 Apr;20(2):158-64.	Original Article
31	鷲尾 恵万	第二内科	Proton Pump Inhibitors Increase Incidence of Nonsteroidal Anti-Inflammatory Drug-Induced Small Bowel Injury: A Randomized, Placebo-Controlled Trial.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2016 Jun 14(6):809-815	Original Article
32	冬野 雄太	第二内科	Genetic characteristics of inflammatory bowel disease in a Japanese population.	J Gastroenterol. 2016 Jul;51(7):672-81.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
33	井手 均	第二内科	Comparison of cystatin C- and creatinine-based estimated glomerular filtration rates for predicting all-cause mortality in Japanese patients with type 2 diabetes: the Fukuoka Diabetes Registry.	Clin Exp Nephrol. 2017 Jun;21(3):383-390.	Original Article
34	大隈 俊明	第二内科	Effects of smoking and its cessation on creatinine- and cystatin C-based estimated glomerular filtration rates and albuminuria in male patients with type 2 diabetes mellitus: the Fukuoka Diabetes Registry.	Hypertens Res. 2016 Oct;39(10):744-751.	Original Article
35	麻生 暁	第三内科	Future potential means of diagnosing gastric subepithelial lesions: Beyond conventional endoscopic ultrasound and endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Dig Endosc. 2016 Apr;28 Suppl 1:32-3.	Letter
36	伊藤 鉄英	第三内科	Different Hormonal Expression Patterns Between Primary Pancreatic Neuroendocrine Tumors and Metastatic Sites.	Pancreas. 2016 Aug;45(7):947-52	Original Article
37	伊藤 鉄英	第三内科	Treatment of symptomatic neuroendocrine tumor syndromes: recent advances and controversies.	Expert Opin Pharmacother. 2016 Nov;17(16):2191-2205.	Review
38	伊藤 鉄英	第三内科	Advances in the diagnosis and treatment of pancreatic neuroendocrine neoplasms in Japan.	J Gastroenterol. 2017 Jan;52(1):9-18.	Review
39	伊藤 鉄英	第三内科	Molecular imaging in neuroendocrine tumors: recent advances, controversies, unresolved issues, and roles in management.	Curr Opin Endocrinol Diabetes Obes. 2017 Feb;24(1):15-24	Original Article
40	伊藤 鉄英	第三内科	Randomised phase II trial of irinotecan plus S-1 in patients with gemcitabine-refractory pancreatic cancer.	Br J Cancer. 2017 Feb 14;116(4):464-471.	Original Article
41	伊藤 鉄英	第三内科	Impact of everolimus on Japanese patients with advanced pancreatic neuroendocrine neoplasms.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2017 Feb;24(2):95-102.	Original Article
42	伊藤 鉄英	第三内科	Randomised controlled trial of long-term maintenance corticosteroid therapy in patients with autoimmune pancreatitis.	Gut. 2017 Mar;66(3):487-494.	Original Article
43	伊藤 鉄英	第三内科	Artifibrotic Effect of Saturated Fatty Acids via Endoplasmic Reticulum Stress Response in Rat Pancreatic Stellate Cells.	Pancreas. 2017 Mar;46(3):385-394.	Original Article
44	国府島 庸之	第三内科	Analysis of renal function during telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C.	Exp Ther Med. 2016 May;11(5):1781-1787.	Original Article
45	鈴木 秀生	第三内科	Low-grade elevation of fibrinogen-degradation products is an important parameter to identify acute presentation of autoimmune hepatitis.	Scand J Gastroenterol. 2016 Aug;51(8):986-93.	Original Article
46	中村 和彦	第三内科	Limited effects of rebamipide in addition to proton pump inhibitor (PPI) in the treatment of post-endoscopic submucosal dissection gastric ulcers: a randomized controlled trial comparing PPI plus rebamipide combination therapy with PPI monotherapy.	Gut and Liver. 2016 Nov;10:917-24	Original Article
47	中村 和彦	第三内科	Short- and long-term outcomes of endoscopic resection of rectal neuroendocrine tumours: analyses according to the WHO 2010 classification.	Scand J Gastroenterol. 2016;51(4):448-55.	Original Article
48	野村 政壽	第三内科	BubR1 Insufficiency Impairs Liver Regeneration in Aged Mice after Hepatectomy through Intercalated Disc Abnormality.	Sci Rep. 2016 Aug 26;6:32399.	Original Article
49	野村 政壽	第三内科	Mitochondrial fission is an acute and adaptive response in injured motor neurons.	Sci Rep. 2016 Jun 20;6:28331	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
50	野村 政壽	第三内科	Eplerenone improves carotid intima-media thickness (IMT) in patients with primary aldosteronism.	Endocr J. 2016;63(3):249-55.	Original Article
51	野村 政壽	第三内科	Urothelial ATP exocytosis: regulation of bladder compliance in the urine storage phase.	Sci Rep. 2016 Jul 14;6:29761.	Original Article
52	野村 政壽	第三内科	Response by Shirakabe et al to Letter Regarding Article, "Drp1-Dependent Mitochondrial Autophagy Plays a Protective Role Against Pressure Overload-Induced Mitochondrial Dysfunction and Heart Failure".	Circulation. 2016 Aug 9;134(6):e75-6.	Letter
53	野村 政壽	第三内科	Smad2/3 Proteins Are Required for Immobilization-induced Skeletal Muscle Atrophy.	J Biol Chem. 2016 Jun 3;291(23):12184-94.	Original Article
54	野村 政壽	第三内科	Diagnosis and treatment of adrenal insufficiency including adrenal crisis: a Japan Endocrine Society clinical practice guideline.	Endocr J. 2016 Sep 30;63(9):765-784.	Others
55	三木 正美	第三内科	Utility of chromogranin B compared with chromogranin A as a biomarker in Japanese patients with pancreatic neuroendocrine tumors.	Jpn J Clin Oncol;2017 Mar;17:1-9.	Original Article
56	牟田和正	第三内科	Effects of Acotiamide on the Esophageal Motility Function in Patients with Esophageal Motility Disorders: A Pilot Study.	Digestion. 2016;94(1):9-16.	Original Article
57	伊原 栄吉	第三内科	Clinical characteristics associated with esophageal motility function.	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Jun;31(6):1133-40.	Original Article
58	井口 登與志	第三内科	Bilirubin as an important physiological modulator of oxidative stress and chronic inflammation in metabolic syndrome and diabetes: a new aspect on old molecule.	Diabetology International : 2016 Sep;7:338-41.	Letter
59	井上 智彰	第三内科	Hyperinsulinemia and sulfonylurea use are independently associated with left ventricular diastolic dysfunction in patients with type 2 diabetes mellitus with suboptimal blood glucose control.	BMJ Open Diabetes Res Care. 2016 Aug 18;4(1):e000223.	Original Article
60	須藤 信行	心療内科	Age-associated effect of kestose on Faecalibacterium prausnitzii and symptoms in the atopic dermatitis infants.	Pediatr Res. 2016 Dec;80(6):844-851.	Original Article
61	須藤 信行	心療内科	Inhibition of emotional needs and emotional wellbeing predict disease progression of chronic hepatitis C patients: an 8-year prospective study.	Biopsychosoc Med. 2016 Jul 29;10:24.	Original Article
62	柴田 舞欧	心療内科	Perceived inadequate care and excessive overprotection during childhood are associated with greater risk of sleep disturbance in adulthood: the Hisayama Study.	BMC Psychiatry. 2016 Jul 7;16:215.	Original Article
63	早木 千絵	心療内科	Family dysfunction: A comparison of chronic widespread pain and chronic localized pain.	Medicine (Baltimore). 2016 Dec;95(49):e5495.	Others
64	高倉 修	心療内科	Ghrelin activation and neuropeptide Y elevation in response to medium chain triglyceride administration in anorexia nervosa patients.	Clin Nutr ESPEN. 2017 Feb;17:100-104.	Original Article
65	須藤 信行	心療内科	QseC inhibition as an antivirulence approach for colitis-associated bacteria.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2017 Jan 3;114(1):142-147.	Original Article
66	古川 智一	心療内科	The Relationship between Snoring Sound Intensity and Morning Blood Pressure in Workers.	J Clin Sleep Med. 2016 Dec 15;12(12):1601-1606.	Others

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
67	平林 直樹	心療内科	Association Between Diabetes and Hippocampal Atrophy in Elderly Japanese: The Hisayama Study.	Diabetes Care. 2016 Sep;39(9):1543-9.	Original Article
68	吉原 一文	心療内科	Neural correlates of fear-induced sympathetic response associated with the peripheral temperature change rate.	Neuroimage. 2016 Jul 1;134:522-31.	Original Article
69	田中 弘二	神経内科	Predictive Factors for Excellent or Extremely Poor Functional Outcome in Initial Atrial Fibrillation-Related Cardioembolic Stroke.	Eur Neurol. 2016;76(3-4):105-111.	Original Article
70	中村 優理	神経内科	Latitude and HLA-DRB1*04:05 independently influence disease severity in Japanese multiple sclerosis: a cross-sectional study.	J Neuroinflammation. 2016 Sep 6;13(1):239.	Original Article
71	山崎 亮	神経内科	Allergic Inflammation Leads to Neuropathic Pain via Glial Cell Activation.	J Neurosci. 2016 Nov 23;36(47):11929-11945.	Original Article
72	山崎 亮	神経内科	Efficacy of intravenous methylprednisolone pulse therapy in patients with multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	Mult Scler. 2016 Sep;22(10):1337-48.	Original Article
73	渡邊 充	神経内科	Th1 cells downregulate connexin 43 gap junctions in astrocytes via microglial activation.	Sci Rep. 2016 Dec 8;6:38387.	Original Article
74	山崎 貴男	神経内科	A Potential VEP Biomarker for Mild Cognitive Impairment: Evidence from Selective Visual Deficit of Higher-Level Dorsal Pathway.	J Alzheimers Dis. 2016 May 23;53(2):661-76.	Original Article
75	筒井 裕之	循環器内科	Heart Rate Control With If Inhibitor, Ivabradine, in Japanese Patients With Chronic Heart Failure - A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Phase II Study.	Circ J. 2016;80(3):668-76. doi: 10.1253/circj.CJ-15-1112.	Original Article
76	阿部 弘太郎	循環器内科	Balloon pulmonary angioplasty improves interventricular dyssynchrony in patients with inoperable chronic thromboembolic pulmonary hypertension: a cardiac MR imaging study.	Int J Cardiovasc Imaging. 2017 Feb;33(2):229-239.	Original Article
77	阿部 弘太郎	循環器内科	Energy efficiency and pulmonary artery flow after balloon pulmonary angioplasty for inoperable, chronic thromboembolic pulmonary hypertension: Analysis by phase-contrast MRI.	Eur J Radiol. 2017 Feb;87:99-104.	Original Article
78	阿部 弘太郎	循環器内科	Haemodynamic unloading reverses occlusive vascular lesions in severe pulmonary hypertension.	Cardiovasc Res. 2016 Jul 1;111(1):16-25.	Original Article
79	新井 しのぶ	循環器内科	Functional loss of DHRS7C induces intracellular Ca ²⁺ overload and myotube enlargement in C2C12 cells via calpain activation.	Am J Physiol Cell Physiol. 2017 Jan 1;312(1):C29-C39.	Original Article
80	有村 貴博	循環器内科	Intravenous electrical vagal nerve stimulation prior to coronary reperfusion in a canine ischemia-reperfusion model markedly reduces infarct size and prevents subsequent heart failure.	Int J Cardiol. 2017 Jan 15;227:704-710.	Original Article
81	石北 綾子	循環器内科	Nanoparticle-Mediated Delivery of Mitochondrial Division Inhibitor 1 to the Myocardium Protects the Heart From Ischemia-Reperfusion Injury Through Inhibition of Mitochondria Outer Membrane Permeabilization: A New Therapeutic Modality for Acute Myocardial Infarction.	J Am Heart Assoc. 2016 Jul 22;5(7). pii: e003872.	Original Article
82	市村 研三	循環器内科	A Translational Study of a New Therapeutic Approach for Acute Myocardial Infarction: Nanoparticle-Mediated Delivery of Pitavastatin into Reperfused Myocardium Reduces Ischemia-Reperfusion Injury in a Preclinical Rat Model.	PLoS One. 2016 Sep 7;11(9):e0162425.	Original Article
83	柿野 貴盛	循環器内科	Prediction of hemodynamics under left ventricular assist device.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2017 Jan 1;312(1):H80-H88.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
84	朔 啓太	循環器内科	Total Mechanical Unloading Minimizes Metabolic Demand of Left Ventricle and Dramatically Reduces Infarct Size in Myocardial Infarction.	PLoS One. 2016 Apr 28;11(4):e0152911.	Original Article
85	篠原 啓介	循環器内科	Selective Deletion of the Brain-Specific Isoform of Renin Causes Neurogenic Hypertension.	Hypertension. 2016 Dec;68(6):1385-1392.	Original Article
86	武居 講	循環器内科	Activation of microglia within paraventricular nucleus of hypothalamus is NOT involved in maintenance of established hypertension.	J Cardiol. 2017 Jan;69(1):84-88.	Original Article
87	西崎 晶子	循環器内科	Optimal Titration Is Important to Maximize the Beneficial Effects of Vagal Nerve Stimulation in Chronic Heart Failure.	J Card Fail. 2016 Aug;22(8):631-8.	Original Article
88	藤野 剛雄	循環器内科	Donor age is a predictor of early low output after heart transplantation.	J Cardiol. 2016 May;67(5):477-82.	Original Article
89	松島 将士	循環器内科	Tyrosine kinase FYN negatively regulates NOX4 in cardiac remodeling.	J Clin Invest. 2016 Sep 1;126(9):3403-16.	Original Article
90	松島 将士	循環器内科	Poldip2 negatively regulates matrix synthesis at focal adhesions.	J Mol Cell Cardiol. 2016 May;94:10-12.	Letter
91	毛利 正博	循環器内科	Characteristics and Predictors of Mortality in Patients With Cardiovascular Shock in Japan - Results From the Japanese Circulation Society Cardiovascular Shock Registry.	Circ J. 2016;80(4):852-9.	Original Article
92	井上 敬測	循環器内科	Twinkle overexpression prevents cardiac rupture after myocardial infarction by alleviating impaired mitochondrial biogenesis.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2016 Sep 1;311(3):H509-19.	Original Article
93	樺木 晶子	循環器内科	Influence of primary and secondary prevention indications on anxiety about the implantable cardioverter-defibrillator.	J Arrhythm. 2016 Apr;32(2):102-7.	Original Article
94	三宅 諒	循環器内科	Pulmonary arterial hypertension associated with hereditary hemorrhagic telangiectasia successfully treated with sildenafil.	Int J Cardiol. 2016 Jul 1;214:275-6.	Letter
95	西原 正章	循環器内科	Renal denervation enhances GABA-ergic input into the PVN leading to blood pressure lowering in chronic kidney disease.	Auton Neurosci. 2017 May;204:88-97.	Review
96	仲野 泰啓	循環器内科	Nanoparticle-Mediated Delivery of Irbesartan Induces Cardioprotection from Myocardial Ischemia-Reperfusion Injury by Antagonizing Monocyte-Mediated Inflammation.	Sci Rep. 2016 Jul 11;6:29601.	Original Article
97	岩間 映二	呼吸器科	Characteristics of Smoking Patients with Lung Cancer with Emphysematous Bullae.	Thorac Oncol. 2016 Sep;11(9):1586-90.	Others
98	岩間 映二	呼吸器科	Alectinib for Patients with ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer and a Poor Performance Status (Lung Oncology Group in Kyushu 1401).	Thorac Oncol. 2017 Feb 24. pii: S1556-0864(17)30123-5.	Others
99	岩間 映二	呼吸器科	Monitoring of somatic mutations in circulating cell-free DNA by digital PCR and next-generation sequencing during afatinib treatment in patients with lung adenocarcinoma positive for EGFR activating mutations.	Ann Oncol. 2017 Jan 1;28(1):136-141.	Original Article
100	緒方 彩子	呼吸器科	Amphiregulin suppresses epithelial cell apoptosis in lipopolysaccharide-induced lung injury in mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Mar 4;484(2):422-428.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
101	濱野 紗朱	呼吸器科	Effects of corticosteroid plus long-acting beta2-agonist on the expression of PD-L1 in double-stranded RNA-induced lung inflammation in mice.	J Inflamm (Lond). 2017 Jan 17;14:2.	Original Article
102	福山 聡	呼吸器科	Prevalence of Airflow Limitation Defined by Pre- and Post-Bronchodilator Spirometry in a Community-Based Health Checkup: The Hisayama Study.	Tohoku J Exp Med. 2016;238(2):179-84.	Original Article
103	米嶋 康臣	呼吸器科	Treatment Rationale and Design for J-AXEL: A Randomized Phase 3 Study Comparing Nab-Paclitaxel With Docetaxel in Patients With Previously Treated Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer.	Clin Lung Cancer. 2017 Jan;18(1):100-103.	Original Article
104	北出 尚子	産科婦人科	FBXW7 is involved in the acquisition of the malignant phenotype in epithelial ovarian tumors.	Cancer Sci. 2016 Oct;107(10):1399-1405.	Original Article
105	園田 顕三	産科婦人科	Isthmic-vaginal cytological findings after a trachelectomy for early-stage cervical cancer.	Cytopathology. 2016 Sep 20.	Letter
106	諸隈 誠一	産科婦人科	Relationship between hyperemesis gravidarum and small-for-gestational-age in the Japanese population: the Japan Environment and Children's Study (JECS).	BMC Pregnancy Childbirth. 2016 Aug 26;16:247.	Original Article
107	八木 裕史	産科婦人科	GEP oncogene promotes cell proliferation through YAP activation in ovarian cancer.	Oncogene. 2016 Aug 25;35(34):4471-80.	Original Article
108	矢幡 秀昭	産科婦人科	Efficacy of aprepitant for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting with a moderately emetogenic chemotherapy regimen: a multicenter, placebo-controlled, double-blind, randomized study in patients with gynecologic cancer receiving paclitaxel and carboplatin.	Int J Clin Oncol. 2016 Jun;21(3):491-7.	Original Article
109	落合 正行	小児科	Blood Reference Intervals for Preterm Low-Birth-Weight Infants: A Multicenter Cohort Study in Japan.	PLoS One. 2016 Aug 23;11(8):e0161439.	Original Article
110	金政 光	小児科	De novo p.Arg756Cys mutation of ATP1A3 causes an atypical form of alternating hemiplegia of childhood with prolonged paralysis and choreoathetosis.	BMC Neurol. 2016 Sep 15;16:174.	Case report
111	崔 麗莉	小児科	Immunoregulatory function of neonatal nucleated red blood cells in humans.	Immunobiology. 2016 Aug;221(8):853-61.	Original Article
112	酒井 康成	小児科	De Novo Truncating Mutation of TRIM8 Causes Early-Onset Epileptic Encephalopathy.	Ann Hum Genet. 2016 Jul;80(4):235-40.	Others
113	名西 悦郎	小児科	A nationwide survey of common viral infections in childhood among patients with primary immunodeficiency diseases.	J Infect. 2016 Oct;73(4):358-68.	Original Article
114	山口 結	小児科	A nationwide survey of pediatric acquired demyelinating syndromes in Japan.	Neurology. 2016 Nov 8;87(19):2006-2015.	Original Article
115	李 守永	小児科	Involuntary movements and coma as the prognostic marker for acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	J Neurol Sci. 2016 Nov 15;370:39-43.	Original Article
116	阿部 俊也	第一外科	Cancer-associated peritoneal mesothelial cells lead the formation of pancreatic cancer peritoneal dissemination.	Int J Oncol. 2017 Feb;50(2):457-467.	Original Article
117	阿部 俊也	第一外科	Comparison of Surgical Outcomes Between Radical Antegrade Modular Pancreatosplenectomy (RAMPS) and Standard Retrograde Pancreatosplenectomy (SPRS) for Left-Sided Pancreatic Cancer.	World J Surg. 2016 Sep;40(9):2267-75.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
118	田村 公二	第一外科	Distinction of Invasive Carcinoma Derived From Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms From Concomitant Ductal Adenocarcinoma of the Pancreas Using Molecular Biomarkers.	Pancreas. 2016 Jul;45(6):826-35.	Original Article
119	藤本 崇聡	第一外科	Expression of Bcl-2 19-kDa interacting protein 3 predicts prognosis after ampullary carcinoma resection.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Aug;23(8):489-96.	Original Article
120	森 瞳	第一外科	BRCAness as a Biomarker for Predicting Prognosis and Response to Anthracycline-Based Adjuvant Chemotherapy for Patients with Triple-Negative Breast Cancer.	PLoS One. 2016 Dec 15;11(12):e0167016.	Original Article
121	森 瞳	第一外科	The combination of PD-L1 expression and decreased tumor-infiltrating lymphocytes is associated with a poor prognosis in triple-negative breast cancer.	Oncotarget. 2017 Feb 28;8(9):15584-15592.	Original Article
122	永吉 絹子	第一外科	Laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection is achievable and offers advantages as a minimally invasive surgery over the open approach.	Surg Endosc. 2016 May;30(5):1938-47.	Original Article
123	宮坂 義浩	第一外科	Predictive Factors for the Metachronous Development of High-risk Lesions in the Remnant Pancreas After Partial Pancreatectomy for Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Ann Surg. 2016 Jun;263(6):1180-7.	Original Article
124	千々岩 芳朗	第一外科	Overexpression of microRNA-5100 decreases the aggressive phenotype of pancreatic cancer cells by targeting PODXL.	Int J Oncol. 2016 Apr;48(4):1688-700.	Original Article
125	井口 友宏	第二外科	miR-146a Polymorphism (rs2910164) Predicts Colorectal Cancer Patients' Susceptibility to Liver Metastasis.	PLoS One. 2016 Nov 8;11(11):e0165912.	Original Article
126	井口 友宏	第二外科	Malignant transformation of hepatocellular adenoma with bone marrow metaplasia arising in glycogen storage disease type I: A case report.	Mol Clin Oncol. 2016 Nov;5(5):599-603.	Case report
127	池上 徹	第二外科	Feasible usage of ABO incompatible grafts in living donor liver transplantation.	Hepatobiliary Surg Nutr. 2016 Apr;5(2):91-7.	Original Article
128	池上 徹	第二外科	Left lobe living donor liver transplantation in adults: What is the safety limit?	Liver Transpl. 2016 Dec;22(12):1666-1675.	Original Article
129	池上 徹	第二外科	The learning curves in living donor hemiliver graft procurement using small upper midline incision.	Clin Transplant. 2016 Dec;30(12):1532-1537.	Original Article
130	伊藤 心二	第二外科	Skeletal muscle mass assessed by computed tomography correlates to muscle strength and physical performance at a liver-related hospital experience.	Hepatol Res. 2016 Apr;46(4):292-7.	Original Article
131	伊藤 心二	第二外科	Impact of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin for Disseminated Intravascular Coagulation.	Anticancer Res. 2016 May;36(5):2493-6.	Original Article
132	伊藤 心二	第二外科	Validity of Hepatic or Pancreatic Resection for Elderly Patients Aged 85 Years or Older at a Single Community Hospital in Japan.	Anticancer Res. 2016 Aug;36(8):4289-92.	Original Article
133	伊藤 心二	第二外科	Effect of Sarcopenic Obesity on Outcomes of Living-Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2016 Jun;36(6):3029-34.	Original Article
134	伊藤 修平	第二外科	Expression of PD-L1 and HLA Class I in Esophageal Squamous Cell Carcinoma; Prognostic Factors for Patient Outcome.	Ann Surg Oncol. 2016 Aug;23(Suppl 4):508-515.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
135	上尾 裕紀	第二外科	Rapid diagnosis of lymph node metastasis in breast cancer using a new fluorescent method with γ -glutamyl hydroxymethyl rhodamine green.	Sci Rep. 2016 Jun 9;6:27525.	Original Article
136	内山 秀昭	第二外科	Living donor liver transplantation for intrahepatic arteriovenous fistula with hepatic artery reconstruction using the right gastroepiploic artery.	Liver Transpl. 2016 Apr;22(4):552-6.	Letter
137	内山 秀昭	第二外科	The use of left grafts with a replaced or accessory left hepatic artery in adult-to-adult living donor liver transplantation: analyses of donor and recipient outcomes.	Clin Transplant. 2016 Sep;30(9):1021-7.	Original Article
138	大津 甫	第二外科	Gastric Cancer Patients with High PLK1 Expression and DNA Aneuploidy Correlate with Poor Prognosis.	Oncology. 2016;91(1):31-40.	Original Article
139	岡本 龍郎	第二外科	Prognostic Impact of EGFR Driver Mutations on Postoperative Disease Recurrence in Lung Adenocarcinoma.	Anticancer Res. 2016 Jun;36(6):3057-63.	Original Article
140	沖 英次	第二外科	Surgical treatment of liver metastasis of gastric cancer: a retrospective multicenter cohort study (KSCC1302).	Gastric Cancer. 2016 Jul;19(3):968-76.	Original Article
141	沖 英次	第二外科	A randomized phase III trial comparing S-1 versus UFT as adjuvant chemotherapy for stage II/III rectal cancer (JFMC35-C1: ACTS-RC).	Ann Oncol. 2016 Jul;27(7):1266-72.	Original Article
142	沖 英次	第二外科	12-Gene Recurrence Score Assay Stratifies the Recurrence Risk in Stage II/III Colon Cancer With Surgery Alone: The SUNRISE Study.	J Clin Oncol. 2016 Aug 20;34(24):2906-13.	Original Article
143	北尾 洋之	第二外科	The antibodies against 5-bromo-2'-deoxyuridine specifically recognize trifluridine incorporated into DNA.	Sci Rep. 2016 May 3;6:25286.	Original Article
144	木村 光一	第二外科	Ischemia-Reperfusion Injury in Fatty Liver Is Mediated by Activated NADPH Oxidase 2 in Rats.	Transplantation. 2016 Apr;100(4):791-800.	Original Article
145	木村 光一	第二外科	Efficacy of recombinant thrombomodulin for DIC after deceased donor liver transplantation: a case report.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):81.	Case report
146	神代 竜一	第二外科	Integrated Endoscopic System Based on Optical Imaging and Hyperspectral Data Analysis for Colorectal Cancer Detection.	Anticancer Res. 2016 Aug;36(8):3925-32.	Original Article
147	栗原 健	第二外科	Chronic hepatitis E virus infection after living donor liver transplantation via blood transfusion: a case report.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):32.	Case report
148	栗原 健	第二外科	Graft selection strategy in adult-to-adult living donor liver transplantation: When both hemiliver grafts meet volumetric criteria.	Liver Transpl. 2016 Jul;22(7):914-22.	Original Article
149	島垣 智成	第二外科	Liver resection with right hepatic vein reconstruction using the internal jugular vein: a case report.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):132.	Case report
150	島松 晋一郎	第二外科	Prognostic Significance of Expression of the Epithelial-Mesenchymal Transition-Related Factor Brachyury in Intrathoracic Lymphatic Spread of Non-Small Cell Lung Cancer.	Ann Surg Oncol. 2016 Dec;23(Suppl 5):1012-1020.	Original Article
151	庄司 文裕	第二外科	Predictive impact for postoperative recurrence using the preoperative prognostic nutritional index in pathological stage I non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2016 Aug;98:15-21.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
152	庄司 文裕	第二外科	Clinical Evaluation and Outcomes of Digital Chest Drainage after Lung Resection.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Dec 20;22(6):354-358.	Original Article
153	杉山 昌一	第二外科	High expression of the Notch ligand Jagged-1 is associated with poor prognosis after surgery for colorectal cancer.	Cancer Sci. 2016 Nov;107(11):1705-1716.	Original Article
154	杉山 雅彦	第二外科	Induction of potentially lethal hypermagnesemia, ischemic colitis, and toxic megacolon by a preoperative mechanical bowel preparation: report of a case.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):18.	Case report
155	鈴木 雄三	第二外科	Clinical implications of sarcopenia in patients undergoing complete resection for early non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2016 Nov;101:92-97.	Original Article
156	副島 雄二	第二外科	Three-dimensional printing and biotexture modeling for preoperative simulation in living donor liver transplantation for small infants.	Liver Transpl. 2016 Nov;22(11):1610-1614.	Letter
157	高田 和樹	第二外科	Clinical Significance of PD-L1 Protein Expression in Surgically Resected Primary Lung Adenocarcinoma.	J Thorac Oncol. 2016 Nov;11(11):1879-1890.	Original Article
158	高田 和樹	第二外科	An Immunohistochemical Analysis of PD-L1 Protein Expression in Surgically Resected Small Cell Lung Cancer Using Different Antibodies and Criteria.	Anticancer Res. 2016 Jul;36(7):3409-12.	Original Article
159	田中 慎一	第二外科	BubR1 Insufficiency Results in Decreased Macrophage Proliferation and Attenuated Atherogenesis in Apolipoprotein E-Deficient Mice.	J Am Heart Assoc. 2016 Sep 24;5(9).	Original Article
160	田中 仁寛	第二外科	Impact of Expression of Vimentin and Axl in Breast Cancer.	Clin Breast Cancer. 2016 Dec;16(6):520-526.	Original Article
161	谷口 大介	第二外科	Development of fistula between esophagogastric anastomotic site and cartilage portion of trachea after subtotal esophagectomy for cervical esophageal cancer: a case report.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):107.	Case report
162	堤 敬文	第二外科	Pancreatic fistula after laparoscopic splenectomy in patients with hypersplenism due to liver cirrhosis: effect of fibrin glue and polyglycolic acid felt on prophylaxis of postoperative complications.	Am J Surg. 2016 Nov;212(5):882-888.	Others
163	堤 智崇	第二外科	Distant lymph node metastases caused by esophageal cancer invasion to the lamina propria: a case report.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):143.	Case report
164	豊川 剛二	第二外科	Favorable Disease-free Survival Associated with Programmed Death Ligand 1 Expression in Patients with Surgically Resected Small-cell Lung Cancer.	Anticancer Res. 2016 Aug;36(8):4329-36.	Original Article
165	中島 雄一郎	第二外科	Blood Flow Assessment with Indocyanine Green Fluorescence Angiography for Pedicled Omental Flap on Cervical Esophagogastric Anastomosis after Esophagectomy.	J Am Coll Surg. 2016 May;222(5):e67-9.	Original Article
166	中島 雄一郎	第二外科	Laparoscopic Resection of Gastric Cancer in a Patient with Chronic Lymphocytic Leukemia Accompanied by Neutropenia.	Anticancer Res. 2016 Apr;36(4):1779-83.	Original Article
167	西村 章	第二外科	Clinical Significance of Totally Laparoscopic Distal Gastrectomy: A Comparison of Short-term Outcomes Relative to Open and Laparoscopic-assisted Distal Gastrectomy.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2016 Oct;26(5):372-376.	Original Article
168	原田 昇	第二外科	Laparoscopic Liver Resection Is a Feasible Treatment for Patients with Hepatocellular Carcinoma and Portal Hypertension.	Anticancer Res. 2016 Jul;36(7):3489-97.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
169	原田 昇	第二外科	"Are We Sure that Blood Transfusion is Associated with Recurrence of Hepatocellular Carcinoma After Hepatectomy?": Reply.	World J Surg. 2016 Sep;40(9):2293.	Letter
170	播本 憲史	第二外科	Sarcopenia is a poor prognostic factor following hepatic resection in patients aged 70 years and older with hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2016 Nov;46(12):1247-1255.	Original Article
171	播本 憲史	第二外科	Inflammation-based Prognostic Score in Patients with Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2016 Oct;36(10):5537-5542.	Original Article
172	久松 雄一	第二外科	Effect of EGFR and p-AKT Overexpression on Chromosomal Instability in Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2016 Jun;23(6):1986-92.	Original Article
173	廣瀬 皓介	第二外科	A case report of bacteremia manifesting as an overwhelming postsplenectomy infection due to Streptococcus pneumoniae post vaccination.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):48.	Case report
174	別城 悠樹	第二外科	Living donor liver transplantation indicated for compensated liver cirrhosis with symptomatic gallstone diseases: report of two cases.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):45.	Case report
175	松田 大介	第二外科	BUBR1 Insufficiency in Mice Increases their Sensitivity to Oxidative Stress.	In Vivo. 2016 11-12;30(6):769-776.	Original Article
176	松本 拓也	第二外科	Radial force measurement of endovascular stents: Influence of stent design and diameter.	Vascular. 2016 Apr;24(2):171-6.	Original Article
177	松本 拓也	第二外科	Improved quality of life in patients with no-option critical limb ischemia undergoing gene therapy with DVC1-0101.	Sci Rep. 2016 Jul 15;6:30035.	Original Article
178	森崎 浩一	第二外科	A Rare Complication of Spinal Cord Ischemia Following Endovascular Aneurysm Repair of an Infrarenal Abdominal Aortic Aneurysm with Arteriosclerosis Obliterans: Report of a Case.	Ann Vasc Dis. 2016;9(3):255-257.	Case report
179	森崎 浩一	第二外科	Elective endovascular vs. open repair for abdominal aortic aneurysm in octogenarians.	Vascular. 2016 Aug;24(4):348-54.	Original Article
180	森田 和豊	第二外科	Relevance of microRNA-18a and microRNA-199a-5p to hepatocellular carcinoma recurrence after living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2016 May;22(5):665-76.	Original Article
181	諸富 洋介	第二外科	A novel method of using bioabsorbable materials for the surgical repair of flail chest.	J Trauma Acute Care Surg. 2016 Nov;81(5):984-987.	Original Article
182	山下 洋市	第二外科	Surgical Results of Pancreaticoduodenectomy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: a Multi-institutional Retrospective Study of 174 patients.	Anticancer Res. 2016 May;36(5):2407-12.	Original Article
183	吉住 朋晴	第二外科	Impact of human T-cell leukemia virus type 1 on living donor liver transplantation: a multi-center study in Japan.	Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Jun;23(6):333-41.	Original Article
184	吉田 月久	第二外科	Molecular Factors Associated with Pemetrexed Sensitivity According to Histological Type in Non-small Cell Lung Cancer.	Anticancer Res. 2016 Dec;36(12):6319-6326.	Original Article
185	赤崎 幸穂	整形外科	Suppression of REDD1 in osteoarthritis cartilage, a novel mechanism for dysregulated mTOR signaling and defective autophagy.	Osteoarthritis Cartilage. 2016 Sep;24(9):1639-47.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
186	池村 聡	整形外科	Clinical and imaging features of a subchondral insufficiency fracture of the femoral head after internal fixation of a femoral neck fracture: a comparison with those of post-traumatic osteonecrosis of the femoral head.	Br J Radiol. 2016;89(1060):20150725.	Others
187	池村 聡	整形外科	Clinical outcomes in relation to locations of bone marrow edema lesions in patients with a subchondral insufficiency fracture of the hip: a review of fifteen cases.	Br J Radiol. 2016 Oct;89(1066):20150750.	Others
188	石原 康平	整形外科	Characterisation of osteophytes as an autologous bone graft source: An experimental study in vivo and in vitro.	Bone Joint Res. 2017 Feb;6(2):73-81.	Original Article
189	牛尾 哲郎	整形外科	The Anteroposterior Axis of the Proximal Tibia Can Change After Tibial Resection in Total Knee Arthroplasty: Computer Simulation Using Asian Osteoarthritis Knees.	J Arthroplasty. 2017 Mar;32(3):1006-1012.	Original Article
190	久保 祐介	整形外科	Patient-reported outcomes of femoral osteotomy and total hip arthroplasty for osteonecrosis of the femoral head: a prospective case series study.	Springerplus. 2016 Oct 26;5(1):1880.	Original Article
191	桑島 海人	整形外科	Contact stress analysis of the anterior tibial post in bi-cruciate stabilized and mobile-bearing posterior stabilized total knee arthroplasty designs.	J Mech Behav Biomed Mater. 2016 Jul;60:460-7.	Original Article
192	桑島 海人	整形外科	Comparison of the impact of closing wedge versus opening wedge high tibial osteotomy on proximal tibial deformity and subsequent revision to total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2017 Mar;25(3):869-875.	Original Article
193	小藺 直哉	整形外科	Asymmetric six-strand core sutures enhance tendon fatigue strength and the optimal asymmetry.	J Hand Surg Eur Vol. 2016 Oct;41(8):802-8.	Original Article
194	園田 和彦	整形外科	Fat-suppressed T2-weighted MRI appearance of subchondral insufficiency fracture of the femoral head.	Skeletal Radiol. 2016 Nov;45(11):1515-21.	Original Article
195	竹内 直英	整形外科	Recovery of Wrist Function after Volar Locking Plate Fixation for Distal Radius Fractures.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2016 Jun;21(2):199-206.	Original Article
196	原 大介	整形外科	Dynamic Hip Kinematics During the Golf Swing After Total Hip Arthroplasty.	Am J Sports Med. 2016 Jul;44(7):1801-9.	Original Article
197	山本 卓明	整形外科	Results of the Sugioka transtrochanteric rotational osteotomy for osteonecrosis: Frequency and role of a defect of the quadratus femoris muscle in osteonecrosis progression.	Orthop Traumatol Surg Res. 2016 May;102(3):387-90.	Original Article
198	松本 嘉寛	整形外科	Bone and soft tissue tumors presenting as sciatic notch dumbbell masses: A critical differential diagnosis of sciatica.	World J Clin Oncol. 2016 Oct 10;7(5):414-419.	Original Article
199	松本 嘉寛	整形外科	Dumbbell Scoring System: A New Method for the Differential Diagnosis of Malignant and Benign Spinal Dumbbell Tumors.	Spine (Phila Pa 1976). 2016 Oct 15;41(20):E1230-E1236.	Original Article
200	中川 悟	整形外科	Association of Metatarsalgia After Hallux Valgus Correction With Relative First Metatarsal Length.	Foot Ankle Int. 2016 Jun;37(6):582-8.	Original Article
201	藤井 政徳	整形外科	Factors Associated With Severity of Intra-articular Lesions in Patients With Severe Hip Dysplasia.	Arthroscopy. 2016 Aug;32(8):1581-9.	Original Article
202	藤井 政徳	整形外科	Minimum Lateral Bone Coverage Required for Securing Fixation of Cementless Acetabular Components in Hip Dysplasia.	Biomed Res Int. 2017;2017:4937151.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
203	濱井 敏	整形外科	Comparison of 10-year clinical wear of annealed and remelted highly cross-linked polyethylene: A propensity-matched cohort study.	J Mech Behav Biomed Mater. 2016 Jun;59:99-107.	Original Article
204	濱井 敏	整形外科	In Vivo Kinematics of Healthy and Osteoarthritic Knees During Stepping Using Density-Based Image-Matching Techniques.	J Appl Biomech. 2016 Dec;32(6):586-592.	Original Article
205	橋口 公章	脳神経外科	Sequential morphological change of Chiari malformation type II following surgical repair of myelomeningocele.	Childs Nerv Syst. 2016 Jun;32(6):1069-78.	Original Article
206	秦 暢宏	脳神経外科	Deferred radiotherapy and upfront procarbazine-ACNU-vincristine administration for 1p19q codeleted oligodendroglial tumors are associated with favorable outcome without compromising patient performance, regardless of WHO grade.	Onco Targets Ther. 2016 Nov 17;9:7123-7131.	Original Article
207	吉本 幸司	脳神経外科	Current Trends and Healthcare Resource Usage in the Hospital Treatment of Primary Malignant Brain Tumor in Japan: A National Survey Using the Diagnostic Procedure Combination Database (J-ASPECT Study-Brain Tumor).	Neurol Med Chir (Tokyo). 2016 Nov 15;56(11):664-673.	Original Article
208	松山 翔	心臓血管外科	Long-term results after treatment of the ascending aorta for bicuspid aortic valve patients.	Surg Today. 2016 Jun;46(6):729-34.	Original Article
209	田口 智章	小児外科	The incidence and outcome of allied disorders of Hirschsprung's disease in Japan: Results from a nationwide survey.	Asian J Surg. 2017 Jan;40(1):29-34.	Original Article
210	久田 正昭	小児外科	FOXM1 expression in rhabdomyosarcoma: a novel prognostic factor and therapeutic target.	Tumour Biol. 2016 Apr;37(4):5213-23.	Original Article
211	松浦 俊治	小児外科	Surgical strategy according to the anatomical types of congenital portosystemic shunts in children.	J Pediatr Surg. 2016 Dec;51(12):2099-2104.	Original Article
212	吉丸 耕一郎	小児外科	Transient hyperphosphatasemia after pediatric liver transplantation.	Pediatr Int. 2016 Aug;58(8):726-31.	Original Article
213	古江 増隆	皮膚科	Antioxidants for Healthy Skin: The Emerging Role of Aryl Hydrocarbon Receptors and Nuclear Factor-Erythroid 2-Related Factor-2.	Nutrients. 2017 Mar 3;9(3). pii: E223.	Review
214	古江 増隆	皮膚科	Anti-Interleukin-31 Receptor A Antibody for Atopic Dermatitis.	N Engl J Med. 2017 Mar 2;376(9):826-835.	Original Article
215	古江 増隆	皮膚科	Treatment satisfaction, willingness to pay and quality of life in Japanese patients with psoriasis.	J Dermatol. 2016 Sep 7.	Original Article
216	古江 増隆	皮膚科	Effect of topical phosphodiesterase 4 inhibitor E6005 on Japanese children with atopic dermatitis: Results from a randomized, vehicle-controlled exploratory trial.	J Dermatol. 2016 Aug;43(8):881-7.	Original Article
217	伊藤 絵里子	皮膚科	Chronic spontaneous urticaria: Implications of subcutaneous inflammatory cell infiltration in an intractable clinical course.	J Allergy Clin Immunol. 2017 Jan;139(1):363-366.e3.	Letter
218	伊東 孝通	皮膚科	Prognostic Significance of Forkhead Box M1 (FOXM1) Expression and Antitumor Effect of FOXM1 Inhibition in Angiosarcoma.	J Cancer. 2016 Apr 27;7(7):823-30.	Original Article
219	伊東 孝通	皮膚科	Cutaneous angiosarcoma of the head and face: a single-center analysis of treatment outcomes in 43 patients in Japan.	J Cancer Res Clin Oncol. 2016 Jun;142(6):1387-94.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
220	伊東 孝通	皮膚科	Activation of the OVOL1-OVOL2 Axis in the Hair Bulb and in Pilonicoma.	Am J Pathol. 2016 Apr;186(4):1036-43.	Original Article
221	伊東 孝通	皮膚科	Prognostic significance of forkhead box M1 (FoxM1) expression and antitumor effect of FoxM1 inhibition in melanoma.	Histopathology. 2016 Jul;69(1):63-71.	Original Article
222	内 博史	皮膚科	Inhibition of aryl hydrocarbon receptor signaling and induction of NRF2-mediated antioxidant activity by cinnamaldehyde in human keratinocytes.	J Dermatol Sci. 2017 Jan;85(1):36-43.	Original Article
223	千葉 貴人	皮膚科	The leukotriene B4 receptor BLT2 protects barrier function via actin polymerization with phosphorylation of myosin phosphatase target subunit 1 in human keratinocytes.	Exp Dermatol. 2016 Jul;25(7):532-6.	Original Article
224	山村 和彦	皮膚科	The transcription factor EPAS1 links DOCK8 deficiency to atopic skin inflammation via IL-31 induction.	Nat Commun. 2017 Jan 9;8:13946.	Original Article
225	和田 麻衣子	皮膚科	Acral lentiginous melanoma versus other melanoma: A single-center analysis in Japan.	J Dermatol. 2017 Mar 24. doi: 10.1111/1346-8138.13834.	Original Article
226	今田 憲二郎	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	FOXO3a Expression Regulated by ERK Signaling is Inversely Correlated With Y-Box Binding Protein-1 Expression in Prostate Cancer.	Prostate. 2017 Feb;77(2):145-153.	Original Article
227	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The prognostic impact of serum testosterone during androgen-deprivation therapy in patients with metastatic prostate cancer and the SRD5A2 polymorphism.	Prostate Cancer Prostatic Dis. 2016 Jun;19(2):191-6.	Original Article
228	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Smoking effect on secondary bladder cancer after external beam radiotherapy for prostate cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2016 Oct;46(10):952-957.	Original Article
229	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Co-introduction of a steroid with docetaxel chemotherapy for metastatic castration-resistant prostate cancer affects PSA flare.	BJU Int. 2016 Dec;118(6):880-884.	Original Article
230	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Suppressed Recurrent Bladder Cancer after Androgen Suppression with Androgen Deprivation Therapy or 5 α -Reductase Inhibitor.	J Urol. 2017 Feb;197(2):308-313.	Original Article
231	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Gene polymorphisms in antioxidant enzymes correlate with the efficacy of androgen-deprivation therapy for prostate cancer with implications of oxidative stress.	Ann Oncol. 2017 Mar 1;28(3):569-575.	Original Article
232	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Antitumor activity of recombinant Bacille Calmette-Guérin secreting interleukin-15-Ag85B fusion protein against bladder cancer.	Int Immunopharmacol. 2016 Jun;35:327-331.	Original Article
233	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Reality of nerve sparing and surgical margins in surgeons' early experience with robot-assisted radical prostatectomy in Japan.	Int J Urol. 2017 Mar;24(3):191-196.	Original Article
234	出嶋 卓	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Suppression of LIM and SH3 Domain Protein 1 (LASP1) Negatively Regulated by Androgen Receptor Delays Castration Resistant Prostate Cancer Progression.	Prostate. 2017 Feb;77(3):309-320.	Original Article
235	正岡 寛之	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Aldehyde dehydrogenase 2 (ALDH2) and alcohol dehydrogenase 1B (ADH1B) polymorphisms exacerbate bladder cancer risk associated with alcohol drinking: gene-environment interaction.	Carcinogenesis. 2016 Jun;37(6):583-588.	Original Article
236	正岡 寛之	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Aldehyde Dehydrogenase 2 Polymorphism Is a Predictor of Smoking Cessation.	Nicotine Tob Res. 2016 Dec 16.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
237	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Role of PTHrP and Sensory Nerve Peptides in Regulating Contractility of Muscularis Mucosae and Detrusor Smooth Muscle in the Guinea Pig Bladder.	Urol. 2016 Oct;196(4):1287-94.	Original Article
238	磯村 周一	精神科神経科	Altered sulcogyral patterns of orbitofrontal cortex in a large cohort of patients with schizophrenia.	NPJ Schizophr. 2017 Jan 12;3:3.	Others
239	扇谷 昌宏	精神科神経科	TNF- α from hippocampal microglia directly induces working memory deficits by acute stress in mice.	Brain, Behavior, and Immunity, 55: 17-24, 2016 Jul	Original Article
240	久我 弘典	精神科神経科	Corrigendum to "Increased BOLD Signals Elicited by High Gamma Auditory Stimulation of the Left Auditory Cortex in Acute State Schizophrenia"	EBioMedicine. 2017 Feb;16:312.	Original Article
241	佐藤 美那	精神科神経科	Aripiprazole inhibits polyI:C-induced microglial activation possibly via TRPM7.	Schizophr Res. 2016 Dec;178(1-3):35-43.	Original Article
242	柳田 諭	精神科神経科	Effect of acute imipramine administration on the pattern of forced swim-induced c-Fos expression in the mouse brain.	Neurosci Lett. 2016 Aug 26;629:119-24.	Original Article
243	園田 康平	眼科	Investigation of the association between IL10 gene polymorphisms and Vogt-Koyanagi-Harada disease in a Japanese population.	Ophthalmic Genet. 2017 Mar-Apr;38(2):187-189.	Letter
244	園田 康平	眼科	Periostin Promotes Scar Formation through the Interaction between Pericytes and Infiltrating Monocytes/Macrophages after Spinal Cord Injury.	Am J Pathol. 2017 Mar;187(3):639-653.	Original Article
245	園田 康平	眼科	Invariant natural killer T cells play dual roles in the development of experimental autoimmune uveoretinitis.	Exp Eye Res. 2016 Dec;153:79-89.	Original Article
246	園田 康平	眼科	Humanin Protects RPE Cells from Endoplasmic Reticulum Stress-Induced Apoptosis by Upregulation of Mitochondrial Glutathione.	PLoS One. 2016 Oct 26;11(10):e0165150.	Original Article
247	園田 康平	眼科	Ocular Behçet's disease is less complicated with allergic disorders. A nationwide survey in Japan.	Clin Exp Rheumatol. 2016 Sep-Oct;34(6 Suppl 102):111-114.	Original Article
248	園田 康平	眼科	Low-frequency coding variants in CETP and CFB are associated with susceptibility of exudative age-related macular degeneration in the Japanese population.	Hum Mol Genet. 2016 Nov 15;25(22):5027-5034.	Original Article
249	園田 康平	眼科	Inhibition by all-trans retinoic acid of collagen degradation mediated by corneal fibroblasts.	Clin Exp Ophthalmol. 2016 Aug;44(6):502-8.	Original Article
250	園田 康平	眼科	Phenotypic transformation of intimal and adventitial lymphatics in atherosclerosis: a regulatory role for soluble VEGF receptor 2.	FASEB J. 2016 Jul;30(7):2490-9.	Original Article
251	園田 康平	眼科	Changes in metabolic proteins in ex vivo rat retina during glutamate-induced neural progenitor cell induction.	Mol Cell Biochem. 2016 Aug;419(1-2):177-84.	Original Article
252	園田 康平	眼科	Coordinated Regulation of Palladin and α -Smooth Muscle Actin by Transforming Growth Factor- β in Human Corneal Fibroblasts.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2016 Jun 1;57(7):3360-8.	Original Article
253	園田 康平	眼科	Clinical Impact of a Humanized CCR4 Antibody (Mogamulizumab) in 14 Patients with Aggressive Adult T-cell Leukemia-lymphoma Treated at a Single Institution During a Three-year Period (2012-2014).	Intern Med. 2016;55(11):1439-45.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
254	園田 康平	眼科	Differential Changes in Intraocular Pressure and Corneal Manifestations in Individuals With Viral Endotheliitis After Keratoplasty.	Cornea. 2016 May;35(5):602-6.	Original Article
255	園田 康平	眼科	Combination management by C-arm fluoroscopy and extraocular muscle severance for penetrating ocular trauma with a retrobulbar foreign body.	Orbit. 2016 Jun;35(3):167-9.	Case report
256	有馬 充	眼科	Basigin can be a therapeutic target to restore the retinal vascular barrier function in the mouse model of diabetic retinopathy.	Sci Rep. 2016 Dec 5;6:38445.	Original Article
257	江内田 寛	眼科	Changes in chorioretinal blood flow velocity and cerebral blood flow after carotid endarterectomy.	Jpn J Ophthalmol. 2016 Nov;60(6):459-465.	Original Article
258	海津 嘉弘	眼科	Detection of airbag impact-induced cone photoreceptor damage by adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy: a case report.	BMC Ophthalmol. 2016 Jul 8;16:99.	Case report
259	佐々 由季生	眼科	The kinetics of VEGF and MCP-1 in the second vitrectomy cases with proliferative diabetic retinopathy.	Eye (Lond). 2016 May;30(5):746-53.	Original Article
260	山口 宗男	眼科	Erratum: High-Resolution Imaging by Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy Reveals Two Morphologically Distinct Types of Retinal Hard Exudates.	Sci Rep. 2016 Nov 3;6:35127.	Others
261	山口 宗男	眼科	Vascular Normalization by ROCK Inhibitor: Therapeutic Potential of Ripasudil (K-115) Eye Drop in Retinal Angiogenesis and Hypoxia.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2016 Apr 1;57(4):2264-76.	Original Article
262	小柳 俊人	眼科	Comparison of the Effectiveness of Intravitreal Ranibizumab for Diabetic Macular Edema in Vitrectomized and Nonvitrectomized Eyes.	Ophthalmologica. 2016;236(2):67-73.	Original Article
263	小林 義行	眼科	Tenascin-C secreted by transdifferentiated retinal pigment epithelial cells promotes choroidal neovascularization via integrin α V.	Lab Invest. 2016 Nov;96(11):1178-1188.	Original Article
264	小林 義行	眼科	Tenascin-C promotes angiogenesis in fibrovascular membranes in eyes with proliferative diabetic retinopathy.	Mol Vis. 2016 Apr 30;22:436-45.	Original Article
265	石川 桂二郎	眼科	α B-Crystallin Regulates Subretinal Fibrosis by Modulation of Epithelial-Mesenchymal Transition.	Am J Pathol. 2016 Apr;186(4):859-73.	Original Article
266	中間 崇仁	眼科	Therapeutic Effect of Novel Single-Stranded RNAi Agent Targeting Periostin in Eyes with Retinal Neovascularization.	Mol Ther Nucleic Acids. 2017 Mar 17;6:279-289.	Original Article
267	中間 崇仁	眼科	Different roles played by periostin splice variants in retinal neovascularization.	Exp Eye Res. 2016 Dec;153:133-140.	Original Article
268	中尾 新太郎	眼科	Optical Coherence Tomography Angiography for Detecting Choroidal Neovascularization Secondary to Punctate Inner Choroidopathy.	Ophthalmic Surg Lasers Imaging Retina. 2016 Dec 1;47(12):1157-1161.	Case report
269	中尾 新太郎	眼科	Wide-field laser ophthalmoscopy for imaging of gas-filled eyes after macular hole surgery.	Clin Ophthalmol. 2016 Aug 24;10:1623-30.	Original Article
270	中武 俊二	眼科	MUTYH promotes oxidative microglial activation and inherited retinal degeneration.	JCI Insight. 2016 Sep 22;1(15):e87781.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
271	橋本 左和子	眼科	Foveal and Macular Thickness in a Japanese Population: The Hisayama Study.	Ophthalmic Epidemiol. 2016 Jun;23(3):202-8.	Original Article
272	藤原 康太	眼科	Association Between Aqueous Flare and Epiretinal Membrane in Retinitis Pigmentosa.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2016 Aug 1;57(10):4282-6.	Original Article
273	明神 沙弥香	眼科	Gene Expression Analysis of the Irrigation Solution Samples Collected during Vitrectomy for Idiopathic Epiretinal Membrane.	PLoS One. 2016 Oct 13;11(10):e0164355.	Original Article
274	Lim H	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Semi-manual mastoidectomy assisted by human-robot collaborative control - A temporal bone replica study.	Auris Nasus Larynx. 2016 Apr;43(2):161-5.	Original Article
275	中野 貴史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion in a case of olfactory neuroblastoma without anti-diuretic hormone immunoreactivity: A case report and review of the literature.	Auris Nasus Larynx. 2016 Dec 20.	Case report
276	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Abnormal auditory synchronization in stuttering: A magnetoencephalographic study.	Hear Res. 2017 Feb;344:82-89.	Original Article
277	小宗 徳孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Surgical approaches to jugular foramen schwannomas: An anatomic study.	Head Neck. 2016 Apr;38 Suppl 1:E1041-53.	Original Article
278	橋本 和樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Patterns of lymphatic spread and the management of eyelid carcinomas.	Auris Nasus Larynx. 2016 Dec;43(6):666-71.	Others
279	安松 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical management of squamous cell carcinoma associated with sinonasal inverted papilloma.	Auris Nasus Larynx. 2017 Feb;44(1):98-103.	Others
280	山下 実	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Registration using 3D-printed rigid templates outperforms manually scanned surface matching in image-guided temporal bone surgery.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2016 Nov;11(11):2119-2127.	Original Article
281	吉田 崇正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The unique ion permeability profile of cochlear fibrocytes and its contribution to establishing their positive resting membrane potential.	Pflugers Arch. 2016 Sep;468(9):1609-19.	Original Article
282	浅山 良樹	放射線科	Fatty change in moderately and poorly differentiated hepatocellular carcinoma on MRI: a possible mechanism related to decreased arterial flow.	Clin Radiol. 2016 Dec;71(12):1277-1283.	Original Article
283	浅山 良樹	放射線科	Histogram analysis of noncancerous liver parenchyma on gadoxetic acid-enhanced MRI: predictive value for liver function and pathology.	Abdom Radiol (NY). 2016 Sep;41(9):1751-7.	Original Article
284	浅山 良樹	放射線科	Heterogeneity of non-cancerous liver parenchyma on gadoxetic acid-enhanced MRI: an imaging biomarker for hepatocellular carcinoma development in chronic liver disease.	Clin Radiol. 2016 May;71(5):432-7.	Original Article
285	磯田 拓郎	放射線科	Impact of patient age on the iodine/FDG "flip-flop" phenomenon in lung metastasis from thyroid cancer.	Ann Nucl Med. 2016 Oct;30(8):518-24.	Original Article
286	鷺山 幸二	放射線科	An improved MR sequence for attenuation correction in PET/MR hybrid imaging.	Magn Reson Imaging. 2016 Apr;34(3):345-52.	Others
287	鷺山 幸二	放射線科	Comparison of positron emission tomography diffusion-weighted imaging (PET/DWI) registration quality in a PET/MR scanner: Zoomed DWI vs. Conventional DWI.	J Magn Reson Imaging. 2016 Apr;43(4):853-8.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
288	田原 圭一郎	放射線科	MR Imaging Findings of a Leiomyosarcoma of the Thoracic Spine: A Case Report.	Clin Neuroradiol. 2016 Jun;26(2):229-33.	Case report
289	鶴丸 大介	放射線科	Differentiation of early gastric cancer with ulceration and resectable advanced gastric cancer using multiphasic dynamic multidetector CT.	Eur Radiol. 2016 May;26(5):1330-7.	Original Article
290	梶尾 理	放射線科	Amide proton transfer imaging of brain tumors using a self-corrected 3D fast spin-echo dixon method: Comparison With separate B0 correction.	Magn Reson Med. 2017 Jun;77(6):2272-2279.	Original Article
291	梶尾 理	放射線科	Grading diffuse gliomas without intense contrast enhancement by amide proton transfer MR imaging: comparisons with diffusion- and perfusion-weighted imaging.	Eur Radiol. 2017 Feb;27(2):578-588.	Original Article
292	樋渡 昭雄	放射線科	3D turbo field echo with diffusion-sensitized driven-equilibrium preparation technique (DSDE-TFE) versus echo planar imaging in evaluation of diffusivity of retinoblastoma.	Br J Radiol. 2016 Nov;89(1067):20160074.	Original Article
293	樋渡 昭雄	放射線科	valuation of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: 3D nerve-sheath signal increased with inked rest-tissue rapid acquisition of relaxation enhancement imaging (3D SHINKEI).	Eur Radiol. 2017 Feb;27(2):447-453	Original Article
294	樋渡 昭雄	放射線科	Evaluation of diffusivity in pituitary adenoma: 3D turbo field echo with diffusion-sensitized driven-equilibrium preparation.	Br J Radiol. 2016 Jul;89(1063):20150755.	Original Article
295	樋渡 昭雄	放射線科	Evaluation of glioblastomas and lymphomas with whole-brain CT perfusion: Comparison between a delay-invariant singular-value decomposition algorithm and a Patlak plot.	J Neuroradiol. 2016 Jul;43(4):266-72.	Original Article
296	藤田 展宏	放射線科	Fibrosis in nonalcoholic fatty liver disease: Noninvasive assessment using computed tomography volumetry.	World J Gastroenterol. 2016 Oct 28;22(40):8949-8955.	Original Article
297	藤田 展宏	放射線科	Mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma: Enhancement patterns in the arterial phase of dynamic hepatic CT - Correlation with clinicopathological findings.	Eur Radiol. 2017 Feb;27(2):498-506.	Original Article
298	藤田 展宏	放射線科	Significance of the Signal Intensity of Gadoxetic Acid-enhanced MR Imaging for Predicting the Efficacy of Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy in Hepatocellular Carcinoma.	Magn Reson Med Sci. 2016;15(1):111-20.	Original Article
299	宮坂 光俊	放射線科	Diagnosis of early colorectal cancer invasion depth by quantitative evaluation of the basal indentation in CT colonography.	Jpn J Radiol. 2016 Dec;34(12):786-794.	Original Article
300	桃坂 大地	放射線科	A Retroperitoneal Isolated Enteric Duplication Cyst Mimicking a Teratoma: A Case Report and Literature Review.	Case Rep Radiol. 2016;2016:6976137.	Case report
301	藪内 英剛	放射線科	Prediction of post-operative pulmonary function after lobectomy for primary lung cancer: A comparison among counting method, effective lobar volume, and lobar collapsibility using inspiratory/expiratory CT.	Eur J Radiol. 2016 Nov;85(11):1956-1962.	Original Article
302	藪内 英剛	放射線科	Re: Anterior mediastinal solid tumours in adults: characterisation using dynamic contrast-enhanced MRI, diffusion-weighted MRI, and FDG-PET/CT. A reply.	Clin Radiol. 2016 Jul;71(7):711-3.	Letter
303	山崎 誘三	放射線科	One-stop shop assessment for atrial septal defect closure using 256-slice coronary CT angiography.	Eur Radiol. 2017 Feb;27(2):697-704.	Original Article
304	山崎 誘三	放射線科	Clinical impact of left ventricular eccentricity index using cardiac MRI in assessment of right ventricular hemodynamics and myocardial fibrosis in congenital heart disease.	Eur Radiol. 2016 Oct;26(10):3617-25.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
305	山下 孝二	放射線科	Diagnostic utility of intravoxel incoherent motion mr imaging in differentiating primary central nervous system lymphoma from glioblastoma multiforme.	J Magn Reson Imaging. 2016 Nov;44(5):1256-1261.	Original Article
306	山下 孝二	放射線科	Prognostic Utility of Computed Tomography Histogram Analysis in Patients With Post-Cardiac Arrest Syndrome: Evaluation Using an Automated Whole-Brain Extraction Algorithm.	J Comput Assist Tomogr. 2016 Jul-Aug;40(4):612-6.	Original Article
307	中川 拓	麻酔科蘇生科	The effects of tramadol on postoperative shivering after sevoflurane and remifentanil anesthesia.	BMC Anesthesiol. 2017 Jan 3;17(1):1.	Original Article
308	藤本 侑里	麻酔科蘇生科	Esophageal Submucosal Hematoma Possibly Caused by Gastric Tube Insertion Under General Anesthesia.	A A Case Rep. 2016 Oct 15;7(8):169-171.	Original Article
309	宮崎 良平	麻酔科蘇生科	Thiamylal sodium increased inflammation and the proliferation of vascular smooth muscle cells.	Korean J Anesthesiol. 2016 Jun;69(3):262-9.	Original Article
310	宮崎 良平	麻酔科蘇生科	Underbody Forced-Air Blanket is Superior to Overbody Blanket in Preventing Hypothermia During Laparoscopic Donor Nephrectomy.	Middle East J Anaesthesiol. 2017 Feb;24(1):43-48	Original Article
311	宮崎 良平	麻酔科蘇生科	An Evaluation of Perioperative Acute Kidney Injury during Laparoscopic Sleeve Gastrectomy Using the Acute Kidney Injury Network Classification	Anesth Resus. 2016 ;52(2):51-55	Original Article
312	古庄 憲浩	総合診療科	Levels of immunoglobulin E specific to the major food allergen and chemokine (C-C motif) ligand (CCL)17/thymus and activation regulated chemokine and CCL22/macrophage-derived chemokine in infantile atopic dermatitis on Ichiyaki Island.	J Dermatol. 2016 Nov;43(11):1278-1282.	Original Article
313	古庄 憲浩	総合診療科	The relation of postprandial plasma glucose and serum endostatin to the urinary albumin excretion of residents with prediabetes: results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS).	Int Urol Nephrol. 2016 Jun;48(6):851-7.	Original Article
314	古庄 憲浩	総合診療科	Ethnic Differences in Glucose Homeostasis Markers between the Kyushu-Okinawa Population Study and the Framingham Offspring Study.	Sci Rep. 2016 Nov 10;6:36725.	Original Article
315	河野 由紀子	病理診断科・病理部	Reduced MUTYH, MTH1, and OGG1 expression and TP53 mutation in diffuse-type adenocarcinoma of gastric cardia.	Hum Pathol. 2016 Jun;52:145-52.	Original Article
316	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	Reclassification of rhabdoid tumor and pediatric undifferentiated/unclassified sarcoma with complete loss of SMARCB1/INI1 protein expression: three subtypes of rhabdoid tumor according to their histological features.	Mod Pathol. 2016 Oct;29(10):1232-42.	Original Article
317	瀧澤 克実	病理診断科・病理部	Insulin-like growth factor II messenger RNA-binding protein-3 is an indicator of malignant phyllodes tumor of the breast.	Hum Pathol. 2016 Sep;55:30-8.	Original Article
318	田中 ゆき	病理診断科・病理部	Spalt-like transcription factor 4 immunopositivity is associated with epithelial cell adhesion molecule expression in combined hepatocellular carcinoma and cholangiocarcinoma.	Histopathology. 2016 Apr;68(5):693-701.	Original Article
319	中野 貴史	病理診断科・病理部	Molecular subclassification determined by human papillomavirus and epidermal growth factor receptor status is associated with the prognosis of oropharyngeal squamous cell carcinoma.	Hum Pathol. 2016 Apr;50:51-61.	Original Article
320	山田 裕一	病理診断科・病理部	Histological spectrum of angiofibroma of soft tissue: histological and genetic analysis of 13 cases.	Histopathology. 2016 Sep;69(3):459-69.	Original Article
321	山元 英崇	病理診断科・病理部	ETV6-NTRK3 Is Expressed in a Subset of ALK-Negative Inflammatory Myofibroblastic Tumors.	Am J Surg Pathol. 2016 Aug;40(8):1051-61.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
322	加藤 大樹	小児歯科	PKA Regulates PINK1 Stability and Parkin Recruitment to Damaged Mitochondria through Phosphorylation of MIC60.	Mol Cell. 2016 May 5;62(3):371-84.	Original Article
323	佐藤 浩	小児歯科	Engineering of Systematic Elimination of a Targeted Chromosome in Human Cells.	Biomed Res Int. 2017;2017:6037159.	Original Article
324	山座 治義	小児歯科	Dihydroorotate dehydrogenase depletion hampers mitochondrial function and osteogenic differentiation in osteoblasts.	Eur J Oral Sci. 2016 Jun;124(3):241-5.	Original Article
325	アルボガムハ マドハッサン	矯正歯科	Predisposing Factors for Orthodontic Mini-Implant Failure Defined by Bone Strains in Patient-Specific Finite Element Models.	Ann Biomed Eng. 2016 Oct;44(10):2948-56.	Original Article
326	古賀 のり子	矯正歯科	Effects of acidic calcium phosphate concentration on mechanical strength of porous calcite fabricated by bridging with dicalcium phosphate dihydrate.	Ceramics International:2016 May;42(7):7912-7917	Original Article
327	安武 雄	矯正歯科	Long-term oral administration of osteocalcin induces insulin resistance in male mice fed a high-fat, high-sucrose diet.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2016 Apr 15;310(8):	Original Article
328	門野内 聡	歯内治療科	Benzo[a]pyrene/aryl hydrocarbon receptor signaling inhibits osteoblastic differentiation and collagen synthesis of human periodontal ligament cells.	J Periodontal Res. 2016 Dec;51(6):779-788.	Original Article
329	友清 淳	歯内治療科	Periodontal Ligament Stem Cells in Regenerative Dentistry for Periodontal Tissues.	J Stem Cell Res Ther. 2016 Jul;1(3):1-3	Original Article
330	吉田 晋一郎	歯内治療科	Semaphorin 3A Induces Odontoblastic Phenotype in Dental Pulp Stem Cells.	J Dent Res. 2016 Oct;95(11):1282-90.	Original Article
331	讀井 彰一	歯周病科	Anti-CD14 Antibody-treated Neutrophils Respond to LPS: Possible Involvement of CD14 Upregulated by Anti-CD14 Antibody Binding.	Immunol Invest. 2017 Feb;46(2):190-200.	Original Article
332	讀井 彰一	歯周病科	Biological Effects of Sprouty2 Inhibition in Periodontal Ligament Cells.	Journal of Cell Signaling. 2016, 1(3):117	Others
333	新城 尊徳	歯周病科	IL-17A synergistically enhances TNF α -induced IL-6 and CCL20 production in 3T3-L1 adipocytes.	Biochem Biophys Res Commun. 2016 Aug 19;477(2):241-6.	Original Article
334	橋本(東) 陽子	歯周病科	Sphingosine-1-phosphate-enhanced Wnt5a promotes osteogenic differentiation in C3H10T1/2 cells.	Cell Biol Int. 2016 Oct;40(10):1129-36.	Others
335	東 克匡	歯周病科	Sphingosine-1-phosphate/S1PR2-mediated signaling triggers Smad1/5/8 phosphorylation and thereby induces Runx2 expression in osteoblasts.	Bone. 2016 Dec;93:1-11.	Original Article
336	福田 隆男	歯周病科	New Therapeutic Strategy for Regenerating Periodontal Tissue Based on the Combination of Amelogenin and Reapplications of Existing Grp78 Inducer.	Journal of Cell Signaling. 2016, 1(3):118	Others
337	福田 隆男	歯周病科	Glucose-Regulated Protein 78: A Novel Therapeutic Target for Amelogenin- Induced Periodontal Tissue Regeneration.	Single Cell Biology. 2016, 5(2) :137.	Others
338	三輪 敦	義歯補綴科	Fit of e.max Crowns Fabricated Using Conventional and CAD/CAM Technology: A Comparative Study.	Int J Prosthodont. 2016 Nov/Dec;29(6):602-607.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
339	松浦 由梨	義歯補綴科	Therapeutic interactions between mesenchymal stem cells for healing medication-related osteonecrosis of the jaw.	Stem Cell Res Ther. 2016 Aug 17;7(1):119.	Original Article
340	山崎 陽	義歯補綴科	Objective assessment of mastication predominance in healthy dentate subjects and patients with unilateral posterior missing teeth.	J Oral Rehabil. 2016 Aug;43(8):575-82.	Original Article
341	古谷野 潔	義歯補綴科	Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry.	J Prosthodont Res. 2017 Jan;61(1):20-33.	Original Article
342	清水 秀夫	義歯補綴科	Tissue Reaction to a Novel Bone Substitute Material Fabricated With Biodegradable Polymer-Calcium Phosphate Nanoparticle Composite.	Implant Dent. 2016 Oct;25(5):567-74.	Original Article
343	緒方 謙一	顎口腔外科	Secretomes from mesenchymal stem cells participate in the regulation of osteoclastogenesis in vitro.	Clin Oral Investig. 2017 Jul;21(6):1979-1988.	Original Article
344	金子 直樹	顎口腔外科	Erratum to: Tongue squamous cell carcinoma producing both parathyroid hormone-related protein and granulocyte colony-stimulating factor: a case report and literature review.	World J Surg Oncol. 2016 Jul 19;14(1):187.	Case report
345	林 慶和	顎口腔外科	Differential Roles of Carboxylated and Uncarboxylated Osteocalcin in Prostate Cancer Growth.	J Cancer. 2016 Jul 18;7(12):1605-1609.	Others
346	古川 祥子	顎口腔外科	Interleukin-33 produced by M2 macrophages and other immune cells contributes to Th2 immune reaction of IgG4-related disease.	Sci Rep. 2017 Feb 13;7:42413.	Original Article
347	前原 隆	顎口腔外科	Lesional CD4+ IFN- γ + cytotoxic T lymphocytes in IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis.	Ann Rheum Dis. 2017 Feb;76(2):377-385.	Original Article
348	森山 雅文	顎口腔外科	Th1/Th2 Immune Balance and Other T Helper Subsets in IgG4-Related Disease.	Curr Top Microbiol Immunol. 2017;401:75-83.	Original Article
349	森山 雅文	顎口腔外科	The diagnostic utility of labial salivary gland biopsy in IgG4-related disease.	Rheumatol. 2016 Sep;26(5):725-9.	Original Article
350	山内 昌樹	顎口腔外科	Myeloid dendritic cells stimulated by thymic stromal lymphopoietin promote Th2 immune responses and the pathogenesis of oral lichen planus.	PLoS One. 2017 Mar 9;12(3):e0173017.	Original Article
351	大内 謙太郎	歯科麻酔科	Acoustic method respiratory rate monitoring is useful in patients under intravenous anesthesia.	J Clin Monit Comput. 2017 Feb;31(1):59-65.	Original Article
352	大内 謙太郎	歯科麻酔科	Cuff depth and continuous chest auscultation method for determination of tracheal tube insertion depth in nasal intubation: observational study.	J Anesth. 2016 Apr;30(2):193-8.	Original Article
353	大内 謙太郎	歯科麻酔科	Hypotonic fluid reduce serum sodium compared to isotonic fluids during anesthesia induction in pediatric patients undergoing maxillofacial surgery-type of infusion affects blood electrolytes and glucose: an observational study.	BMC Pediatr. 2016 Jul 27;16:112.	Original Article
354	塚本 真規	歯科麻酔科	Anesthetic Management of a Patient With Emanuel Syndrome.	Anesth Prog. 2016 Winter;63(4):201-203.	Case report
355	塚本 真規	歯科麻酔科	Body composition and hemodynamics changes in special needs patients.	Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine;2016;16(3):193-197.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
356	塚本 真規	歯科麻酔科	Perioperative airway management with Beckwith-Wiedemann syndrome.	Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine:2016;16(4):313-316.	Case report
357	塚本 真規	歯科麻酔科	Risk Factors for Postoperative Shivering After Oral and Maxillofacial Surgery.	J Oral Maxillofac Surg. 2016 Dec;74(12):2359-2362.	Others
358	塚本 真規	歯科麻酔科	The anesthetic management for a special needs patient with trisomy 18 accompanying untreated tetralogy of Fallot.	Egyptian Journal of Anaesthesia, in press.	Case report
359	竹下 洋平	口腔画像診断科	A new method to evaluate image quality of CBCT images quantitatively without observers.	Dentomaxillofac Radiol. 2017 Mar;46(3):20160331.	Original Article
360	竹下 正章	口腔総合診療科	Antibiotic Effects against Periodontal Bacteria in Organ Cultured Tissue.	Clin Exp Dent Res.2017 Feb;3(1):5-12.	Original Article
361	長谷川 佳那	口腔総合診療科	Facioscapulohumeral muscular dystrophy (FSHD) region gene 1 (FRG1) expression and possible function in mouse tooth germ development.	J Mol Histol. 2016 Aug;47(4):375-87.	Original Article
362	村橋 睦了	先端分子・細胞治療科	Phase I clinical trial of a five-peptide cancer vaccine combined with cyclophosphamide in advanced solid tumors.	Clin Immunol. 2016 May;166-167:48-58.	Original Article
363	緒方 久修	先端分子・細胞治療科	Angiotensin II type I receptor blocker, Losartan, inhibits fibrosis in liver by suppressing TGF-beta1 production.	Integr Mol Med: 2016 April; 3(1):520-23.	Original Article
364	岡崎 利彦	ARO次世代医療センター	A novel, polymer-coated oncolytic measles virus overcomes immune suppression and induces robust antitumor activity.	Mol Ther Oncolytics. 2016 Nov 2;3:16022.	Original Article
365	増田 智先	薬剤部	Urinary Dopamine as a Potential Index of the Transport Activity of Multidrug and Toxin Extrusion in the Kidney.	Int J Mol Sci. 2016 Jul 30;17(8).	Original Article
366	増田 智先	薬剤部	Role of mTOR Inhibitors in Kidney Disease.	Int J Mol Sci. 2016 Jun 21;17(6).	Review
367	増田 智先	薬剤部	Association of interleukin4 gene polymorphisms of recipients and donors with acute rejection following living donor liver transplantation.	Clin Res Hepatol Gastroenterol. 2016 Apr;40(2):179-85.	Original Article
368	増田 智先	薬剤部	Therapeutic Drug Monitoring of Everolimus: A Consensus Report.	Ther Drug Monit. 2016 Apr;38(2):143-69.	Review
369	増田 智先	薬剤部	Protective Effects of Imatinib on Ischemia/Reperfusion Injury in Rat Lung.	Ann Thorac Surg. 2016 Nov;102(5):1717-1724.	Original Article
370	増田 智先	薬剤部	Inter-laboratory Variability of Current Immunoassay Methods for Tacrolimus among Japanese Hospitals.	Biol Pharm Bull. 2016 Aug 1;39(8):1331-7.	Original Article
371	増田 智先	薬剤部	Significant effect of age on docetaxel pharmacokinetics in Japanese female breast cancer patients by using the population modeling approach.	Eur J Clin Pharmacol. 2016 Jun;72(6):703-10.	Others
372	増田 智先	薬剤部	Disruption of Slc52a3 gene causes neonatal lethality with riboflavin deficiency in mice.	Sci Rep. 2016 Jun 8;6:27557.	Original Article

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
----	-------	-------	----	-----	------

合計 372件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名	論文種別
1	波多 伴和	心療内科	腸内フローラと摂食障害	分子精神医学:2017;17(1):24-28	Others
2	中村 雅史	第一外科	過去25年間に医学生物学雑誌に報告されたP値を含む統計的記述法の変遷	膵臓 2016;31(4):699-699	Others
3	大内田 研宙	第一外科	膵がん浸潤・転移における微小環境の病態	膵炎・膵がん 2016 Aug;76-84	Others
4	大塚 隆生	第一外科	膵臓疾患	臨床外科 2017 Jan;72(1):42-45	Others
5	大塚 隆生	第一外科	膵液細胞診によるIPMN併存膵癌の早期診断	膵臓 2017 Feb;32(1):45-49	Others
6	永井 英司	第一外科	進行胃癌に対する腹腔鏡下でのリンパ節郭清	臨床外科 2016 Jun;71(6):726-733	Others
7	永吉 絹子	第一外科	腸管子宮内膜症に対する腹腔鏡手術の経験	日本消化器外科学会誌 2016 Aug;49(8):762-771	Case report
8	宮坂 義浩	第一外科	消化器癌手術に必要な拡大視による局所微細解剖アトラス:腹腔鏡下膵体尾部切除における膵周囲の膜および間膜の認識とその活用	手術 2017 Mar;71(4):685-690	Others
9	宮坂 義浩	第一外科	膵・消化管神経内分泌腫瘍の外科治療	Mebio 2017 Mar;34(3):86-92	Others
10	森 泰寿	第一外科	GLP-1の膵癌治療への応用	BIO Clinica 2016 Jun;31(7):72-78	Others
11	岡田 貴充	整形外科	クラミジア・ニューモニエ関連関節炎の手関節臨床像の検討	日本手外科学会雑誌, 第32巻4号, 417-420,2016	Others
12	竹内 直英	整形外科	屈筋腱縫合のトレーニング法について -手外科教育の側面から-	日本手外科学会雑誌,2016 32(5): 625-628,	Others
13	竹内 直英	整形外科	肩甲骨関節窩骨折に対して関節鏡を併用し骨接合術を施行した1例	肩関節2016,40(2) 771-774	Case report
14	竹内 直英	整形外科	不安定型骨盤輪骨折に対する内固定術の治療戦略	整形外科と災害外科,2016, 65(1):142-145,	Others
15	江内田 寛	眼科	A0001(ブリリアントブルーG250)の内境界膜染色と剥離に対する有効性と安全性の検討 多施設共同第III相医師主導治験	日本眼科学会雑誌:2016Jun;120:439-48.	Others

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
16	高木 健一	眼科	霰粒腫のマイボグラフィ所見	臨床眼科:2016Oct;70:1785-8.	Others
17	緒方 惟彦	眼科	ぶどう膜炎続発緑内障に対する治療方法の検討	臨床眼科:2016Oct;70:1571-5.	Others
18	上田 瑛美	眼科	眼部定位的放射線治療後血管新生緑内障の危険因子および汎網膜光凝固術の予防効果	日本眼科学会雑誌:2016Nov;120:689-95.	Others
19	村重 高志	眼科	急性増悪をきたした眼窩びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の三症例	眼科臨床紀要:2016Dec;9:489-93.	Case report
20	藤川 佳奈子	眼科	定位放射線治療を行った視神経鞘髄膜腫の2例	紀要:2016Sep;9:725-8.	Case report
21	徳永 瑛子	眼科	難治性特発性眼窩炎症に対するシクロフォスファミドの使用経験	臨床眼科:2017Jan;71:121-126.	Case report
22	前田 英史	歯内治療科	根管貼薬における水酸化カルシウムの応用について.	日歯内療誌. 2016 Sep; 37(3): 137-143.	Others
23	松村 香織	顎口腔外科	唇顎口蓋裂を伴ったAicardi症候群の1例	日本小児口腔外科学会雑誌:2016 6月 26巻1号 Page14-18	Case report
24	松村 香織	顎口腔外科	抗リン脂質抗体症候群患者の抜歯経験	日本有病者歯科医療学会雑誌:2016 Sep 25巻3号 Page220-225	Case report
25	松村 香織	顎口腔外科	口唇形成術後に上唇に生じた断端神経腫の1例	日本口蓋裂学会雑誌:2016 Oct 41巻3号 Page212-216	Case report
26	金子 直樹	顎口腔外科	舌下腺に生じた多形腺腫の1例と文献的考察	日本口腔内科学会雑誌:2016 12月 22巻2号 Page79-83	Case report
27	見立 英史	顎口腔外科	巨舌を呈した対称性舌脂肪腫症の1例	日本口腔腫瘍学会雑誌:2016 Dec Vol. 28 No. 4 p. 293-298.	Case report
28	見立 英史	顎口腔外科	陰圧閉鎖療法により治療した頸部郭清術後リンパ漏の2例.	日本口腔腫瘍学会雑誌:2016 9月 Vol. 28 No. 3 p. 155-160.	Case report
29	梯 裕恵	顎口腔外科	抜歯後出血を契機として明らかとなった後天性血友病の1例	日本口腔外科学会雑誌:2016 5月 62巻5号 Page262-266.	Case report
30	一杉 岳	歯科麻酔科	Williams症候群患児の全身麻酔下歯科治療経験	日本歯科麻酔学会雑誌:2016,44(2),150-152.	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名	論文種別
31	一杉 岳	歯科麻酔科	ダンディー・ウォーカー症候群に対し学童後期に 静脈内鎮静と6回の繰り返し全身麻酔の経験	麻酔:2016,65(3),304-307.	Case report
32	一杉 岳	歯科麻酔科	各種シリンジ及びシリンジポンプの機種間の互換性:各種シ リンジとポンプの経時的注入量誤差率の比較	臨床麻酔:2016;40:1053- 1058.	Others
33	一杉 岳	歯科麻酔科	各種シリンジ(50mL)およびシリンジポンプの機種間の互換 性:各種シリンジとポンプの経時的注入量誤差率の比較(第 2報).	臨床麻酔:2016;40:1299- 1305.	Others
34	一杉 岳	歯科麻酔科	喉頭内視鏡検査で声帯癒着が見逃されたため挿管および 気道管理に苦慮した1症例	麻酔:2016,5(6),590-593.	Case report
35	一杉 岳	歯科麻酔科	二次癌(舌癌)手術時に肺転移を見出せなかった慢性移植片 対宿主病患者	臨床麻酔:2016,40(4),593- 957.	Case report
36	一杉 岳	歯科麻酔科	肺動脈閉鎖症、心室中隔欠損、主要大動脈肺動脈側副動 脈を合併したファロー四徴症患者の全身麻酔経験	麻酔:2016,65(3),291-295.	Case report
37	塚本 真規	歯科麻酔科	気管内肉芽を有する障害児の歯科治療に対する全身麻酔 経験	日本歯科麻酔学会雑 誌:2016,44(2),180-182.	Case report
38	石井 健太郎	歯科麻酔科	迷走神経刺激療法(VNS)を施行している難治てんかん患者 の全身麻酔管理経験	臨床麻酔:2016,40(10), 1439-1440.	Case report
39	増田 智先	薬剤部	Clinical nephrology 腎不全(AKI,CKD,移植,透析含む)臓器 移植におけるmTOR阻害薬の可能性.	Annual Review腎 臓.2016;01(-)175-182.	Others
40	増田 智先	薬剤部	【移植医学の進歩と病理の役割】移植免疫の基礎 免疫抑 制薬の血中濃度モニタリング.	病理と臨 床.2016;34(2)139-144.	Others
41	増田 智先	薬剤部	【臨床の疑問に答える がん薬物療法アップデート】(第3章) すべての薬剤師が知っておきたい抗がん薬の薬物動態 抗 がん薬とトランスポーター.	薬事.2016;58(2)393-397.	Others
42	増田 智先	薬剤部	【臨床の疑問に答えるがん薬物療法アップデート】(第1章) がん治療に関わるすべての薬剤師が知っておきたいこと がん薬物療法の基本.	薬事.2016;58(2)197-206.	Others
43	増田 智先	薬剤部	集中治療室におけるニカルジピン注射液による血管障害に 対する取り組みと評価	医療薬 学.2016;42(11)773-778.	Others
44	増田 智先	薬剤部	【治療薬物モニタリング(TDM)と臨床化学】免疫抑制薬の TDMの実際	臨床化学.2016;45(3)221- 227.	Others
45	増田 智先	薬剤部	免疫抑制剤の測定機器について	Organ Biology.2016;23(1)33-38.	Others

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名	論文種別
46	増田 智先	薬剤部	がん骨転移治療薬デノスマブによる低カルシウム血症の発現時期と危険因子	臨床薬理の進歩,2016;06(37)142-148.	Others
47	増田 智先	薬剤部	【臨床検査値を活かす!便利ツール】臨床検査値の活用方法	調剤と情報,2016;22(14)1793-1801.	Others
48	増田 智先	薬剤部	【処方箋検査値トレーシングレポート活用術 地域医療連携に薬立つ「知恵」と「コツ」】併病/多病のケースで考える!薬学的管理における処方箋検査値の活用術! 肺癌×慢性閉塞性肺疾患	薬局,2016;67(10)2888-2893.	Others
49	増田 智先	薬剤部	【ICUにおける薬物投与設計】重症病態における免疫抑制薬の投与設計	IGUとCCU,2016;40(7)489-495.	Others
50	増田 智先	薬剤部	集中治療室における注射剤配合変化早見表の作成と有用性の評価	医療薬学,2016Apr;42(4)286-294.	Others
51	増田 智先	薬剤部	薬効別の薬剤配置下における調剤エラーの発生タイミングと患者への危険性との関係	薬学雑誌,2016 Nov;136(11)1573-1584.	Others
52	増田 智先	薬剤部	IT支援システムの構築による退院時薬剤情報管理指導の効率化	日本病院薬剤師会雑誌,2016 Jul;52(7)882-886.	Others

合計 52 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

2 研修の実績

研修医の人数	1207人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司 浩一	血液・腫瘍・心血管内科	診療科長	32年	
赤司 浩一	免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	32年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	33年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	33年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	29年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	29年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	29年	
吉良 潤一	神経内科	診療科長	38年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	34年	
中西 洋一	呼吸器科	診療科長	37年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	31年	
大賀 正一	小児科	診療科長	32年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	30年	
前原 喜彦	第二外科	診療科長	41年	
中島 康晴	整形外科	副診療科長	27年	
飯原 弘二	脳神経外科	診療科長	31年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	21年	
田口 智章	小児外科	診療科長	39年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	38年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	31年	
神庭 重信	精神科神経科	診療科長	37年	
園田 康平	眼科	診療科長	26年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	30年	
本田 浩	放射線科	診療科長	39年	
外 須美夫	麻酔科蘇生科	診療科長	40年	
古庄 憲浩	総合診療科	副診療科長	23年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	19年	
村橋 陸了	先端分子・細胞治療科	副診療科長	16年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	31年	
野中 和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	39年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	30年	
赤峰 昭文	歯内治療科	診療科長	44年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	33年	
古谷野 潔	義歯補綴科	診療科長	36年	
古谷野 潔	咬合補綴科	診療科長	36年	

中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	36年
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	36年
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	28年
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	35年
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	20年
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	16年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)	
1	第一内科(血液・腫瘍 内科)	1	血液専門医コース	1	加藤 光次	栃木 太郎	九州大学病院	12	
2				2		百合野 彩乃	九州大学病院	12	
3				3	幸地 祐	九州大学病院	12		
4				4	次郎丸 高志	九州大学病院	12		
5				5	上原 康史	九州大学病院	12		
6				6	杉尾 健志	九州大学病院	12		
7				7	仙波 雄一郎	九州大学病院	12		
8				8	南 満理子	九州大学病院	12		
9				9	迫田 哲平	九州大学病院	12		
10				10	布村 拓也	九州大学病院	12		
11				11	林 正康	九州大学病院	12		
12				12	藤澤 学	九州大学病院	12		
13				13	宮本 敏浩	下川 知則	九州大学病院	12	
14				14		梅野 毅史	九州大学病院	12	
15				15		山本 育美	九州大学病院	12	
16				16		佐々木 謙介	九州大学病院	12	
17				17		小原 鉄兵	九州大学病院	12	
18				18		中尾 文彦	九州大学病院	12	
19				19		嶋川卓史	九州大学病院	12	
20				20		佐々木 謙介	九州大学病院	12	
21				21		小原 鉄兵	九州大学病院	12	
22				22		中尾 文彦	九州大学病院	12	
23				23		嶋川卓史	九州大学病院	12	
24		第一内科(血液・腫瘍 内科)	2	腫瘍専門医コース	1	草場 仁志	高吉 琴絵	九州大学病院	12
25					2		中野 倫孝	九州大学病院	12
26					3		稲富 幸子	九州大学病院	12
27					4		花村 文康	九州大学病院	12
28					5		桑山 美幸	九州大学病院	12
29					6		松下 祐三	九州大学病院	12
30					7		相川 智美	九州大学病院	12
31					8		有水 耕平	九州大学病院	12
32					9		上ノ町 優仁	九州大学病院	12
33					10		大村 洋文	九州大学病院	12
34					11	篠原 雄大	九州大学病院	12	
35					12	鶴田 展大	九州大学病院	12	
36					13	馬場 英司	奥村 祐太	九州大学病院	12
37					14		相良 浩輔	九州大学病院	12
38					15		田中 守	九州大学病院	12
39					16		土橋 賢司	九州大学病院	12
40					17		梶谷 竜裕	九州大学病院	12
41					18		井上志穂	九州大学病院	12
42					19		土居靖宗	九州大学病院	12
43					20		吉弘知恭	九州大学病院	12
44		第一内科(血液・腫瘍 内科)	3	循環器専門医コース	1	小田代 敬太	稗田 道成	九州大学病院	12
45					2		古川 陽介	九州大学病院	12
46					3		中島 啓太郎	九州大学病院	12
47					4		刀根 聡志	九州大学病院	12
48					5		入江 圭	九州大学病院	12
49					6		野田 裕剛	九州大学病院	12
50					7		與田 俊介	九州大学病院	12
51					8		森山 祥平	九州大学病院	12
52					9		二見 崇太郎	九州大学病院	12
53					10		細谷 まるか	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)	
54	第一内科(血液・腫瘍内科)	3	循環器専門医コース	11	小田代 敬太	畠山 究	九州大学病院	12	
55				12		有馬 岳史	九州大学病院	12	
56				13		田中 洋光	九州大学病院	12	
57				14		児玉 浩幸	九州大学病院	12	
58				15		轟木 渉	九州大学病院	12	
59				16		藤田一允	九州大学病院	12	
60				17		升井志保	九州大学病院	12	
61				18		吉田千春	九州大学病院	12	
62				第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)		4	感染症専門医コース	1	下田 慎治
63	2	下野 信行	米川 晶子		九州大学病院			12	
64	3		上地 貴音		九州大学病院			12	
65	4		西田 留梨子		九州大学病院			12	
66	5		中村 啓二		九州大学病院			12	
67	6		安部 佳亮		九州大学病院			12	
68	7		鎗水 彰		九州大学病院			12	
69	8		中島 遥子		九州大学病院			12	
70	9		有田康佑		九州大学病院			12	
71	10		井上 健		九州大学病院			12	
72	11		木佐貫 恵		九州大学病院			12	
73	12		谷 直樹		九州大学病院			12	
74	5		リウマチ専門医コース		1	新納 宏昭	村上 哲晋	九州大学病院	12
75		2			中山 剛志		九州大学病院	12	
76		3			中野 翔太		九州大学病院	12	
77		4			太田(廣崎) 有里		九州大学病院	12	
78		5			前川 真貴子		九州大学病院	12	
79		6			山内雄介		九州大学病院	12	
80		7			横山佳奈		九州大学病院	12	
81		6			塚本 浩		押領司 大助	九州大学病院	12
82		7					中川 仁	九州大学病院	12
83		8					東岡 和彦	九州大学病院	12
84		9					猪口 翔一朗	九州大学病院	12
85		10					入野 健佑	九州大学病院	12
86	11	吉田 健志	九州大学病院	12					
87	12	古藤 史	九州大学病院	12					
88	13	吉弘 恭子	九州大学病院	12					
89	14	河野 正太郎	九州大学病院	12					
90	15	大塚 友希実	九州大学病院	12					
91	16	西村 直矢	九州大学病院	12					
92	17	小田 桂子	九州大学病院	12					
93	18	福元 遼	九州大学病院	12					
94	19	柏戸 俊介	九州大学病院	12					
95	20	土井 吾郎	九州大学病院	12					
96	21	中野 未来	九州大学病院	12					
97	22	久志本 和郎	九州大学病院	12					
98	23	内藤 敦	九州大学病院	12					
99	24	藤井 勇佑	九州大学病院	12					
100	25	水野 綾	九州大学病院	12					
101	26	三嶋 耕司	九州大学病院	12					
102	第二内科(消化管内科)	6	消化管内科専門医コース	1	鳥巢 剛弘	大石 篤美	九州大学病院	12	
103				2		佐久間 努	九州大学病院	12	
104				3	江崎 幹宏	田中 貴英	九州大学病院	12	
105				4		奥村 美紀	九州大学病院	12	
106				5		冬野(岩切) 光未	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)		
107	第二内科(消化管内科)	6	消化管内科専門医コース	6	江崎 幹宏	樋口 梢	九州大学病院	12		
108				7		近藤 雅浩	九州大学病院	12		
109				8		長末 智寛	九州大学病院	12		
110				9		樋田 理沙	九州大学病院	12		
111				10	森山 智彦	亀田 昌司	九州大学病院	12		
112				11		秋吉 大輔	九州大学病院	12		
113				12		平田 敬	九州大学病院	12		
114				13		岩崎 一秀	九州大学病院	12		
115				14	村上 祐一	九州大学病院	12			
116				15	森下 寿文	九州大学病院	12			
117				16	藤岡 審	澤野 美由紀	九州大学病院	12		
118				17		原田 英	九州大学病院	12		
119				18		長畑 誠修	九州大学病院	12		
120				19	冬野雄太	淵上 綾子	九州大学病院	12		
121				20		膳所 圭三	九州大学病院	12		
122				21		松野 雄一	九州大学病院	12		
123				22		仁田畑 智紀	九州大学病院	12		
124				23	平野敦士	大場未紀	九州大学病院	12		
125				24		濱田広之	九州大学病院	12		
126				25		今津愛介	九州大学病院	12		
127				26		甲斐貴大	九州大学病院	12		
128				27		和智博信	九州大学病院	12		
129				28		森崎晋史	九州大学病院	12		
130				7	消化管治療習熟コース	1	鳥巢 剛弘	清森 亮祐	九州大学病院	12
131						2		川床慎一郎	九州大学病院	12
132						3		原 裕一	九州大学病院	12
133						4	森山 智彦	吉田 雄一朗	九州大学病院	12
134						5	藤岡 審	保利 喜史	九州大学病院	12
135	6	末永 文彦	九州大学病院			12				
136	7	池田祥記	九州大学病院			12				
137	8	腎臓専門医・透析専門医コース	1	土本 晃裕	古閑 和生	九州大学病院		12		
138			2		菰田 圭佑	九州大学病院	12			
139			3		松枝 修明	九州大学病院	12			
140			4	鳥巢 久美子	富田 佳吾	九州大学病院	12			
141			5		福井 明子	九州大学病院	12			
142			6		瀧井 美咲	九州大学病院	12			
143			7		吉田 祐子	九州大学病院	12			
144			8		牧 建次	九州大学病院	12			
145			9	高江 啓太	九州大学病院	12				
146			10	藤崎毅一郎	冷牟田 浩人	九州大学病院	12			
147			11		長谷川 祥子	九州大学病院	12			
148			12		吉水 秋子	九州大学病院	12			
149			13		西本 仁美	九州大学病院	12			
150			14	吉田 健	九州大学病院	12				
151			15	二宮 利治	片多 瑠衣子	九州大学病院	12			
152			16		川井 康弘	九州大学病院	12			
153			17		浅田 真司	九州大学病院	12			
154			18		浦 佳莉子	九州大学病院	12			
155			19		藤元 紗代子	九州大学病院	12			
156			20		荒瀬 北斗	九州大学病院	12			
157			21		宿輪 ゆい	九州大学病院	12			
158			22	柴田 郁子	九州大学病院	12				

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人 数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)	
159	第二内科(腎・高血 圧・脳血管内科)	8	腎臓専門医・透析専門医コース	23	鳥巢 久美子	安宅映里	九州大学病院	12	
160				24		古原千明	九州大学病院	12	
161				25		入江綾	九州大学病院	12	
162				26		品川有里	九州大学病院	12	
163				27		岡村員裕	九州大学病院	12	
164		9	腎臓内科・医学博士取得コース		1	土本 晃裕	安部 和人	九州大学病院	12
165					2		片淵 瑛介	九州大学病院	12
166					3		植木 研次	九州大学病院	12
167					4		武藤 義治	九州大学病院	12
168					5		嶋本 聖	九州大学病院	12
169					6		嶋野 勝太	九州大学病院	12
170					7		原 雅俊	九州大学病院	12
171					8		上村 麻衣	九州大学病院	12
172					9		辻川 浩明	九州大学病院	12
173					10		橋 紗耶佳	九州大学病院	12
174					11	藤崎毅一郎	四枝 龍佑	九州大学病院	12
175					12		酒匂 哲平	九州大学病院	12
176					13		隈 和良	九州大学病院	12
177					14		宿理 朋哉	九州大学病院	12
178					15		内田 裕士	九州大学病院	12
179					16		北村 博雅	九州大学病院	12
180	17				岸本 啓志		九州大学病院	12	
181	18				川本 優子		九州大学病院	12	
182	19				川原 翔太		九州大学病院	12	
183	20				平島 佑太郎		九州大学病院	12	
184	21				濱野 直人	九州大学病院	12		
185	22				二宮 利治	山崎 景介	九州大学病院	12	
186	23					相原 成志	九州大学病院	12	
187	24				江里口 雅弘	原祥子	九州大学病院	12	
188	25					関雅紀子	九州大学病院	12	
189	26					津田美希	九州大学病院	12	
190	27					福満研人	九州大学病院	12	
191	28					中俣悠亮	九州大学病院	12	
192	29				末永達也	九州大学病院	12		
193	10	脳卒中専門医コース1		1	吾郷 哲朗	鴨川 徳彦	九州大学病院	12	
194				2		高島 正光	九州大学病院	12	
195				3		佐藤 倫子	九州大学病院	12	
196				4	黒田 淳哉	山中 圭	九州大学病院	12	
197				5	脇坂 義信	金沢 信	九州大学病院	12	
198				6		桑野 幸	九州大学病院	12	
199				7		植木 香奈	九州大学病院	12	
200				8		北村 泰佑	九州大学病院	12	
201				9	黒田 淳哉	横井美央	九州大学病院	12	
202				10	橋本剛	九州大学病院	12		
203				11	脇坂 義信	古賀統之	九州大学病院	12	
204				12	木村俊介	九州大学病院	12		
205	11	脳卒中専門医コース2		1	吾郷 哲朗	坂井 翔健	九州大学病院	12	
206				2		田川 直樹	九州大学病院	12	
207				3	黒田 淳哉	榑 佑介	九州大学病院	12	
208				4		溝口 忠孝	九州大学病院	12	
209				5		中島 弘淳	九州大学病院	12	
210				6		東 英司	九州大学病院	12	
211				7		脇坂 義信	大屋祐一郎	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)	
212	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	11	脳卒中専門医コース2	8	吾郷 哲朗	前田花佳	九州大学病院	12	
213				9		村谷陽平	九州大学病院	12	
214				10		吉野文隆	九州大学病院	12	
215			12	糖尿病専門医コース	1	中村 宇大	高木 可南子	九州大学病院	12
216					2		小森田 祐二	九州大学病院	12
217					3		野口 裕貴	九州大学病院	12
218					4		矢野 まりの	九州大学病院	12
219					5		井本 真由美	九州大学病院	12
220					6		高岡 千恵	九州大学病院	12
221					7		村尾 愛	九州大学病院	12
222					8		泊 秀史	九州大学病院	12
223					9		吉成 匡人	九州大学病院	12
224					10		川井 希実	九州大学病院	12
225					11	大城 彩香	九州大学病院	12	
226					12	伊東 万結子	九州大学病院	12	
227					13	中尾 晶子	九州大学病院	12	
228					14	里見 美佳	九州大学病院	12	
229					15	堂園史子	九州大学病院	12	
230					16	檜垣舞子	九州大学病院	12	
231					17	南條詩乃	九州大学病院	12	
232	18				二宮智慧	九州大学病院	12		
233	19				於久祐太郎	九州大学病院	12		
234	20				木山龍吉	九州大学病院	12		
235	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	13	高血圧専門医・臨床コース	1	後藤 健一	大石 絵美	九州大学病院	12	
236				2	大坪 俊夫	入田 英二	九州大学病院	12	
237				3		井上美奈子	九州大学病院	12	
238				4		茨木 愛	九州大学病院	12	
239				5		富田 祐亮	九州大学病院	12	
240				6	後藤 健一	青柳くみ	九州大学病院	12	
241				7	樋口 優	九州大学病院	12		
242				8	大坪 俊夫	東 里奈	九州大学病院	12	
243	14	高血圧専門医・大学院コース	1	後藤 健一	関 拓紀	九州大学病院	12		
244			2	清原嘉奈子	九州大学病院	12			
245			3	大坪 俊夫	瀧口 知浩	九州大学病院	12		
246			4		川本 夕季	九州大学病院	12		
247		15	内分泌代謝・糖尿病コース	1	蘆田 健二	内田 真奈美	九州大学病院	12	
248				2		松村 祐介	九州大学病院	12	
249				3		森崎 裕子	九州大学病院	12	
250				4		仲山 倫子	九州大学病院	12	
251				5		平田 由起	九州大学病院	12	
252				6		岡本 実里	九州大学病院	12	
253				7		丸山 健伍	九州大学病院	12	
254				8		井上 千絵子	九州大学病院	12	
255				9	野村 政壽	緒方 大聖	九州大学病院	12	
256				10		武市 幸奈	九州大学病院	12	
257				11		多田限 博	九州大学病院	12	
258				12		北島 慶子	九州大学病院	12	
259				13		加来 真理子	九州大学病院	12	
260				14		井林 雄太	九州大学病院	12	
261				15		嶋田 伸吾	九州大学病院	12	
262				16		阿部 真紀子	九州大学病院	12	
263				17		勝原 俊亮	九州大学病院	12	
264				18		小橋 恵	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	受講人 No	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
265	第三内科(内分泌・糖 尿病内科)	15	内分泌代謝・糖尿病コース	19	野村 政壽	内田 啓一郎	九州大学病院	12
266				20		北村 知美	九州大学病院	12
267				21		近藤(亀田)和花子	九州大学病院	12
268				22	林田 英一	池田 陽介	九州大学病院	12
269				23		井口 志洋	九州大学病院	12
270				24		前野 彩香	九州大学病院	12
271				25		寺田 英季子	九州大学病院	12
272				26		梶谷 祐介	九州大学病院	12
273				27	園田 紀之	田中 和子	九州大学病院	12
274				28		畑山 朋美	九州大学病院	12
275				29		石内 真理子	九州大学病院	12
276				30		南 沙希	九州大学病院	12
277				31		伊藤 淳	九州大学病院	12
278				32		安部 健太郎	九州大学病院	12
279				33		矢野 誠一	九州大学病院	12
280				34		梶谷 奈央	九州大学病院	12
281				35	伊原 栄吉	二宮由佳里	九州大学病院	12
282				36		日置 智惟	九州大学病院	12
283				37		松口 崇史	九州大学病院	12
284				38		福元 多鶴	九州大学病院	12
285				39		安永 浩平	九州大学病院	12
286				40		永田 宙生	九州大学病院	12
287				41		坂口千尋	九州大学病院	12
288				42		糸永周一	九州大学病院	12
289				43		中村亜季	九州大学病院	12
290				44		木下聡子	九州大学病院	12
291				45		古賀康雅	九州大学病院	12
292				46		滝 悠里	九州大学病院	12
293				47		中尾裕	九州大学病院	12
294	48	吉村將	九州大学病院	12				
295	49	岡田淳子	九州大学病院	12				
296	50	奈良崎泰典	九州大学病院	12				
297	51	中村慎太郎	九州大学病院	12				
298	52	阿部隼希	九州大学病院	12				
299	53	樋口菜希子	九州大学病院	12				
300	第三内科(肝臓・膵 臓・内科)	16	消化管総合コース(消化管・肝 臓・膵臓・胆道)	1	伊原 栄吉	松林 江里子	九州大学病院	12
301				2		横山 梓	九州大学病院	12
302				3		西岡 慧	九州大学病院	12
303				4		安部 周壱	九州大学病院	12
304				5		山口 恵梨子	九州大学病院	12
305				6		西原 佑一郎	九州大学病院	12
306				7		白 曉鵬	九州大学病院	12
307				8		中野 佳余子	九州大学病院	12
308				9		江崎 充	九州大学病院	12
309				10		友枝 成	九州大学病院	12
310				11		向坂 誠一郎	九州大学病院	12
311				12		川元 美緒	九州大学病院	12
312				13		鳴尾 涼子	九州大学病院	12
313				14		佐々木 泰介	九州大学病院	12
314				15		中村 由香	九州大学病院	12
315				16	河邊 顕	高松 悠	九州大学病院	12
316				17		野崎 哲史	九州大学病院	12
317				18		寺松 克人	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)			
318	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	16	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	19	河邊 頭	安森 翔	九州大学病院	12			
319				20		三木 正美	九州大学病院	12			
320				21		鈴木 俊幸	九州大学病院	12			
321				22		小島 芙紗子	九州大学病院	12			
322				23		松本 一秀	九州大学病院	12			
323				26	正月 泰士	九州大学病院	12				
324				27	井本 効志	九州大学病院	12				
325				28	高橋 基	九州大学病院	12				
326				29	森田 祐輔	九州大学病院	12				
327				30	倉重 智之	九州大学病院	12				
328				31	稲田 浩気	九州大学病院	12				
329				24	芥川 宗樹	九州大学病院	12				
330				25	伊崎 知美	九州大学病院	12				
331				32	和田 将史	九州大学病院	12				
332				33	岩田 真悠子	九州大学病院	12				
333				34	荒殿 ちほ子	九州大学病院	12				
334				35	池田 浩子	九州大学病院	12				
335				36	黒川 美穂	九州大学病院	12				
336				37	鶴田 伸一	九州大学病院	12				
337				38	北川 祐介	九州大学病院	12				
338				39	細川 泰三	九州大学病院	12				
339				40	大塚 宣寛	九州大学病院	12				
340				41	永松 諒介	九州大学病院	12				
341				42	長友 周三郎	九州大学病院	12				
342				43	村上 正俊	九州大学病院	12				
343				44	馬場 遥子	九州大学病院	12				
344				45	林 康代	九州大学病院	12				
345				46	赤嶺摩依	九州大学病院	12				
346				47	大野彰久	九州大学病院	12				
347				48	三島朋徳	九州大学病院	12				
348				49	末次亮子	九州大学病院	12				
349				17	血液・腫瘍総合コース	1	松島 孝充	土師 正二郎	九州大学病院	12	
350						2		木村 大作	九州大学病院	12	
351						3	白土 基明	高松 明子	九州大学病院	12	
352						4		増田 徹	九州大学病院	12	
353						5		津田 麻理子	九州大学病院	12	
354						6		塚本 康寛	九州大学病院	12	
355				心療内科	18	心療内科臨床研修コース	1	安野 広三	村井 明子	九州大学病院	12
356							2		田中 佑	九州大学病院	12
357							3	細井 昌子	寺田 悠紀子	九州大学病院	12
358							4	河合 啓介	江藤 紗奈美	九州大学病院	12
359							5	古川 智一	宮田 典幸	九州大学病院	12
360							6	高倉 修	鈴山 千恵	九州大学病院	12
361							7		戸田 健太	九州大学病院	12
362							8		増野 智章	九州大学病院	12
363							9	波多伴和	阿武雅子	九州大学病院	12
364				神経内科	19	神経内科専門医コース	1	松瀬 大	鳥山 敬祐	九州大学病院	12
365							2		三好絢子	九州大学病院	12
366							3		水野裕理	九州大学病院	12
367	4	迫田礼子	九州大学病院				12				
368	5	橋本 侑	九州大学病院				12				
369	6	山下謙一郎	吉村 基				九州大学病院	12			
370	7		永田 諭				九州大学病院	12			

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)	
385	神経内科	19	神経内科専門医コース	1	松下拓也	西村由宇慈	九州大学病院	12	
386				2		向井達也	九州大学病院	12	
387				3		山元 伸昭	九州大学病院	12	
388				4		田中栄蔵	九州大学病院	12	
389				5		前田泰宏	九州大学病院	12	
371		20	神経内科専門医大学院コース	1	上原 平	入江 恵美子	九州大学病院	12	
372				2	大八木 保政	藤田 篤史	九州大学病院	12	
373				3		岩永 育貴	九州大学病院	12	
374		21	てんかん専門神経内科コース	1	山崎 亮	白石 涉	九州大学病院	12	
375				2	上原 平	向野 隆彦	九州大学病院	12	
376				3		井下 恒平	九州大学病院	12	
377				4		岡留 敏樹	九州大学病院	12	
378				5		辻本篤志	九州大学病院	12	
379		22	認知症専門神経内科コース	1		大八木 保政	入江 剛史	九州大学病院	12
380				2	林 信太郎	宇根 隼人	九州大学病院	12	
381		23	脳卒中専門神経内科コース	1	重藤 寛史	横山 淳	九州大学病院	12	
382				2	松瀬 大	斎藤 万有	九州大学病院	12	
383				3	上原 平	高下 純平	九州大学病院	12	
384				4	村井 弘之	林 史恵	九州大学病院	12	
390		循環器内科	24	循環器内科専門医・大学重点コース	1	阿部 弘太郎	小嶋 浩士	九州大学病院	12
391					2	井手 友美	鬼塚 健	九州大学病院	12
392					3	井上 修二郎	萬納寺 洋士	九州大学病院	12
393					4	岸 拓弥	長山 友美	九州大学病院	12
394					5	坂本 一郎	康 憲史	九州大学病院	12
395					6	的場 哲哉	香月 俊輔	九州大学病院	12
396	7				日浅 謙一	瀬筒 康弘	九州大学病院	12	
397	8					池田 宗一郎	九州大学病院	12	
398	9				肥後 太基	成重 友里	九州大学病院	12	
399	25		循環器内科専門医・大学院進学コース	1	井手 友美	桑原 志実	九州大学病院	12	
400				2		朔 啓太	九州大学病院	12	
401				3		篠田 雅子	九州大学病院	12	
402				4		西崎 晶子	九州大学病院	12	
403				5		大賀 泰寛	九州大学病院	12	
404				6		池田 昌隆	九州大学病院	12	
405				7		藤井 香菜	九州大学病院	12	
406				8		有村 貴博	九州大学病院	12	
407				9	遠山 岳詩	九州大学病院	12		
408				10	吉田 賢明	九州大学病院	12		
409				11	岸 拓弥	彌永 武史	九州大学病院	12	
410				12		吉川 智子	九州大学病院	12	
411				13		高根澤 陸	九州大学病院	12	
412				14	武居 謙	九州大学病院	12		
413				15	的場 哲哉	徳留 正毅	九州大学病院	12	
414				16		石北 綾子	九州大学病院	12	
415	17	得能 智武	池田 源太郎	九州大学病院	12				
416	18		三小田 周弘	九州大学病院	12				
417	19		竹中 理紗	九州大学病院	12				
418	20		渡邊 亜矢	九州大学病院	12				
419	21		日浅 謙一	砂川 玄哉	九州大学病院	12			
420	22	由布 威雄		九州大学病院	12				
421	23	藤野 剛雄		九州大学病院	12				
422	24	長岡 和宏		九州大学病院	12				
423	25	中野 正紹	九州大学病院	12					

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)		
424	循環器内科	25	循環器内科専門医・大学院進 学コース	26	日浅 謙一	藤原 礼宜	九州大学病院	12		
425				27		梅津 隆太	九州大学病院	12		
426				28	肥後 太基	池田 次郎	九州大学病院	12		
427				29		本田 勝也	九州大学病院	12		
428				30		岡原 有秀	九州大学病院	12		
429				31		鎌田 和宏	九州大学病院	12		
430				32		松浦 託	九州大学病院	12		
431				33		井上 晃太	九州大学病院	12		
432				34	北本 史朗	高原 勇介	九州大学病院	12		
433				26	循環器内科専門医・心血管イン ターベンション重点コース	1	岸 拓弥	伊勢川 健吾	九州大学病院	12
434						2		甲木 雅人	九州大学病院	12
435						3		本田 修浩	九州大学病院	12
436						4	向井 靖	尾崎 功治	九州大学病院	12
437						5	的場 哲哉	高瀬 進	九州大学病院	12
438		6	市村 研三			九州大学病院		12		
439		7	仲野 泰啓			九州大学病院		12		
440		8	安徳 喜文			九州大学病院		12		
441		9	日浅 謙一			酒見 拓矢	九州大学病院	12		
442		10				戸伏 倫之	九州大学病院	12		
443		11				石川 智一	九州大学病院	12		
444		12				岡部 浩祐	九州大学病院	12		
445		13				桐谷 浩一	九州大学病院	12		
446		14				永田 拓也	九州大学病院	12		
447		15				芥野 絵里	九州大学病院	12		
448		16				渡邊 高德	九州大学病院	12		
449		17				畑島 皓	九州大学病院	12		
450		18				山本 泰史	九州大学病院	12		
451		19	藤田 敦子			九州大学病院	12			
452		20	円山 信之			九州大学病院	12			
453		21	古川 正一郎			九州大学病院	12			
454		22	内川 智貴			九州大学病院	12			
455		23	肥後 太基			河合 俊輔	九州大学病院	12		
456		24				三上 剛	九州大学病院	12		
457		25				阿部 巧	九州大学病院	12		
458		26				真崎 耕平	九州大学病院	12		
459		27	循環器内科専門医・地域医療 重点コース			1	井手 友美	柿野 貴盛	九州大学病院	12
460						2	坂本 一郎	上野山 沙織	九州大学病院	12
461						3	大谷 規彰	村上 雄二	九州大学病院	12
462						4	的場 哲哉	中城 総一	九州大学病院	12
463						5	日浅 謙一	秋山 雄介	九州大学病院	12
464						6		梅本 真太郎	九州大学病院	12
465						7		河野 佑貴	九州大学病院	12
466						8		佐田 政司	九州大学病院	12
467				9	石北 陽仁	九州大学病院		12		
468				10	筒井 好知	九州大学病院		12		
469				11	加来 秀隆	九州大学病院	12			
470				12	肥後 太基	竹上 薫	九州大学病院	12		
471	13			小河 清寛		九州大学病院	12			
472	14			古澤 峻		九州大学病院	12			
473	15			出口 裕子		九州大学病院	12			
474	16			柏原 宗一郎		九州大学病院	12			
475	17			松本 翔		九州大学病院	12			
476	18			三宅 涼	九州大学病院	12				

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)
477	循環器内科	27	循環器内科専門医・地域医療重点コース	19	肥後 太基	今給黎 智美	九州大学病院	12
478	呼吸器科	28	クリティカルケアコース	1	原田 英治	山本 宜男	九州大学病院	12
479				2		緒方 大聡	九州大学病院	12
480				3		安藤 伸尚	九州大学病院	12
481				4		池松 祐樹	九州大学病院	12
482				5	松元 幸一郎	阿部 由美子	九州大学病院	12
483				6		春藤 裕樹	九州大学病院	12
484				7	原田 英治	古賀 祐一郎	九州大学病院	12
485				8		神宮司 裕治郎	九州大学病院	12
486				9	福山 聡	岡村 晃資	九州大学病院	12
487				10		山本 悠造	九州大学病院	12
488				11		徳永 一	九州大学病院	12
489				12		大庭 ひろみ	九州大学病院	12
490				13		藤田 明孝	九州大学病院	12
491				14		石田浩一	九州大学病院	12
492				15		森崎隆史	九州大学病院	12
493				16		渡部浩三	九州大学病院	12
494				17		篠崎聖児	九州大学病院	12
495				18		衛藤大祐	九州大学病院	12
496				19		瓜生和靖	九州大学病院	12
497				20		古川里恵	九州大学病院	12
498				21		安藤 裕之	九州大学病院	12
499				22		原田 英治	山本朋子	九州大学病院
500				23	古鉄泰彬		九州大学病院	12
501				24	高尾智彬		九州大学病院	12
502				25	中西喬		九州大学病院	12
503				26	増本駿		九州大学病院	12
504				27	坂本藍子		九州大学病院	12
505				28	井手真亜子		九州大学病院	12
506				29	小川知洋		九州大学病院	12
507				30	塩田彩佳		九州大学病院	12
508				31	今田悠介		九州大学病院	12
509				32	合瀬瑞子		九州大学病院	12
510				33	平田慎二		九州大学病院	12
511				34	川床健司	九州大学病院	12	
512	29	感染症・び慢性肺疾患コース	1	濱田 直樹	高野 智嗣	九州大学病院	12	
513			2		柳原 豊史	九州大学病院	12	
514			3		橋迫 美貴子	九州大学病院	12	
515	30	臨床腫瘍コース	1	田中謙太郎	大田 恵一	九州大学病院	12	
516			2		上松 弘典	九州大学病院	12	
517			3		野崎 要	九州大学病院	12	
518			4		藤平 智道	九州大学病院	12	
519			5		中富 啓太	九州大学病院	12	
520			6		高倉 孝二	九州大学病院	12	
521			7		三島 祥平	九州大学病院	12	
522			8		濱田 直樹	九州大学病院	12	
523	産科婦人科	産婦人科専門医コース	1	戸 晶元	中村 友里恵	九州大学病院	12	
524			2		江頭 活子	九州大学病院	12	
525			3		八木 裕史	九州大学病院	12	
526			4	園田 顕三	竹本 彩	九州大学病院	12	
527			5		蜂須賀 一寿	九州大学病院	12	
528			6	愛甲 碧	九州大学病院	12		
529			7	奥川 馨	嘉村 駿佑	九州大学病院	12	
530			8		脇本 尚子	九州大学病院	12	
531			9	奥川 馨	蔵本 和孝	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)
532	産科婦人科	31	産婦人科専門医コース	10	河野 善明	松枝 さやか	九州大学病院	12
533				11		魚住 彩紗	九州大学病院	12
534				12		平川 真梨子	九州大学病院	12
535				13		田中 久美子	九州大学病院	12
536				14		清水場 亮	九州大学病院	12
537				15		兼城 英輔	九州大学病院	12
538				16		高山 彩	九州大学病院	12
539				17		嶋田 幸世	九州大学病院	12
540				18		安東 明子	九州大学病院	12
541				19		恒松 良祐	九州大学病院	12
542				20	魚住 友信	九州大学病院	12	
543				21	大神 達寛	九州大学病院	12	
544				22	曲淵 直未	九州大学病院	12	
545				23	東島 弘明	九州大学病院	12	
546				24	村上 健太	九州大学病院	12	
547				25	藤田 恭之	九州大学病院	12	
548				26	城戸 綾子	九州大学病院	12	
549				27	後藤 真友	九州大学病院	12	
550				28	吉田 優	九州大学病院	12	
551				29	片岡 恵子	九州大学病院	12	
552				30	大塚 慶太郎	九州大学病院	12	
553				31	貴島 雅子	九州大学病院	12	
554				32	村上 孟司	九州大学病院	12	
555				33	江夏 国宏	九州大学病院	12	
556				34	川上 稔	九州大学病院	12	
557				35	友延 寛	九州大学病院	12	
558				36	浅野間 和夫	九州大学病院	12	
559				37	高杉 篤志	九州大学病院	12	
560				38	加藤 真由	九州大学病院	12	
561				39	甲斐 翔太郎	九州大学病院	12	
562				40	後藤 遥	九州大学病院	12	
563	41	安永 昌史	九州大学病院	12				
564	小児科	32	小児科専門医コース1(大学重点)	1	石崎 義人	松岡 若利	九州大学病院	12
565				2		澁谷 与扶子	九州大学病院	12
566				3		東 加奈子	九州大学病院	12
567				4		武市 実奈	九州大学病院	12
568		33	小児科専門医コース2(地域重点)	1	石崎 義人	西尾 寿乗	九州大学病院	12
569				2		白水 優光	九州大学病院	12
570				3		園田 素史	九州大学病院	12
571				4		梯 公彦	九州大学病院	12
572				5		川口 直樹	九州大学病院	12
573				6		秋本 竜也	九州大学病院	12
574				7		内田 理彦	九州大学病院	12
575				8		安成 大輔	九州大学病院	12
576				9		米元 耕輔	九州大学病院	12
577				10		山下 文也	九州大学病院	12
578				11		大山 紀子	九州大学病院	12
579				12		竹本 竜一	九州大学病院	12
580				13		前原 健二	九州大学病院	12
581				14		トカン・ヴラッド	九州大学病院	12
582				15		河原 隆浩	九州大学病院	12
583				16		上田 圭希	九州大学病院	12
584				17		江上 直樹	九州大学病院	12
585	18	萩尾 泰明	九州大学病院	12				
586	19	馬場 理絵子	九州大学病院	12				
587	20	松岡 良平	九州大学病院	12				
588	21	長谷川 一太	九州大学病院	12				
589	小児科	34	小児科専門医コース2(地域重点)	22	石崎 義人	藤井 俊介	九州大学病院	12
590				23		宮田 達弥	九州大学病院	12
591				24		碓 航太	九州大学病院	12
592				25		渡部 貴秀	九州大学病院	12
593				26		桜井 百子	九州大学病院	12
					是松 辰哉	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	コース受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)
594	第一外科	35	外科専門医コース	1	永井 英司	藤井 昌志	九州大学病院	12
595				2		大坪 慶志輝	九州大学病院	12
596				3	久保 真	中山 鎮秀	九州大学病院	12
597				4		裏 惺哲	九州大学病院	12
598				5	宮坂 義浩	一宮 脩	九州大学病院	12
599				6		川元 真	九州大学病院	12
600				7		谷口 隆之	九州大学病院	12
601				8		浦岡 未央	九州大学病院	12
602				9	宮坂 義浩	崎濱 久紀子	九州大学病院	12
603				10	高畑 俊一	友杉 隆宏	九州大学病院	12
604				11		松田 諒太	九州大学病院	12
605				12	山田 大輔	新川 智彦	九州大学病院	12
606				13		武居 晋	九州大学病院	12
607				14	上田 純二	林 早織	九州大学病院	12
608				15		巢山 久実	九州大学病院	12
609				16		佐伯 潔	九州大学病院	12
610				17		安藤 陽平	九州大学病院	12
611				18	植木 隆	平沼 正明	九州大学病院	12
612				19		川地 暉	九州大学病院	12
613				20	真鍋 達也	倉田 加奈子	九州大学病院	12
614				21	前山 良	鬼塚 哲	九州大学病院	12
615				22	中村 勝也	松本 奏吉	九州大学病院	12
616				23		中山 和典	九州大学病院	12
617				24		持留 直希	九州大学病院	12
618				25	仲田 興平	三浦 哲史	九州大学病院	12
619				26		川浪 さやこ	九州大学病院	12
620				27		岐部 晋	九州大学病院	12
621				28		田中 宏明	九州大学病院	12
622				29	吉田 真樹	九州大学病院	12	
623				30	梁井 公輔	知念 澄志	九州大学病院	12
624				31		古賀 智子	九州大学病院	12
625				32		櫻井 翼	九州大学病院	12
626				33		奥田 翔	九州大学病院	12
627				34	大塚 隆生	久留 裕	九州大学病院	12
628	36	消化器外科専門医取得コース	1	永井 英司	河田 純	九州大学病院	12	
629			2	高畑 俊一	阿部 篤	九州大学病院	12	
630			3		岡山 卓史	九州大学病院	12	
631			4	山田 大輔	木庭 遼	九州大学病院	12	
632			5	上田 純二	後藤 佳登	九州大学病院	12	
633			6	植木 隆	中房 祐樹	九州大学病院	12	
634			7	真鍋 達也	ラウ 芙美子	九州大学病院	12	
635			8	中島 陽平	九州大学病院	12		
636			9	大塚 隆生	山本 猛雄	九州大学病院	12	
637			10	岡部 安博	長尾 晋次郎	九州大学病院	12	
638			11		岩本 直也	九州大学病院	12	
639			12		山田 裕	九州大学病院	12	
640			13		中村 祥一	九州大学病院	12	
641			14	林 昌孝	九州大学病院	12		
642	36	消化器外科専門医取得コース	15	岡部 安博	中房 智樹	九州大学病院	12	
643	37	肝胆膵外科専門医コース	1	山田 大輔	半田 啓輔	九州大学病院	12	
644			2	大塚 隆生	中山 宏道	九州大学病院	12	
645			3		千々岩 芳朗	九州大学病院	12	
646			4	岡部 安博	小山 虹輝	九州大学病院	12	

第一外科

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)	
647	第二外科	38	内視鏡外科専門医コース	5	植木 隆 岡部 安博	相良 亜希子	九州大学病院	12	
648				1		植木 隆	大山 康博	九州大学病院	12
649				2		岡部 安博	目井 孝典	九州大学病院	12
650				3		佐藤 優	九州大学病院	12	
651			39	乳腺専門医コース	1	久保 真	崎村(奈良) 絵津子	九州大学病院	12
652		第二外科	40	外科専門医コース	1	調 憲	胡 慶江	九州大学病院	12
653					2		倉光 絵梨奈	九州大学病院	12
654					3		宮崎 雄幸	九州大学病院	12
655					4		柿添 圭成	九州大学病院	12
656					5		上妻 由佳	九州大学病院	12
657					6		城後友望子	九州大学病院	12
658					7		藤本侑希子	九州大学病院	12
659	8				廣瀬 皓介		九州大学病院	12	
660	9				松原 太一		九州大学病院	12	
661	10				山下 勝		九州大学病院	12	
662	11				枝廣 圭太郎		九州大学病院	12	
663	12				是久 翔太郎		九州大学病院	12	
664	41		消化器外科専門医コース	1	沖 英次 調 憲	谷口 大介	九州大学病院	12	
665				2		堤 智崇	九州大学病院	12	
666				3		田尻 裕匡	九州大学病院	12	
667				4		賀茂 圭介	九州大学病院	12	
668				5		佐々木 駿	九州大学病院	12	
669				6		冨野 高広	九州大学病院	12	
670				7		倉光 正太郎	九州大学病院	12	
671				8		下川 雅弘	九州大学病院	12	
672				9		坂田 一仁	九州大学病院	12	
673				10		吉田 佳弘	九州大学病院	12	
674				11		堤 亮介	九州大学病院	12	
675				12		南原 翔	九州大学病院	12	
676	42	呼吸器外科専門医コース	1	岡本 龍郎	赤嶺 貴紀	九州大学病院	12		
678			2		高森 信吉	九州大学病院	12		
679			3		藤下 卓才	九州大学病院	12		
680			4		鈴木 雄三	九州大学病院	12		
681			5		高田 和樹	九州大学病院	12		
682	43	心臓血管外科専門医コース	1	松本 拓也	吉屋 圭史	九州大学病院	12		
683			2		吉賀 亮輔	九州大学病院	12		
684			3		井上 健太郎	九州大学病院	12		
685			4		松田 大介	九州大学病院	12		
686			5		青柳 幸彦	九州大学病院	12		
687			6		田中 慎一	九州大学病院	12		
688			7		松原 裕	九州大学病院	12		
689	44	外科専門医コース	1	原田 昇	泉 琢磨	九州大学病院	12		
690			2		井口 詔一	九州大学病院	12		
691			3		家守 智大	九州大学病院	12		
692			4		川副 徹郎	九州大学病院	12		
693			5		木下 郁彦	九州大学病院	12		
694	第二外科	44	外科専門医コース	6	原田 昇	中山 謙	九州大学病院	12	
695				7		野中謙太郎	九州大学病院	12	
696				8		春田 泰宏	九州大学病院	12	
697				9		藤本 禎明	九州大学病院	12	
698				10		松岡 弘也	九州大学病院	12	
699									

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)
700				11		湯川 恭平	九州大学病院	12
701				1	岡崎 賢	石川 貴晴	九州大学病院	12
702			2	齋藤 武恭		九州大学病院	12	
703			3	牛尾 哲郎		九州大学病院	12	
704			4	千住 隆博		九州大学病院	12	
705			5	原 正光		九州大学病院	12	
706			6	酒見 勇太		九州大学病院	12	
707			7	石原 新	松延 知哉	九州大学病院	12	
708			8	島田 英二郎		九州大学病院	12	
709			9	坂本 和也		九州大学病院	12	
710			10	太田 昌成		九州大学病院	12	
711			11	伊東 良広		九州大学病院	12	
712			12	桑原 正成		九州大学病院	12	
713			13	清水 大樹		九州大学病院	12	
714			14	李 容承		九州大学病院	12	
715			15	大野 瑛明		九州大学病院	12	
716			16	太田 浩二		九州大学病院	12	
717			17	北村 健二	松延 知哉	九州大学病院	12	
718			18	岩田 真一郎		九州大学病院	12	
719			19	入江 智子	本村 悟朗	九州大学病院	12	
720			20	島 勇一郎		九州大学病院	12	
721			21	荒武佑至		九州大学病院	12	
722			22	有間晋吉		九州大学病院	12	
723			23	内田泰輔		九州大学病院	12	
724			24	大迫浩平		九州大学病院	12	
725			25	甲斐一広		九州大学病院	12	
726			26	金堀将也		九州大学病院	12	
727			27	櫻井立太		九州大学病院	12	
728	整形外科	45	整形外科専門医コースA	28		松本 嘉寛	薄 陽祐	九州大学病院
729			29	多治見昂洋	九州大学病院		12	
730			30	清原 壮登	九州大学病院		12	
731			31	末次 弘征	九州大学病院		12	
732			32	吉本 憲生	九州大学病院		12	
733			33	久保 祐介	九州大学病院		12	
734			34	大石 秀和	九州大学病院		12	
735			35	倉真 市郎	九州大学病院		12	
736			36	井浦 広貴	九州大学病院		12	
737			37	小松 孝	九州大学病院		12	
738			38	櫻木 高秀	九州大学病院	12		
739			39	上原 慎平	九州大学病院	12		
740			40	安部 大輔	播広谷 勝三	九州大学病院	12	
741			41	岩本 美帆		九州大学病院	12	
742			42	木村 敦		九州大学病院	12	
743			43	中西 芳広		九州大学病院	12	
744			44	園田 和彦		九州大学病院	12	
745			45	村上 剛史		九州大学病院	12	
746			46	宇都宮 健	福士 純一	九州大学病院	12	
747			47	中川 剛		九州大学病院	12	
748			48	岡 和一朗		九州大学病院	12	
749			49	塩本 喬平		九州大学病院	12	
750			50	戸次 大史		九州大学病院	12	
751			51	小藪 直哉		九州大学病院	12	
752			52	大塚 洋	松延 知哉	九州大学病院	12	
753			53	河野 紘一郎		九州大学病院	12	
754			54	伊藤田 慶		九州大学病院	12	
755			55	畑中 敬之		九州大学病院	12	
756			1	黄島 賢		岡崎 賢	九州大学病院	12
757			2	中村 公隆			九州大学病院	12
758			3	池内 寛子	松延 知哉	九州大学病院	12	
759			4	遠矢 政和		九州大学病院	12	
760			5	吉武 孝次郎		九州大学病院	12	
761			6	春田 陽平		九州大学病院	12	
762			7	田中 宏毅		九州大学病院	12	
763			8	末田 麗真		九州大学病院	12	
764			9	渡辺 恵理		九州大学病院	12	
765			10	松口 俊央		九州大学病院	12	
766			11	原田 知		九州大学病院	12	
767			12	原田 哲誠		九州大学病院	12	
768			13	巢山 みどり		九州大学病院	12	
769			14	田丸 哲也		九州大学病院	12	
770			15	藤井 陽生		九州大学病院	12	
771			16	浜崎 彩恵		九州大学病院	12	
772			17	萩尾 聡		九州大学病院	12	
773			18	畑 和宏		九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1 研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
774	整形外科	46	整形外科専門医コースB	19	松本 嘉寛	廣瀬 毅	九州大学病院	12
775				20		中川 亮	九州大学病院	12
776				21		富田 哲也	九州大学病院	12
777				22		松下 優	九州大学病院	12
778				23		溝口 孝	九州大学病院	12
779				24		矢野 良平	九州大学病院	12
780				25		八尋 健一郎	九州大学病院	12
781				26		伊東 孝浩	九州大学病院	12
782				27		馬場 覚	九州大学病院	12
783				28		吉本 昌人	九州大学病院	12
784				29	原口 明久	九州大学病院	12	
785				30	石橋 正二郎	九州大学病院	12	
786				31	馬場 省次	九州大学病院	12	
787				32	口石 倫太郎	九州大学病院	12	
788				33	吉崎 真吾	九州大学病院	12	
789				34	新井 貴之	九州大学病院	12	
790				35	小宮山 敬祐	九州大学病院	12	
791				36	居石 卓也	九州大学病院	12	
792				37	田所耕平	九州大学病院	12	
793				38	田邊 剛	九州大学病院	12	
794				39	中山恵介	九州大学病院	12	
795				40	藤井勇輝	九州大学病院	12	
796				41	堀田忠裕	九州大学病院	12	
797				42	真島 久	九州大学病院	12	
798				43	馬渡大介	九州大学病院	12	
799				44	美山和毅	九州大学病院	12	
800				45	山本典子	九州大学病院	12	
801				46	李 碩遠	九州大学病院	12	
802				47	入江 桃	九州大学病院	12	
803				48	江崎 克樹	九州大学病院	12	
804				49	大山 龍之介	九州大学病院	12	
805				50	柴原 啓吾	九州大学病院	12	
806				51	杉 修造	九州大学病院	12	
807				52	副島 悠	九州大学病院	12	
808	53	大角 崇史	九州大学病院	12				
809	54	高橋 宗志	九州大学病院	12				
810	55	筒井 知明	九州大学病院	12				
811	56	中村 良	九州大学病院	12				
812	57	緒方 亜紀	九州大学病院	12				
813	58	日高 太陽	九州大学病院	12				
814	59	福島 麻介	九州大学病院	12				
815	60	前田 向陽	九州大学病院	12				
816	61	前田 稔弘	九州大学病院	12				
817	62	松尾 拓	九州大学病院	12				
818	整形外科	46	整形外科専門医コースB	63	岡田 貴充	山下 実砂	九州大学病院	12
819				64		吉野 宗一郎	九州大学病院	12
820	脳神経外科	47	臨床コース	1	天野 敏之	白水 寛理	九州大学病院	12
821				2		小柳 侑也	九州大学病院	12
822				3		前原 直喜	九州大学病院	12
823				4		尾辻 亮介	九州大学病院	12
824				5		岩城 克馬	九州大学病院	12
825				6	秋山 智明	九州大学病院	12	
826				7	川野 陽祐	九州大学病院	12	
827				8	高原 健太	九州大学病院	12	
828				9	三木 健嗣	九州大学病院	12	
829				10	山上 敬太郎	九州大学病院	12	
830				11	野口直樹	九州大学病院	12	
831				12	横溝明史	九州大学病院	12	
832				13	辛島 聡志	九州大学病院	12	
833	心臓血管外科	48	心臓血管外科専門医コース	1	園田 拓道	米倉 隆介	九州大学病院	12
834				2		小野 友行	九州大学病院	12
835				3	西田 誉浩	元松 祐馬	九州大学病院	12
836				4		松山 翔	九州大学病院	12
837				5	田ノ上 禎久	森重 翔二	九州大学病院	12
838				6		松永 章吾	九州大学病院	12
839				7		山下 慶之	九州大学病院	12
840				8		原田 雄章	九州大学病院	12
841				9	平山 和人	九州大学病院	12	
842				10	帯刀 英樹	藤本 智子	九州大学病院	12
843				11	大石 恭久	内山 光	九州大学病院	12
844				12		鳥谷 亮平	九州大学病院	12
845				13		仁田 翔大	九州大学病院	12
846				14		浮池 宣史	九州大学病院	12
847				15		宮城 ちひろ	九州大学病院	12
848				16	佐野 由佳	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)	
849				17	帯刀 英樹	西島 卓矢	九州大学病院	12	
850				18		松田 健作	九州大学病院	12	
851				19		瀧尾 博	九州大学病院	12	
852	小児外科	49	一般小児外科重点コース(1)(2)	1	木下 義晶	前田 翔平	九州大学病院	12	
853				2		吉丸 耕一朗	九州大学病院	12	
854				3		大森 淳子	九州大学病院	12	
855				4		佐々木 理人	九州大学病院	12	
856				5		河野 雄紀	九州大学病院	12	
857				6		稲富 香織	九州大学病院	12	
858				7		河野 淳	九州大学病院	12	
859				8	梶原 啓資	九州大学病院	12		
860				9	池田 祐子	九州大学病院	12		
861				10	宗崎 良太	九州大学病院	12		
862				11	松浦 俊治	石本 健太	九州大学病院	12	
863				12		近藤 琢也	九州大学病院	12	
864				13		岡村 かおり	九州大学病院	12	
865				14		石井 生	九州大学病院	12	
866				15	岩中 剛	九州大学病院	12		
867				16	小幡 聡	九州大学病院	12		
868				17	伊崎 智子	井上 貴之	九州大学病院	12	
869	小児外科	50	小児腫瘍外科重点コース	1	宗崎 良太	増田 吉朗	九州大学病院	12	
870				2		古澤 敬子	九州大学病院	12	
871				3		三島 泰彦	九州大学病院	12	
872				4	福原 雅弘	九州大学病院	12		
873				5	松浦 俊治	波井 勇一	九州大学病院	12	
874				6	木下 義晶	川久保 尚徳	九州大学病院	12	
875				7	伊崎 智子	船津 康孝	九州大学病院	12	
876	小児外科	51	新生児外科重点コース(1)(2)	1	永田 公二	栗山 直剛	九州大学病院	12	
877				2		谷口 直之	九州大学病院	12	
878				3		白井 剛	九州大学病院	12	
879				4		鳥井ヶ原 幸博	九州大学病院	12	
880	小児外科	51	新生児外科重点コース(1)(2)	5	永田 公二	古野 涉	九州大学病院	12	
881				6		城田 ふみ	九州大学病院	12	
882				7	木下 義晶	高橋 良彰	九州大学病院	12	
883				8		武本 淳吉	九州大学病院	12	
884				9		伊崎 智子	中村 睦	九州大学病院	12
885	皮膚科	52	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	1	伊藤絵里子	加来 裕美子	九州大学病院	12	
886				2		前川 裕子	九州大学病院	12	
887				3		森岡 友佳	九州大学病院	12	
888				4	中原 剛士	北川 徳子	九州大学病院	12	
889				5	中原 真希子	前田 彩未	九州大学病院	12	
890				6	佐藤友紀	九州大学病院	12		
891		皮膚科	53	皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	1	伊藤絵里子	清松 真理	九州大学病院	12
892					2		増田 亜希子	九州大学病院	12
893					3		都留 寛子	九州大学病院	12
894					4	三苦 千景	和田 麻衣子	九州大学病院	12
895					5		安河内 由美	九州大学病院	12
896					6	中原 剛士	陣内 駿一	九州大学病院	12
897	7				中川 理恵子		九州大学病院	12	
898	8				井手 豪俊		九州大学病院	12	
899	9				中原 真希子	一木 稔生	九州大学病院	12	
900	10					中尾亜紗子	九州大学病院	12	
901	11				内 博史	和田 尚子	九州大学病院	12	
902	12					前村 絃美	九州大学病院	12	
903	皮膚科	54	皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	1	中原 剛士	隈 有希	九州大学病院	12	
904				2	内 博史	坂本 佳子	九州大学病院	12	
905	皮膚科	55	皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	1	伊藤絵里子	松田 知与	九州大学病院	12	
906				2		三苦 千景	九州大学病院	12	
907				3	中原 剛士	永江 航之助	九州大学病院	12	
908				4	中原 真希子	岡部 倫子	九州大学病院	12	
909				5	内 博史	大塚 晶子	九州大学病院	12	
910	皮膚科	56	皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	1	三苦 千景	陣内 奈緒美	九州大学病院	12	
911				2		宇佐川 祐子	九州大学病院	12	
912				3	中原 剛士	村井 美華	九州大学病院	12	
913				4	中原 真希子	堤 碧	九州大学病院	12	
914				5	内 博史	竹井 賢二郎	九州大学病院	12	
915				6		西尾紀一郎	九州大学病院	12	
916	皮膚科	57	皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	1	三苦 千景	大野 文嵩	九州大学病院	12	
917				2		前原 恵理子	九州大学病院	12	
918				3	中原 剛士	岩崎 菜保子	九州大学病院	12	
919				4	内 博史	稲富 裕祐	九州大学病院	12	
920				5	中原 真希子	江藤 綾桂	九州大学病院	12	
921				1	中原 剛士	中尾 匡孝	九州大学病院	12	
922	2	池田 真希	九州大学病院	12					

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コースNo	コース名	受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)			
923	皮膚科	58	皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	3	伊藤絵里子	見明 彰	九州大学病院	12			
924				4		村田 真帆	九州大学病院	12			
925				5	中原 真希子	武 信肇	九州大学病院	12			
926				6		木村 七絵	九州大学病院	12			
927				7	内 博史	中家 理紗	九州大学病院	12			
928				8		康 渚	九州大学病院	12			
929				9	中原 剛士	永田 晶子	九州大学病院	12			
930				泌尿器科	64	泌尿器科研究医師育成コース	1	清島 圭二郎	池之上 俊	九州大学病院	12
931							2	清島 圭二郎	種子島 時祥	九州大学病院	12
932	3	猪口 淳一	山田 茂智				九州大学病院	12			
933	4	武内 在雄	早川 祐輔				九州大学病院	12			
934	5	立神 勝則	魚住 友治				九州大学病院	12			
935	6	塩田 真己	伊藤 大輔				九州大学病院	12			
936	7	武内 在雄	川越 健太郎				九州大学病院	12			
937	8	出嶋 卓	家入 康輔				九州大学病院	12			
938	9	波止 亮	井上 智博				九州大学病院	12			
939	65	泌尿器科臨床研究医師育成コース	1		清島 圭二郎	平井 良樹	九州大学病院	12			
940			2		猪口 淳一	塚原 茂大	九州大学病院	12			
941			3		立神 勝則	上田 翔平	九州大学病院	12			
942	泌尿器科	65	泌尿器科臨床研究医師育成コース		4	武内 在雄	村田 由貴子	九州大学病院	12		
943					5	塩田 真己	平 純一	九州大学病院	12		
944					6	武内 在雄	高松 大	九州大学病院	12		
945				7	立神 勝則	井上 裕之	九州大学病院	12			
946				8	猪口 淳一	岡田 達憲	九州大学病院	12			
947				9	出嶋 卓	岡部 彩美	九州大学病院	12			
948				66	臨床指導医育成コース	1	塩田 真己	濱口 瞳	九州大学病院	12	
949						2	猪口 淳一	佐藤 暢晃	九州大学病院	12	
950						3	立神 勝則	牟田口 淳	九州大学病院	12	
951		4	清島 圭二郎			永川 祥平	九州大学病院	12			
952		5	出嶋 卓			辻田 次郎	九州大学病院	12			
953		6	波止 亮			永富 裕子	九州大学病院	12			
954		7	武内 在雄	白石 航一	九州大学病院	12					
955		8	塩田 真己	中村 友哉	九州大学病院	12					
956		9	立神 勝則	林 純平	九州大学病院	12					
957	10	出嶋 卓	元 貴彦	九州大学病院	12						
958	精神科神経科	67	日本精神神経学会専門医取得コース	1	宮崎 恭輔	神保 慎	九州大学病院	12			
959				2		藤永 友佳子	九州大学病院	12			
960				3		阿部 公信	九州大学病院	12			
961				4	橋本 喜次郎	藤本 昌大	九州大学病院	12			
962				5		加藤 研太	九州大学病院	12			
963				6		今村 真帆	九州大学病院	12			
964				7	大國 博	九州大学病院	12				
965				8	山川 修史	九州大学病院	12				
966				9	光安 博志	小山 礼三朗	九州大学病院	12			
967				10		高橋 潤一	九州大学病院	12			
968				11		畑部 暢三	九州大学病院	12			
969				12	山内 佑允	九州大学病院	12				
970				13	中西 翔一郎	九州大学病院	12				
971				14	清水 博行	九州大学病院	12				
972				15	実松 寛晋	賀 香織	九州大学病院	12			
973				16		品川 誠	九州大学病院	12			
974				17		久保田 敬典	九州大学病院	12			
975				18	藤内 温美	九州大学病院	12				
976				19	モーリー 美穂子	九州大学病院	12				
977				20	安達 利昭	九州大学病院	12				
978				21	吉永 美央	九州大学病院	12				
979				22	牧 篤	九州大学病院	12				
980				23	石川 謙介	高井 善史	九州大学病院	12			
981						24	米倉 由貴	九州大学病院	12		
982						25	倉光 正幸	九州大学病院	12		
983						26	松尾 敬太郎	九州大学病院	12		
984						27	阪口 喜寛	九州大学病院	12		
985						28	坂元 亮太	九州大学病院	12		
986						29	中島 康裕	松尾 武	九州大学病院	12	
987				30	比嘉 逸人	九州大学病院		12			
988				31	生嶋 孝太郎	九州大学病院	12				
989				32	黒田 諭	九州大学病院	12				
990				33	二宮 英彰	武田 直也	九州大学病院	12			
991				34		安東 圭皓	九州大学病院	12			
992				35		良永 明博	九州大学病院	12			
993				36	平野 羊嗣	古賀 勝治	九州大学病院	12			
994				37		廣瀬 武尊	九州大学病院	12			
995				38		香月 大輔	九州大学病院	12			
996				39	宇佐美 貴士	九州大学病院	12				

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間(月)	
997				40	本村 啓介	和佐野 聡一郎	九州大学病院	12	
998				41		桑野 信貴	九州大学病院	12	
999				42		山根 謙一	九州大学病院	12	
1000				43		北島 和俊	九州大学病院	12	
1001				44		三原 茜	九州大学病院	12	
1002				45		竹田 章吾	九州大学病院	12	
1003				46		辻 真里子	九州大学病院	12	
1004				47		本村 啓介	藤部 真亮	九州大学病院	12
1005				48	中澤 太郎		九州大学病院	12	
1006				49	平井 奈未子		九州大学病院	12	
1007				50	真武 徳至		九州大学病院	12	
1008				51	松島 敏夫		九州大学病院	12	
1009				52	北島 耕作		九州大学病院	12	
1010				53	呉 祥子		九州大学病院	12	
1011				54	村山 桂太郎		谷口 達哉	九州大学病院	12
1012				55			土屋 達郎	九州大学病院	12
1013				56			前田 世絵良	九州大学病院	12
1014				57		溝部 太郎	九州大学病院	12	
1015				58	平野 羊嗣	三根 政弘	九州大学病院	12	
1016				59		村上 智哉	九州大学病院	12	
1017				60		望月 悠里	九州大学病院	12	
1018				1		池田 康博	沖田 絢子	九州大学病院	12
1019				2	海津 嘉弘		九州大学病院	12	
1020				3	瀧 瑠美子		九州大学病院	12	
1021				4	船津 淳		九州大学病院	12	
1022				5	藤井 裕也		九州大学病院	12	
1023				6	井上 瑠美		九州大学病院	12	
1024				7	古賀 聖子		九州大学病院	12	
1025				8	向坂 親蔵		九州大学病院	12	
1026				1	久富智朗	荒木 美穂	九州大学病院	12	
1027				2		芳賀 聡	九州大学病院	12	
1028				3		西村 太吾	九州大学病院	12	
1029				4		森 賢一郎	九州大学病院	12	
1030				5	吉田 茂生	左野 裕介	九州大学病院	12	
1031				1		久保 夕樹	九州大学病院	12	
1032				2		福本 嘉一	九州大学病院	12	
1033				3		小柳 俊人	九州大学病院	12	
1034				4		石津 正崇	九州大学病院	12	
1035				5		岡本 美里	九州大学病院	12	
1036				6		上野山 紗季	九州大学病院	12	
1037				7		下川 翔太郎	九州大学病院	12	
1038				8	大島 裕司	森 雄二郎	九州大学病院	12	
1039				1		立花 崇	九州大学病院	12	
1040				2		和田 伊織	九州大学病院	12	
1041				3		熊野 誠也	九州大学病院	12	
1042				4		徳永 瑛子	九州大学病院	12	
1043				5		山名 智志	九州大学病院	12	
1044				6	三股 政英	九州大学病院	12		
1045				1	橋本 和樹	西山 和郎	九州大学病院	12	
1046				2	松本 希	友延 恵理	九州大学病院	12	
1047				3		宮本 雄介	九州大学病院	12	
1048				4	上蘭 健一	齋藤 雄一	九州大学病院	12	
1049				5	中島 寅彦	丸田 弾	九州大学病院	12	
1050				6		安倍 大輔	九州大学病院	12	
1051				7	白土 秀樹	黒木 世里夏	九州大学病院	12	
1052				8		原 奈津貴	九州大学病院	12	
1053				9	野田 哲平	嶋本 涼	九州大学病院	12	
1054				10		宮崎 梨那	九州大学病院	12	
1055				11		五島 透	九州大学病院	12	
1056				12		小池 健輔	九州大学病院	12	
1057				13	安松 隆治	脇園 貴裕	九州大学病院	12	
1058				14		篠原 あさの	九州大学病院	12	
1059				15		本郷 貴大	九州大学病院	12	
1060				16		李 厨學	九州大学病院	12	
1061				17		四宮 綾子	九州大学病院	12	
1062				18		鈴木 智陽	九州大学病院	12	
1063				19		福嶋 晴太	九州大学病院	12	
1004	精神科神経科	67	日本精神神経学会専門医取得コース	47		本村 啓介	藤部 真亮	九州大学病院	12
1005				48	中澤 太郎		九州大学病院	12	
1006				49	平井 奈未子		九州大学病院	12	
1007				50	真武 徳至		九州大学病院	12	
1008				51	松島 敏夫		九州大学病院	12	
1009				52	北島 耕作		九州大学病院	12	
1010				53	呉 祥子		九州大学病院	12	
1011				54	村山 桂太郎		谷口 達哉	九州大学病院	12
1012				55			土屋 達郎	九州大学病院	12
1013				56			前田 世絵良	九州大学病院	12
1014				57		溝部 太郎	九州大学病院	12	
1015				58	平野 羊嗣	三根 政弘	九州大学病院	12	
1016				59		村上 智哉	九州大学病院	12	
1017				60		望月 悠里	九州大学病院	12	
1018	1	池田 康博	沖田 絢子	九州大学病院		12			
1019	2		海津 嘉弘	九州大学病院	12				
1020	3		瀧 瑠美子	九州大学病院	12				
1021	4		船津 淳	九州大学病院	12				
1022	5		藤井 裕也	九州大学病院	12				
1023	6		井上 瑠美	九州大学病院	12				
1024	7		古賀 聖子	九州大学病院	12				
1025	8		向坂 親蔵	九州大学病院	12				
1026	1	久富智朗	荒木 美穂	九州大学病院	12				
1027	2		芳賀 聡	九州大学病院	12				
1028	3		西村 太吾	九州大学病院	12				
1029	4		森 賢一郎	九州大学病院	12				
1030	5	吉田 茂生	左野 裕介	九州大学病院	12				
1031	1		久保 夕樹	九州大学病院	12				
1032	2		福本 嘉一	九州大学病院	12				
1033	3		小柳 俊人	九州大学病院	12				
1034	4		石津 正崇	九州大学病院	12				
1035	5		岡本 美里	九州大学病院	12				
1036	6		上野山 紗季	九州大学病院	12				
1037	7		下川 翔太郎	九州大学病院	12				
1038	8	大島 裕司	森 雄二郎	九州大学病院	12				
1039	1		立花 崇	九州大学病院	12				
1040	2		和田 伊織	九州大学病院	12				
1041	3		熊野 誠也	九州大学病院	12				
1042	4		徳永 瑛子	九州大学病院	12				
1043	5		山名 智志	九州大学病院	12				
1044	6	三股 政英	九州大学病院	12					
1045	耳鼻咽喉・頭頸部外科	72	耳鼻咽喉科専門医コース	1	橋本 和樹	西山 和郎	九州大学病院	12	
1046				2	松本 希	友延 恵理	九州大学病院	12	
1047				3		宮本 雄介	九州大学病院	12	
1048				4	上蘭 健一	齋藤 雄一	九州大学病院	12	
1049				5	中島 寅彦	丸田 弾	九州大学病院	12	
1050				6		安倍 大輔	九州大学病院	12	
1051				7	白土 秀樹	黒木 世里夏	九州大学病院	12	
1052				8		原 奈津貴	九州大学病院	12	
1053				9	野田 哲平	嶋本 涼	九州大学病院	12	
1054				10		宮崎 梨那	九州大学病院	12	
1055				11		五島 透	九州大学病院	12	
1056				12		小池 健輔	九州大学病院	12	
1057				13	安松 隆治	脇園 貴裕	九州大学病院	12	
1058				14		篠原 あさの	九州大学病院	12	
1059				15		本郷 貴大	九州大学病院	12	
1060				16		李 厨學	九州大学病院	12	
1061				17		四宮 綾子	九州大学病院	12	
1062				18		鈴木 智陽	九州大学病院	12	
1063				19		福嶋 晴太	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)	
1064	耳鼻咽喉・頭頸部外科	72	耳鼻咽喉科専門医コース	20	松本 希	増田 智也	九州大学病院	12	
1065				21		樋口 陵太	九州大学病院	12	
1066				22		碓 絵馬	九州大学病院	12	
1067				23		土田 佐和	九州大学病院	12	
1068				24		久我 亮介	九州大学病院	12	
1069				25		高良 佳江	九州大学病院	12	
1070				26		松永 啓秀	九州大学病院	12	
1071		73	耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	27	松本 希	山本 陵太	九州大学病院	12	
1072				1		安井 徹郎	九州大学病院	12	
1073				2		内 龍太郎	九州大学病院	12	
1074				3		中島 寅彦	九州大学病院	12	
1075				4		佐藤 方宣	九州大学病院	12	
1076				5		田中 俊一郎	久保田 万理恵	九州大学病院	12
1077				6		佐藤 晋彰	九州大学病院	12	
1078	7	白土 秀樹	大森 裕文	九州大学病院	12				
1079	放射線科	74	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	1	阿部 光一郎	西嶋 利光	九州大学病院	12	
1080				2		松浦 由布子	九州大学病院	12	
1081				3		北島 慶子	九州大学病院	12	
1082				4		牛島 泰宏	陳 曠	九州大学病院	12
1083				5		松尾 芳雄	進 政太郎	九州大学病院	12
1084				6		神谷 武志	亀井 僚太郎	九州大学病院	12
1085				7		鶴丸 大介	進村 明子	九州大学病院	12
1086		75	放射線診断専門医養成コース	1	吉浦 敬	樋渡 昭雄	九州大学病院	12	
1087				2		亀井 俊佑	九州大学病院	12	
1088				3		森田 孝一郎	九州大学病院	12	
1089				4		佐藤 芳子	九州大学病院	12	
1090				5		金 會真	九州大学病院	12	
1091				6		大賀 才路	植田 稔	九州大学病院	12
1092				7		梅尾 理	保利 治子	九州大学病院	12
1093	76	放射線治療専門医養成コース	8	吉武 忠正	前原 純樹	九州大学病院	12		
1094			9		馬場 眞吾	内藤 亜祐子	九州大学病院	12	
1095			1		樋渡 昭雄	染原 有紀子	九州大学病院	12	
1096			2		塩山 善之	石松 慶祐	九州大学病院	12	
1097			3		牛島 泰宏	中島 孝彰	九州大学病院	12	
1098			4		古森 正宏	高津 憲之	九州大学病院	12	
1099			5		佐々木 智成	吉川 真由美	九州大学病院	12	
1100	放射線科	77	放射線治療専門医ならびに学位取得コース	6	山下 孝二	三田村(原野) 知佳	九州大学病院	12	
1101				7		神谷 武志	山之内 寅彦	九州大学病院	12
1102				8		大賀 才路	上原 隆治	九州大学病院	12
1103				9		梅尾 理	久野 修	九州大学病院	12
1104				1		石神康生	中島 裕子	九州大学病院	12
1105				2			中武 裕	九州大学病院	12
1106				3			中村 由香里	九州大学病院	12
1107		4	塩山 善之	桃坂 大地	九州大学病院		12		
1108		5	牛島 泰宏	村山 僚	九州大学病院		12		
1109		6	古森 正宏	眞鍋 裕介	九州大学病院		12		
1110		7	田原 圭一郎	九州大学病院	12				
1111		77	放射線治療専門医ならびに学位取得コース	8	佐々木 智成	前村 大將	九州大学病院	12	
1112				9		久良木 悠介	九州大学病院	12	
1113				10		山下 孝二	日野 卓也	九州大学病院	12
1114	11			神谷 武志		和田 憲明	九州大学病院	12	
1115	12					高木 正統	九州大学病院	12	
1116	13					小田原 裕子	九州大学病院	12	
1117	14					要 博子	九州大学病院	12	
1118	15	西江 昭弘	井本 圭祐		九州大学病院	12			
1119	16	浅山 良樹	木下 知美		九州大学病院	12			
1120	17	大賀 才路	平田 秀成		九州大学病院	12			
1121	18		高尾 誠一朗	九州大学病院	12				
1122	19		魚住 真弓	九州大学病院	12				
1123	20		高橋 浩平	九州大学病院	12				
1124	21		筒井 聡一郎	九州大学病院	12				
1125	22		中村 和正	脇山 浩明	九州大学病院	12			
1126	放射線科		77	放射線治療専門医ならびに学位取得コース	23	梅尾 理	米 佑里子	九州大学病院	12
1127		24			樋渡 昭雄	本村 有史	九州大学病院	12	
1128		25			牛島 泰宏	池 俊浩	九州大学病院	12	
1129		26			神谷 武志	糸山 昌宏	九州大学病院	12	
1130		27			梅尾 理	笠井 尚史	九州大学病院	12	
1131		28			鶴丸 大介	菊池 嘉朋	九州大学病院	12	
1132		29			吉武 忠正	野村 大輔	九州大学病院	12	
1133	総合診療科	78	病院総合診療医重点コース	30	磯田 拓郎	渡部 浩史	九州大学病院	12	
1134				1		村田 昌之	小森 彩佳	九州大学病院	12
1135				2		村田 昌之	太田 梓	九州大学病院	12
1136		79	病院総合診療医・臨床研究コース	3	小川 栄一	山崎 奨	九州大学病院	12	
1137	1			村田 昌之		上山 貴嗣	九州大学病院	12	
			病院総合診療医・大学院進学	1		田中 祐樹	九州大学病院	12	

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人 数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
1138		80	心肺臓科臨床研修コース	2	村田昌之	加藤 禎史	九州大学病院	12
1139				3		松本 佑慈	九州大学病院	12
1140				1		杉山 沙織	九州大学病院	12
1141				2	早水 憲吾	進 歩	九州大学病院	12
1142				3		吉留 彩	九州大学病院	12
1143				4		田中 万里子	九州大学病院	12
1144				5	塩川 浩輝	三月田 麻理奈	九州大学病院	12
1145				6		田口 祥子	九州大学病院	12
1146				7		新原 妙子	九州大学病院	12
1147				8		信國 桂子	九州大学病院	12
1148				9	宮崎 良平	石橋 葵	九州大学病院	12
1149				10		富永 昌周	九州大学病院	12
1150				11		小野 雄介	九州大学病院	12
1151				12		福德 花菜	九州大学病院	12
1152				13		牛尾 春香	九州大学病院	12
1153				14	秋吉 浩三郎	新道 香菜子	九州大学病院	12
1154				15		森寄 晴喜	九州大学病院	12
1155				16		岩松 有希子	九州大学病院	12
1156				17		渡邊 雅嗣	九州大学病院	12
1157				18		坂井 寿里亜	九州大学病院	12
1158				19		中川 拓	九州大学病院	12
1159				20	神田橋 忠	荒木 健三	九州大学病院	12
1160				21		中山 昌子	九州大学病院	12
1161				22		竹内 愛美	九州大学病院	12
1162				23		田中 真理子	九州大学病院	12
1163	麻酔科蘇生科	81	麻酔科専門医養成コース	24		木村 めぐみ	九州大学病院	12
1164				25	辛島 裕士	添田 祐治	九州大学病院	12
1165				26		河野 裕美	九州大学病院	12
1166				27		佐々木 翔一	九州大学病院	12
1167				28		新井 千晶	九州大学病院	12
1168				29		中村 まぐ	九州大学病院	12
1169				30	瀬戸口 秀一	坂下 臣吾	九州大学病院	12
1170				31		溝口 麻衣	九州大学病院	12
1171				32		織田 寛子	九州大学病院	12
1172				33		平本 有美	九州大学病院	12
1173				34		杉部 清佳	九州大学病院	12
1174				35	東 みどり子	石橋 忠幸	九州大学病院	12
1175				36		池田 麻美	九州大学病院	12
1176				37		河崎 翔	九州大学病院	12
1177				38		谷口 奈美	九州大学病院	12
1178				39	藤吉 哲宏	河嶋 真澄	九州大学病院	12
1179				40		春田 伶子	九州大学病院	12
1180				41		倉本 玲子	九州大学病院	12
1181				42		倉本 純子	九州大学病院	12
1182				43		松原 幸恵	九州大学病院	12
1183				44		浅田 雅子	九州大学病院	12
1184				45	白水 和宏	福留 拓哉	九州大学病院	12
1185				46		三浦 亜紀子	九州大学病院	12
1186				47		鳥井ヶ原 千明	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

様式第4-1研修の内容 別紙

No	診療科(部)名	コース No	コース名	コース 受講人 数	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)	
1187	麻酔科蘇生科	81	麻酔科専門医養成コース	48	本山 嘉正	田邊 光和子	九州大学病院	12	
1188				49		藤本 侑里	九州大学病院	12	
1189				50		夏目 弓子	九州大学病院	12	
1190				51		梶山 恵充	九州大学病院	12	
1191				52		松下克之	安藤 太一	九州大学病院	12
1192				53		住江 誠	川副 明生	九州大学病院	12
1193				54		藤吉 哲宏	久保田 諒	九州大学病院	12
1194				55		白水 和宏	高橋 慶多	九州大学病院	12
1195				56		宮崎 良平	中野 良太	九州大学病院	12
1196				57		本山 嘉正	吉村 美穂	九州大学病院	12
1197				58		塩川 浩輝	大岩 真由子	九州大学病院	12
1198	病理診断科・病理部	82	臨床コース	1	平橋 美奈子	木下 伊寿美	九州大学病院	12	
1199				2		熊谷 玲子	九州大学病院	12	
1200				3		佛淵 由佳	九州大学病院	12	
1201				4		孝橋 賢一	畑中 優衣	九州大学病院	12
1202				5		立石 悠基	九州大学病院	12	
1203				6		山元 英崇	新垣 克実	九州大学病院	12
1204				7		古賀 裕	山元 範昭	九州大学病院	12
1205		83	大学院コース	1	山元 英崇	山田 裕一	九州大学病院	12	
1206				2		藤田 綾	九州大学病院	12	
1207				3		孝橋 賢一	岩崎 健	九州大学病院	12

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙「平成28年度看護職員教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：労務管理研修会 ・研修の期間・実施回数：期間は平成28年度、実施回数は1回 ・研修の参加人数：137名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容： ①九州大学病院がんセミナー、②がん化学療法病診薬連携セミナー ③福岡県院内がん登録研修会、④医師に対する緩和ケア研修会、 ⑤地域のためのがん化学療法チーム医療研修会、⑥がん専門相談員研修、 ⑦医療連携等に関する指導・助言 ・研修の期間・実施回数： ①5回、②1回、③3回、④2回、⑤1回、⑥1回、⑦1回 ・研修の参加人数： ①380名、②100名、③235名、④91名、⑤23人、⑥42人、⑦23人

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成28年度看護職員教育プログラム

クリニカルラダー・レベルI

到達目標：①日常生活援助の基本的知識、技術、態度を身に付け、安全・確実な看護ケアが実践できる。

②チームメンバーの一員として部署における役割と責任を果たすことができる。

③社会人としての常識的な行動がとれる

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象 (募集人数)	講師(敬省略)	期間	日程	場所
1	新採用者入職時合同研修	九州大学病院の診療に携わる新規採用職員として必要な知識を理解し、チーム医療の実践に活用する。	看護職員 119名	病院内各部門担当者	1日	4/1(金)	百年講堂 大ホール
2	看護部新採用者入職時研修	社会人としての基礎的知識・態度を養成し、九州大学病院・看護部の組織と役割を理解する。組織チームの一員であることとを理解する。	新採用者 (新卒・既卒) 106名	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日	4/4(月)～ 4/6(水)	臨床大講堂
3	看護実践研修1 (手指衛生/PPE着脱、接 遇、電算研修その他)	基本的看護技術を身に付け、看護ケアを安全・正確に実施できる能力を養う。	新採用者 (新卒・既卒) 106名	看護師長・副看護師長 認定看護師 院内認定看護師 看護部各委員会・各WG	2日	4/7(木) 4/8(金)	臨床大講堂 スイトルーニツグ 2F
4	1ヵ月フォローアップ研修 看護実践研修2 (口腔ケア、心肺蘇生 法、スキンケア、感染防止 の技術、安全確保の技術 等)	働き始めて感じていたことをGWで話し合い情報共有することとでストレス対処法を学ぶ。 看護実践において必要な看護技術を身に付け、安全・正確にできる能力を養う。	新採用者 (新卒・既 卒) 106名	歯科医師 歯科衛生士 看護師長 副看護師長 救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 各領域院内認定看護師	2日	5/12(木) 5/13(金)	百年講堂 中ホール1・2 スイトルーニツグ 2F
6	看護実践研修3 (口腔内・鼻腔内吸引、気 管吸引)	看護実践において必要な看護技術を身に付け、安全・正確にできる能力を養う。	新人看護職員 99名	集中ケア認定看護師 教育委員会 教育WG	3Gに 分けて 0.5日	6/8(水)～ 6/10(金)	スイトルーニツグ 2F
7	3ヵ月フォローアップ研修 コミュニケーション研修(状 況把握)	入職後3ヶ月の悩みや不安を話し合い、情報を共有しストレスに対応できる能力(ストレスマネジメント)を養い、職場における対人関係作りや対処法の系口をつかむ。	新人看護職員 99名	教育WG 教育担当	0.5日/ 4Gに 分けて 0.5日	6/23(木) 6/24(金)	百年講堂 中ホール1・2 スイトルーニツグ 2F
5	医療安全I	安全管理の基本的知識・技術を学び、実際の看護ケアに活かす。	新人看護職員 99名	医療安全担当 池田由美・泉 涼子 感染管理担当 安永幸枝・森日登美	4Gに 分けて 0.5日	7/29(金) 8/1(月)	外来棟5階 会議室2
8	看護実践研修4 (導尿、膀胱内留置カテー テル挿入・管理、経管栄養 法)	看護実践において必要な看護技術を身に付け、安全・正確にできる能力を養う。	新人看護職員 99名	感染管理認定看護師 安永幸枝・森日登美 摂食嚥下障害看護認定看護師 吉村久美子 院内認定看護師 (感染管理領域) 教育WG	4Gに 分けて 0.5日	7/20(火) ～7/22 (木)	スイトルーニツグ 2F

9	「重症度、医療・看護必要度」研修 看護実践研修5（静脈血採血）	看護実践において必要な看護技術を身につけ、安全・正確にできる能力を養う。	新人看護職員 99名	教育WG	4Gに分けて 0.5日	8/23（火） ～8/25（木）	スキルトレーニング ター
10	コミュニケーション研修 （多重課題・時間切迫）	多重課題・時間切迫の状況下で優先順位を考え、安全なケアを実践する能力を高める。	新人看護職員 99名	教育WG 教育担当	16Gに分けて2 hずつ	9/13（火） ～9/16（金）	スキルトレーニング ター
11	6カ月フォローアップ研修	入職後6ヶ月の悩みや不安をグループで話し合い共有し、今後の目標を考える。	新人看護職員 99名	九州大学基幹教育院 准教授 松下智子 講師 高柳茂美 副看護部長 教育担当	1日	10/5（水）	百年講堂 中ホール1・2
12	看護実践研修6 （CVC挿入介助・ドレッシング 交換等）	看護実践において必要な看護技術を身につけ、安全・正確にできる能力を養う。	新人看護職員 99名	感染管理認定看護師 院内認定看護師 （感染管理領域） 教育WG	4Gに分けて 0.5日	11/18（金） 11/21（月） 11/22（火）	スキルトレーニング ター
13	フィジカルアセスメント3 （意識レベルの確認）	フィジカルアセスメントにおける意識レベルの確認および観察のポイントを学び、部署で実践できる。	新人看護職員 99名	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師	4Gに分けて 0.5日	1/11（水） 1/12（木）	スキルトレーニング ター
14	急変時の看護	患者急変時の看護職員の役割を学ぶ。	新人看護職員 99名	救急看護認定看護師 院内認定看護師 （救急看護領域・ 小児救急看護領域）	17Gに分けて 120分	2/8（水） ～2/10（金）	スキルトレーニング ター
15	静脈注射（講義）	静脈注射に必要な知識を習得し、安全で確実な実践能力を身につける。	新人看護職員 99名	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 副看護部長 教育委員会 静脈注射認定看護師育成WG	1日	2/24（金）	臨床大講堂
16	静脈注射（演習）	静脈注射に必要な知識を習得し、安全で確実な実践能力を身につける。	新人看護職員 99名	教育WG 静脈注射認定看護師育成WG 教育担当	17Gに分けて 0.5日	2/28（金） 3/1（月） 3/2（火）	スキルトレーニング ター
17	12カ月フォローアップ 研修	GWと全体討議により、1年経つての現状や問題点などを明確に次年度の目標を考える。また、後輩を受け入れる心構えを持つ。	新人看護職員 99名	九州大学基幹教育院 准教授 松下智子 講師 高柳茂美 教育担当副看護部長 教育担当	1日	3/15（水）	百年講堂 中ホール1・2

18	医療安全Ⅱ	日常業務において安全対策が適正に実施されているかを再確認する。	新卒2年目 121名	医療安全担当 池田由美・泉 涼子 感染担当 安永幸枝・森日登美	4Gに 分けて 0.5日	6/2 (木) 6/3 (金)	外来棟5階 会議室2
19	がん看護 (基礎編)	がんの疫学、病態生理、国のがん対策について理解する。がん治療の特徴、副作用・合併症対策に関する知識を修得し、実践に活用する。	新卒2年目 121名	がん看護専門看護師 認定看護師 (がん領域) 院内認定看護師	2Gに 分けて 0.5日	6/14 (火)	百年講堂 中ホール1・2
20	フィジカルアセスメント4 (呼吸)	呼吸器系フィジカルアセスメントに必要な基本的知識と技術を習得する。	新卒2年目 121名	集中ケア認定看護師 鳥羽好和 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	18Gに 分けて 0.5日	10/13 (木) 10/14 (金)	アクトホール 2F
21	事例検討Ⅰ (リフレクシオン研修)	自分の看護体験をまとめ、看護者としての自分を振り返ることがができる。	新卒2年目 121名	教育担当	2Gに 分けて 0.5日	1/23 (月)	百年講堂 中ホール1・2
22	他部署間研修	未経験、未修得の看護技術を習得する。	新卒2年目 121名	各部署看護師長・指導者	各1日 ～2日	10月～予定	各担当部署
23	24ヵ月フォローアップ 研修	コミュニケーション能力を高め、看護実践や後輩の指導に役立つ。	新卒2年目 121名	Office Human Bridget 代表 井手芳美	0.5日	12/14 (水)	百年講堂 中ホール1・2
24	人工呼吸器の実際	人工呼吸器の点検とアラーム対応に必要な基本的知識を習得する	新卒3年目 107名	集中ケア認定看護師 井上辰幸	120分	9/9 (金)	臨床大講堂
25	36ヵ月フォローアップ 研修	キャリアアセスメントについて学び、看護師として生き生き働く方法を考える	新卒3年目 107名	Office Human Bridget代表 井手芳美	0.5日	12/1 (木)	百年講堂 中ホール1・2

クリニックラダー・レベルⅡ

- 到達目標：①看護過程を踏まえた個別ケアが実践できる。
 ②院内研修の内容を現場に伝達でき、看護実践に活かせる
 ③研究チームの一員としてその一部を担うことができる。

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象 (募集人数)	講師(敬省略)	期間	日程	場所
1	スキンケア(実践編Ⅰ)	褥瘡のリスクアセスメントを理解し、予防ケアに応用する。褥瘡の病態評価や褥瘡治療のメカニズム、褥瘡の局所治療について理解する。	40名	皮膚・排泄ケア認定看護師 立花由紀子 院内認定看護師 (褥瘡ケア領域)	2Gに分けて 0.5日	5/27(金)	スキルトレーニング タ-
2	ストーマケア	ストーマケアに関する基礎的知識・技術を習得し、看護実践に活かす	40名	皮膚・排泄ケア認定看護師 宮崎敬子 院内認定看護師 (ストーマケア領域)	1日	7/28(木)	スキルトレーニング タ-
3	地域連携と退院支援	地域との連携や調整、退院支援の重要性について理解する。	40名	医療連携タ-	0.5日 (PM)	7/6(水)	外来棟5階 会議室2
4	糖尿病患者の理解とケア	糖尿病の分類・病態・治療・看護を理解し、患者の受容過程への支援について学ぶ。	40名	内分泌・糖尿病内科医師 慢性疾患看護専門看護師 桃坂真由美	1日	12/8(木)	外来棟5階 会議室2
5	事例検討Ⅱ	自分の看護を振り返り、看護のあり方および看護師の役割について学び、自分の看護観を表現することができる。	30名	教育担当	0.5日	11/15(火)	外来棟5階 会議室2
6	循環管理(実践編)	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する。	80名	集中ケア認定看護師 鳥羽好和	2Gに分けて 0.5日	10/24(月)	臨床大講堂
7	がん看護(実践編Ⅰ)	がんの緩和ケア、症状マネジメントに対する基礎知識を修得し、実践に活用する。	40名	がん看護専門看護師 認定看護師(がん領域) 院内認定看護師 (がん看護領域)	1日	8/12(金)	外来棟5階 会議室2
8	がん看護(実践編Ⅱ) (臨死期のケア・エンゼル ケア)	終末期の患者・家族の看護を理解する。	40名	がん看護専門看護師 認定看護師(がん領域) 院内認定看護師 (がん看護領域)	0.5日	9/7(木)	外来棟5階 会議室2
9	栄養管理	栄養管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する。	40名	NST委員会医師 NST委員会管理栄養士	1日	10/17(月)	総合研究棟 105セミナー 室
10	呼吸管理(実践編Ⅰ)	呼吸管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する。	40名	集中ケア認定看護師 鳥羽好和	0.5日	7/26(火)	臨床小講堂1
11	看護倫理	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理への理解を深める	40名	看護部倫理委員会 精神看護専門看護師 花田敦子	0.5日 AM	10/3(月)	外来棟5階 会議室2
12	呼吸管理(実践編Ⅱ)	人工呼吸器に必要な知識を理解し、看護実践に適用できる。	20名	集中ケア認定看護師 鳥羽好和 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	0.5日	11/22(水)	ICU カンファレンス ルーム

クリニカルリーダー・レベルⅢ

到達目標：①医療チームの中でリーダーシップが発揮できる

②後輩・学生に対し指導的に関わることができる。

③看護研究・研修を通して看護実践を深めることができる。

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象 (募集人数)	講師 (敬省略)	期間	日程	場所
1	スキニング (実践編Ⅱ)	褥瘡のリスクアセスメントを理解し、予防ケアに応用する。 褥瘡の病態評価や褥瘡治療のメカニズム、褥瘡の同所治療について理解する。	80名	皮膚・排泄ケア認定看護師 原田起代枝 院内認定看護師 (褥瘡ケア領域)	2Gに 分けて 0.5日	8/19 (金)	アクトユニオン ター
2	看護倫理	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める	40名	看護部倫理委員会 慢性疾患看護専門看護師 桃坂真由美	0.5日 PM	10/3(月)	外来棟5階 会議室2
3	事例検討Ⅲ	自分の看護を振り返り、看護のあり方および看護師の役割について考え、自分の看護観を深めることができる。 看護実践をひも解き、伝える力を高める。	40名	小児看護専門看護師 山本千晴 精神看護専門看護師 花田敦子	2Gに 分けて 0.5日	11/28 (月)	外来棟5階 会議室2
4	リーダーシップⅠ	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	40名	株式会社インソース 講師 岩波美香	1日	11/2 (水)	外来棟5階 会議室2
5	コーチング	部署内のコミュニケーションの円滑化を図り、後輩の指導・支援を効果的に実施できる能力を身につける。	60名	京都大学大学院 教授 任 和子 講師 内海桃絵 京都大学病院 内藤知佐子 九州大学大学院保健学部 教授 谷口初美	1日	1/17(水)	百年講堂 中ホール1.2

クリニカルリーダー・レベルⅣ

到達目標：①部署の方針に基づいた役割が発揮できる。

②専門看護師としての役割が発揮できる。

③学生・後輩の指導・教育ができる。

④管理および専門分野における研究を行い、臨床で応用することができる。

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象 (募集人数)	講師(敬省略)	期間	日程	場所
1	問題解決技法	自部署の現状把握、解決策の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う。	40名	千葉大学医学部付属病院 地域連携室 特任准教授 小林美由	1日	9/24(土)	外来棟5階 会議室2
2	リーダーシップⅡ	職場の目標達成に向けて、中堅看護師としての問題解決能力を身に付け自己の役割を遂行する。	40名	九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 山口裕幸	1日	11/4(金)	外来棟5階 会議室2

クリニカルリーダー・レベルⅠ～Ⅳ

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師(敬省略)	期間	日程	場所
1	看護部長講義	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える。	看護職員全員	濱田正美看護部長	60分	4/18(月) 4/20(水) 4/28(木)	臨床小講堂1
2	看護研究発表会	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る。	看護職員全員	教育WG	1日	11/5(土)	臨床大講堂
3	看護業務改善報告会	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の場とする	看護職員全員	業務委員会 業務WG	1日	2/4(土)	百年講堂 大ホール
4	静脈注射認定看護師育成 研修	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識を備え、安全で確実な実践能力を身につける。	2年以上の 看護師	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 副看護部長 教育委員会 静脈注射認定看護師育成WG 教育WG・教育担当	講義 (1日) 演習 (0.5 日)	講義 7/9(土) 演習 7/13(水) 筆記試験 7/25(月)	臨床小講堂2 入付トリーカ 外

院内認定看護師育成研修

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師 (敬省略)	期間	日程	場所
1	感染管理領域	専門分野において院内の看護指導者として、教育・指導がで きる	条件を満たした希望者 (4名)	感染管理認定看護師 安永幸枝 森日登美	60分～ 90分	4/23 (月) 5/23 (月) 6/27 (月) 7/25 (月) 8/22 (月) 9/26 (月) 10/21 (金) 11/14 (月) 12/19 (月) 1/20 (金) 2/17 (金) 3/3 (金) *4月はストーマケア領域のみ	スイトレニング ター
2	ストーマケア看護領域	専門分野において院内の看護指導者として、教育・指導がで きる	条件を満たした希望者 (7名)	皮膚・排泄ケア認定看護師 和田美香 原田起代枝 宮崎敬子 立花由起子他	60分～ 90分		スイトレニング ター
3	救急ケア領域	専門分野において院内の看護指導者として、教育・指導がで きる	条件を満たした希望者 (7名)	救急看護認定看護師 桑田睦子 石村徳彦	60分～ 90分		スイトレニング ター
4	糖尿病看護領域	専門分野において院内の看護指導者として、教育・指導がで きる	条件を満たした希望者 (2名)	慢性疾患看護専門看護師 桃坂真由美	60分～ 90分		スイトレニング ター
5	がん専門看護領域 (H28～29年度コース)	専門分野において院内の看護指導者として、教育・指導がで きる	条件を満たした希望者 (H28年度6名)	がん看護専門看護師 坂本節子 篠和ケア認定看護師 山川文子 摂食嚥下障害看護認定看護師 吉村久美子 社会福祉士・臨床心理士	60分～ 90分		スイトレニング ター

指導者研修

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師（敬省略）	期間	日程	場所
1	プリセプターシップ （平成28年度）	新人看護師が職場に適応できるように支援する能力を養う。	62名	教育担当	1日 1日 0.5日	6/21（火） 10/19（水） 2/21（火）	百年講堂 中ホール3
2	プリセプターシップ （平成29年度）	プリセプターシップの役割と機能を学び、プリセプターとしての能力を高める。	70名程度	教育担当	1日	H29年 3/7（火）	百年講堂 中ホール3
3	臨地実習指導者研修	看護教育における実習意義および実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう必要な知識を習得する。 自己の看護観の再構築と実習指導者像の形成を目指す	臨地実習を担当する看護師	大学院人間環境学研究院・医学部保健学科 他	各日 0.5日 9月は1日	5/24（火） 6/27（月） 8/10（水） 9/2（金） 12/12（月） 1/16（月）	外来棟5階 会議室2 総合研究棟 105
4	輸液ポンプ・リソフポンプ指導者（第5期） 70-トップ研修	各部署における指導者としての活動状況を振り返り、今後の活動が円滑に行えるための方法を再確認する。	平成27年度輸液ポンプ・リソフポンプ指導者育成研修受講者	医療機器操作強化WG	0.5日	6/17（金）	7Fホールニッパ

管理者研修

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師（敬省略）	期間	日程	場所
1	教育担当者研修	看護部の新人看護師の教育方針に基づき、各部署で実施する研修の企画、運営を行うための知識、技術、姿勢・態度を学ぶ。 各部署の実地指導者への助言および指導、新人看護師への指導、評価を行うための能力を養う。	教育担当副看護師長 44名	看護部長 副看護部長 その他	60分～ 180分	5/10（火） 6/14（火） 10/12（火） 12/13（火） 2/14（火）	外来棟5階 会議室2
2	看護師長・副看護師長研修	現在の医療環境を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題点を分析し、解決策の方向性を形成する	看護師長39名 副看護師長96名	東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 尾形裕也		1/30（月）	臨床大講堂
3	新任副看護師長研修	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する。	新任副看護師長	看護部長 副看護部長	2日	平成28年4月	外来棟5階 打合室1
4	新任看護師長研修 （H29年度）	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する。	新任看護師長	看護部長 副看護部長	2日	平成29年3月	外来棟5階 打合室1
5	労務管理研修		看護師長39名 副看護師長96名	松本副看護部長	60分	11/24（木）	臨床大講堂
6	中間管理者育成研修	看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす。	希望者（ラターレハルⅡを取得している者）	濱田看護部長 他	90分	別紙	別紙

専門看護研修

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師（敬省略）	期間	日程	場所
1	感染管理	感染管理の看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	ラダー3を指す看護師	感染管理認定看護師 安永幸枝 森日登美	90分	6/16 (木)	北棟2階 多目的室
2	皮膚排泄ケア看護 （創傷管理の基礎知識）	皮膚排泄ケアの看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	全ラダー対象	皮膚・排泄ケア認定看護師 和田美香	90分	1/10 (火)	臨床小講堂1
3	腹膜透析看護	腹膜透析看護の看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	ラダー3を指す看護師	腹膜透析看護認定看護師 吉田恵美	90分	10/28 (金)	北棟2階 多目的室
4	新生児集中ケア	新生児集中ケアの看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	ラダー3を指す看護	新生児集中ケア 印具亜純	90分	12/19 (月)	北棟2階 多目的室
5	がん性疼痛看護	がん性疼痛看護の看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	ラダー3を指す看護師	がん性疼痛看護認定看護師 土谷美智子	90分	7/14 (木)	臨床小講堂2
6	がん化学療法看護	がん化学療法看護領域において、看護実践の質の向上をめざす。	ラダー3を指す看護師	がん化学療法看護認定看護師 中村美和子	90分	10/3 (月)	臨床大講堂
7	摂食・嚥下障害看護	摂食・嚥下障害看護の基本を学び、看護実践に活かす （内容：メカニズム・院内システム・口腔ケア・疾患・訓練について）	全ラダー対象	摂食嚥下障害看護認定看護師 吉村久美子	90分	8/25 (木)	臨床小講堂2
8	救急看護 ①～③で1コース （同じ内容を2回実施）	救急看護の領域において、看護実践の質の向上をめざす。 ①RRSについて 目標：患者の正常・異常の判断ができ、必要に応じてRRSを要請できる ②BLSについて 目標：RRS要請後、酸素投与や救急カーットの準備ができる ③急変対応について 目標：病棟でよく起こりうる急変の予測・対応ができる	ラダー3を指す看護師 全ラダー対象	救急看護認定看護師 桑田睦子 石村徳彦	各60分	①5/23 (月) ②6/27 (月) ③7/25 (月) または ①8/22 (月) ②9/26 (月) ③10/21 (金) (①②③は継続して全て受講すること)	対面レニング 対面レニング

看護助手研修

NO	研修名	目的・目標・内容など	対象	講師（敬省略）	期間	日程	場所
1	看護助手研修	看護チームにおける看護助手の役割を理解し、日常業務について考えることができる。	看護助手	業務担当副看護部長 医療安全担当 感染管理担当 業務WG	90分 ～180分	5/25 (水) 7/27 (水) 12/14 (水) 2/16 (木)	対面レニング 対面レニング

平成28年度院内研修会参加人数実績

回	月	日時	研修名	対象者	受講者数
1	4月	1日(金)8:30~17:00	新採用者入職時合同研修	新採用者	119
2		4日(月)~6日(水)8:30~16:40	看護部新採用者入職時研修	新採用者(+中途採用者7名)	106
3		7日(木)~8日(金)8:30~17:00	看護実践研修1(手指衛生/PPE装着、接遇、安全確保の技術、輸液管理、フィジカルアセスメント、電算研修・看護記録)	新卒1年目看護職員(99名)	99
5		18日(月)17:30~18:30	看護部長講演会「平成28年度九州大学病院看護部の活動について」(第1回)	全看護職員	156
6		25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ス टीमケア領域)	育成対象看護職員	7
7		28日(木)17:30~18:30	看護部長講演会「平成28年度九州大学病院看護部の活動について」(第2回)	全看護職員	90
8		10日(火)13:00~16:00	教育担当者研修(第1回)	新任教育担当副看護師長	9
9	12日(木)17:30~18:30	看護部長講演会「平成28年度九州大学病院看護部の活動について」(第3回)	全看護職員	65	
10	5月	12日(木)8:30~16:30 13日(金)10:35~17:00	看護実践研修2(口腔ケア、心肺蘇生法、スキンケア、感染防止の技術、安全確保の技術等)	新卒1年目看護職員(99名) 既卒看護職員(7名)	106
11		13日(金)8:30~10:00	1ヶ月フォローアップ研修	新卒1年目看護職員(99名)	99
12		23日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
13		23日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
14		23日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ス टीमケア領域)	育成対象看護職員	7
15		23日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
16		23日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
17		23日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」1クール第1回目	全ラダー対象	29
18		24日(火)13:00~16:30	実習指導者研修(第1回)	新任実習指導者	46
19		25日(水)8:30~15:30	看護助手研修(第1回)	看護助手	64
20		27日(金)8:30~16:30(0.5日×2)	スキンケア(実践編Ⅰ)	ラダーⅡを目指す看護職員	70
21		2日(木)8:30~16:30(0.5日×2)	医療安全Ⅱ	新卒2年目看護職員	60
22		3日(金)8:30~16:30(0.5日×2)	医療安全Ⅱ	新卒2年目看護職員	58
23	8日(水)~10日(金)8:30~16:00 (演習0.5日×5)	フィジカルアセスメント2-1 看護実践研修3(口腔内、鼻腔内吸引、気管呼吸)	新卒1年目看護職員(99名) 医療技術部(3名)	102	
24	14日(火)13:00~14:00	教育担当者研修(第2回)	新任教育担当副看護師長	43	
25	14日(火)8:30~16:30	がん看護(基礎編)	新卒2年目看護職員	118	
26	16日(木)17:30~19:00	専門看護研修「感染管理」	ラダーⅢを目指す看護職員	14	
27	17日(金)13:00~16:30	第5期輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者フォローアップ研修	育成研修受講対象看護職員	36	
28	21日(火)8:30~16:30	プリセプター研修(第2回)	平成28年度プリセプター	62	
29	6月	23日(木)8:30~16:30 24日(金)8:30~12:00	シュミレーション研修(状況把握)	新卒1年目看護職員(99名)	97
30		24日(金)13:30~16:30	3ヶ月フォローアップ研修	新卒1年目看護職員(99名)	97
31		27日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
32		27日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
33		27日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ス टीमケア領域)	育成対象看護職員	7
34		27日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
35		27日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
36		27日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」1クール第2回目	全ラダー対象	29
37		27日(月)8:30~16:30	実習指導者研修(第2回)	新任実習指導者	46
38		28日(火)17:30~19:00	CPRインストラクターフォローアップ研修(第1回)	院内CPRインストラクター	6
39	7月	6日(水)13:00~16:00	地域連携と退院支援	ラダーⅡを目指す看護職員	31
40		6日(水)17:00~18:30	中間管理者育成研修(第1回)	育成対象看護職員	23
41		9日(土)9:00~17:00	静脈注射認定看護師育成研修(講義)	院内・院外施設看護職員	58
42		13日(水)8:30~12:00または 13:00~16:30	静脈注射認定看護師育成研修(実技演習)	院内・院外施設看護職員	19
43		14日(木)17:30~19:00	専門看護研修(がん性疼痛看護)	ラダーⅢを目指す看護職員	33
44	20日(水)8:30~15:15	看護実践研修4(経管栄養法)	新卒1年目看護職員	97	
45	21日(木)~22日(金)8:30~16:40	看護実践研修4(導尿、膀胱内留置カテーテル挿入・管理)	新卒1年目看護職員	99	
46	7月	25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
47		25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
48		25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ス टीमケア領域)	育成対象看護職員	7
49		25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
50		25日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
51		25日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」1クール第3回目	全ラダー対象	29
52		26日(火)13:00~16:30	呼吸管理(実践編Ⅰ)	ラダーⅡを目指す看護職員	39
53		26日(火)17:30~19:00	CPRインストラクターフォローアップ研修(第2回)	院内CPRインストラクター	6
54		27日(水)8:30~11:30 12:30~15:30	看護助手研修(第2回)	看護助手	75
55		28日(木)8:30~16:30	ス टीमケア	ラダーⅡを目指す看護職員	29
55	29日(金)8:30~16:30	医療安全Ⅰ	新卒1年目看護職員	97	

回	月	日時	研修名	対象者	受講者数
56	8月	1日(月)8:30~16:30	医療安全Ⅰ	新卒1年目看護職員	97
57		3日(水)9:00~17:00	外部新人看護職員研修	外部新人看護職員	11
		3日(水)17:00~18:00	中間管理者育成研修(第2回)	育成対象看護職員	23
58		4日(木)9:00~17:00	外部新人看護職員研修	外部新人看護職員	11
59		10日(水)13:00~16:30	実習指導者研修(第3回)	新任実習指導者	46
60		12日(金)8:30~16:30	がん看護(実践編Ⅰ)	ラダーⅡを目指す看護職員	50
		17日(水)17:00~18:30	中間管理者育成研修(第3回)	育成対象看護職員	23
61		19日(金)8:30~16:30	スキンケア(実践編Ⅲ)	ラダーⅢを目指す看護職員	63
62		22日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
63		22日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
64		22日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7
65		22日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
66	22日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7	
67	22日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」2クール第1回目	全ラダー対象	21	
68	23日(火)~24日(水)8:30~16:30 25日(木)8:30~12:00	重症度、医療・看護必要度 看護実践研修5(静脈血栓)	新卒1年目看護職員	98	
69	25日(木)17:30~18:30	専門看護研修「摂食嚥下障害看護」	全ラダー対象	12	
70	9月	2日(金)8:30~16:30	実習指導者研修(第4回、第5回)	新任実習指導者	45
71		7日(水)13:00~16:30	がん看護(実践編Ⅱ)	ラダーⅡを目指す看護職員	44
		7日(水)17:00~18:30	中間管理者育成研修(第4回)	育成対象看護職員	22
72		9日(金)13:00~15:00	人工呼吸器の実際	新卒3年目看護職員	119
73		24日(土)9:00~16:00	問題解決技法	ラダーⅣを目指す看護職員	37
74		26日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
75		26日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
76		26日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7
77		26日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
78		26日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
79		26日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」2クール第2回目	全ラダー対象	21
80		27日(火)9:00~17:00	外部新人看護職員研修	外部新人看護職員	11
81	10月	3日(月)8:30~12:00	看護倫理	ラダーⅡを目指す看護職員	20
82		3日(月)13:00~16:30	看護倫理	ラダーⅢを目指す看護職員	30
83		3日(月)17:30~19:00	専門看護研修「がん化学療法看護」	ラダーⅢを目指す看護職員	31
84		5日(水)13:00~16:30	6ヶ月フォローアップ研修	新卒1年目看護職員	97
		5日(水)17:00~18:30	中間管理者育成研修(第5回)	育成対象看護職員	23
85		7日(金)8:30~16:30	外部新人看護職員研修	外部新人看護職員	11
86		11日(火)13:00~14:00	教育担当者研修(第3回)	新任教育担当副看護師長	41
87		13日(木)~14日(金)8:20~16:45	フィジカルアセスメント4(呼吸)	新卒2年目看護職員	117
88		17日(月)13:00~16:30	栄養管理	ラダーⅡを目指す看護職員	39
89		19日(水)8:30~16:30	プリセプター研修(第3回)	平成28年度プリセプター	59
90		21日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
91		21日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
92	21日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7	
93	21日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2	
94	21日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7	
95	21日(金)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」2クール第3回目	ラダーⅢを目指す看護職員	21	
96	24日(月)8:30~16:30	循環管理(実践編)	ラダーⅡを目指す看護職員	62	
97	28日(金)17:30~19:00	専門看護研修「腹膜透析看護」	ラダーⅢを目指す看護職員	28	
98	11月	2日(水)9:00~16:30	リーダーシップⅠ	ラダーⅢを目指す看護職員	48
		2日(水)17:00~18:00	中間管理者育成研修(第6回)	育成対象看護職員	22
99		4日(金)8:30~16:30	リーダーシップⅡ	ラダーⅣを目指す看護職員	36
100		5日(土)9:00~12:00	院内看護研究発表会	全看護職員	141
101		14日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
102		14日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
103		14日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7
104		14日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
105		14日(月)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
106		14日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」3クール第1回目	全ラダー対象	21
107		15日(火)8:30~12:00	事例検討Ⅱ	ラダーⅡを目指す看護職員	22
108		18日(金)10:00~12:00	6ヶ月フォローアップ研修(ストレスマネジメント)	新卒1年目看護職員	98
109	18日(金)13:00~16:45 21日(月)~22日(火)8:30~15:30	看護実践研修6(CVC挿入介助、ドレッシング交換)	新卒1年目看護職員	99	
110	22日(火)10:00~13:30	呼吸管理(実践編Ⅱ)	ラダーⅡを目指す看護職員	19	
111	28日(月)8:30~16:30	事例検討Ⅲ	ラダーⅢを目指す看護職員	58	
112	28日(月)17:00~18:30	労務管理研修	看護師長、副看護師長 中間管理者育成研修受講者	137	
	29日(月)17:00~18:30	中間管理者育成研修(第7回)	育成対象看護職員	23	

回	月	日 時	研修名	対象者	受講者数
113		1日(木)8:30~16:30	36ヶ月フォローアップ研修	新卒3年目看護職員	119
114		12日(月)13:00~16:30	実習指導者研修(第6回)	新任実習指導者	46
115		13日(火)13:30~15:00	教育担当者研修(第4回)	新任教育担当副看護師長	44
116		14日(水)8:30~16:30	24ヶ月フォローアップ研修	新卒2年目看護職員	116
117		14日(水)8:30~15:30	看護助手研修	看護助手	64
118		14日(水)17:00~18:30	診療報酬と看護	看護師長、副看護師長 中間管理者育成研修受講者 ラダーⅣを目指す看護師	155
119	12月	15日(木)8:30~16:30	糖尿病患者の理解とケア	ラダーⅡを目指す看護職員	64
120		19日(月)13:00~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
121		19日(月)13:00~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
122		19日(月)13:00~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7
123		19日(月)13:00~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
124		19日(月)13:00~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
125		19日(月)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」3クール第2回目	ラダーⅢを目指す看護職員	20
126		19日(月)17:30~18:30	専門看護研修「新生児集中ケア看護」	ラダーⅢを目指す看護職員	23
127		10日(火)17:30~19:00	専門看護研修「皮膚・排泄ケア」	全ラダーの希望者	54
128		11日(水)(講義)8:30~9:30 (演習)①9:45~11:15 ②12:15~13:45 ③14:00~15:30 (①②③のいずれかに参加)	フィジカルアセスメント3(意識レベルの確認)	新卒1年目看護職員	98
		11日(水)17:00~18:00	中間管理者育成研修(第9回)	育成対象看護職員	22
129		16日(月)13:00~16:30	実習指導者研修(第7回)	新任実習指導者	46
130		17日(火)9:00~16:00	コーチング	ラダーⅢを目指す看護職員	85
131	1月	20日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
132		20日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
133		20日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)	育成対象看護職員	7
134		20日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
135		20日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
136		23日(月)8:30~16:30	事例検討Ⅰ(リフレクション)	新卒2年目看護職員	118
137		24日(火)17:30~18:30	専門看護研修「救急看護」3クール第3回目	ラダーⅢを目指す看護職員	21
138		30日(月)17:30~19:00	看護管理研修	看護師長、副看護師長 中間管理者を目指すリーダー看護 師	198
139		6日(月)13:00~16:00	第1期輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者更新研修	第1期輸液ポンプ・シリンジポン プ指導者	20
140		8日(水)または9日(木) (講義)8:30~9:30 (演習)9:45~16:30 (この時間内の110分)	急変時の看護	新卒1年目看護職員	97
141		16日(木)8:30~15:30	看護助手研修(第4回)	看護助手	59
142	2月	17日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)	育成対象看護職員	4
143		17日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)	育成対象看護職員	6
144		17日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)	育成対象看護職員	2
145		17日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)	育成対象看護職員	7
146		21日(火)8:30~12:00	プリセプター研修(第4回)	平成28年度プリセプター	60
147		28日(火)8:30~15:40	静脈注射認定看護師育成プログラム(講義)	九州大学病院における静脈注 射の実施範囲レベル2対象の看 護職員	104
148		1日(水)~2日(木)8:30~16:30	静脈注射認定看護師育成プログラム(演習)	九州大学病院における静脈注 射の実施範囲レベル2対象の看 護職員	98
149		3日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(感染管理領域)試験	育成対象看護職員	4
150		3日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(がん看護領域)試験	育成対象看護職員	6
151		3日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(ストーマケア領域)試験	育成対象看護職員	6
152	3月	3日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(糖尿病看護領域)試験	育成対象看護職員	2
153		3日(金)13:30~15:00	院内認定看護師育成研修(救急看護領域)試験	育成対象看護職員	7
154		8日(水)	静脈注射(筆記試験)	九州大学病院における静脈注 射の実施範囲レベル2対象の看 護職員	105
155		15日(水)8:30~16:30	12ヶ月フォローアップ研修	新卒1年目看護職員	96
156		17日(金)8:30~16:30	平成29年度プリセプター研修(第1回)	平成29年度プリセプター予定者	69
157		10月4日(木)~11月17日(木) 8:00~16:45(1.5日間)	他部署間研修(研修先:ICU/救命ICU)	新卒2年目看護職員 (ICU/救命ICU以外の部署所属)	92
158		10月3日(月)~2月23日(木) 8:00~16:45(1.5日間)	他部署間研修(研修先:手術部)	新卒2年目看護職員 (手術部以外の部署所属)	112
159		10月17日(月)~2月7日(火) 8:00~16:45(2日間)	他部署間研修(研修先:一般病棟)	新卒2年目看護職員 (ICU/救命ICU、手術部所属)	32
合計					7040

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 石橋達朗
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長 調卓二 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 大賀美喜 患者サービス課長 江上正次

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課
			<p>・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。</p> <p>・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。</p> <p>・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。</p>

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 島居剛志	
閲覧担当者氏名	総務課長 調 卓二	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】
九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。
ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】
開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】
法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】
○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円
○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】
法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>1) 「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価Ver. 6.0」の更新審査を平成24年10月に受審し平成25年2月1日付けで認定（認定期間～平成30年12月31日）</p> <p>2) 「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」（臨床検査室）の更新審査を平成25年11月に受審し平成26年3月26日付けで認定（認定期間～平成30年3月31日）</p> <p>3) 「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」（遺伝子・細胞療法部）の更新審査を平成26年10月に受審し平成27年4月30日付けで認定（認定期間～平成32年3月31日）</p> <p>4) 「一般財団法人日本医療教育財団」の「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の審査を平成29年2月に受審し平成29年3月15日付けで認定（認定期間～平成32年3月14日）</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>○病院のホームページ</p> <p>外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供</p> <p>○広報誌</p> <p>1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付）</p> <p>診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供</p> <p>2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付）</p>	

先進医療、臨床研究、医療連携、センター、トピックス等の情報を提供

3) 九大病院だより（患者向けに配布）

診療科・センターの診断・治療、外来診療日一覧、トピックス等の情報を提供

4) 診療科リーフレット（患者向けに配布）

病気の症状・治療法・検査内容等を診療科ごとに案内

○記者懇談会

九州大学記者クラブ（新聞社、テレビ局）に本院の情報を提供（新治療法、施設設置等）

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

○周術期支援センター

手術を受ける患者に、安全かつ円滑に手術前後の時期（周術期）を過ごしてもらうため、医師や看護師など他職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、周術期支援センターを開設している。

患者の全身状態は周術期の安全の維持に非常に大きな意味を持っていることから、周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握し、手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先するべきかどうか判断する。専任看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努める。また、周術期口腔ケアセンターと連携し、口腔ケアを確実にを行い、周術期感染症の減少にも努める。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぐ。

このように患者を中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線部、事務など様々な職種が密に連携をとり協力して患者支援を進める体制をとっている。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>1. 安全管理に関する基本的考え方</p> <p>人は誰でも間違いを起こす可能性がある。一方、九州大学病院は特定機能病院として「患者に満足され、医療人も満足できる」医療を安全に提供するとともに、その医療の透明性を確保することを、社会から求められている。そこで本院はこの基本指針に従って、間違いを誘発しない環境や、医療上の事故等を未然に防ぐことができるシステム、ならびに医療上の事故等が発生した場合に適切に対応できる体制の構築に取り組む。</p> <p>2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項</p> <p>医療安全管理委員会は病院長・医療安全管理責任者である副病院長のもと関連部署・職員と連携し、医療の安全管理に取り組む。本院は、医療安全管理のための指針を病院内掲示板等にて公開する。</p> <p>医療安全管理委員会で決定された方針に沿って、医療安全に係る管理を行う部門として医療安全管理部を置く。医療安全管理部は、専任の医師・看護師を配置し、職員の医療安全管理に関する知識の向上や指導を行い、「医療安全管理マニュアル」を作成し、医療安全に関する基本的事項を職員に周知する。</p> <p>3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>医療安全管理に関する研修会は、全職員を対象として年 2 回以上行うほか、必要に応じて随時開催し、医療安全管理に対する意識向上を図り、この内容について記録を残す。職員は、医療安全管理に関する教育や研修に年度内 2 回以上参加する。</p> <p>4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>医療安全管理委員会は職員からの医療事故等に係る報告等を分析し、対応策や改善策の検討を行い、結果を職員にフィードバックし、職員全体での共有を図る。</p>	

5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

医療上の事故等が発生した場合、職員は患者の救命、被害の最小化に全力を尽くし、総力を挙げて初期治療に当たり、医療上の最善の措置をすみやかに講じる。

職員は医療上の事故等が発生した場合には、各々の事例の影響度レベルに従って報告する。

6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針

職員は患者・家族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実かつすみやかに説明する。

7. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。

8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針

高難度新規医療技術を用いた医療を新たに提供する場合には、高度新規医療評価部で提供の適否等を決定し、医療の適正化を図る。

医療安全管理の推進のため、「医療安全管理のための指針」を定期的に見直し、周知徹底を行う。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 開催状況：年 1 2 回
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。
- (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。
- (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。
- (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。
- (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。

- (7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。
- (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
- (9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。
- (10) 医療事故調査制度に関すること。
- (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年131回

- ・ 研修の主な内容：別紙①、②参照
医療安全研修会、感染対策研修会、医薬品安全管理研修会、医療機器安全管理研修会
- 学内外の各専門家による研修会を開催（年間平均 1人当たり2.38回受講）している。以下、平成28年度に開催した研修の主な内容は別紙のとおり。
- ・ 医療に係る法令、指針等に関する研修
医療事故調査制度など
 - ・ 医療安全管理に関する研修
院内で発生した事例について、B型肝炎の再活性化対策について、歯科診療における誤飲・誤嚥対策、死亡事例報告について、5Sは医療安全の基本、輸血にまつわる素朴な疑問、
観血的検査・処置・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方法など
 - ・ 感染防止に関する研修
エピネット（針刺し・切創報告書）の年度集計報告、抗菌薬の適正使用、徐細動器の取り扱いについて、全職員が知っておきたいスタンダードプリコーション、インフルエンザ予防対策など
 - ・ 医療機器に関する研修
内視鏡機器の取扱い、除細動器の取扱いなど

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - インシデント情報の発信
日々報告のあるインシデント事例より特に警鐘を促すべき事例について毎月1回
ニュース（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している
 - リスクマネージャーを対象とした研修会の開催
 - 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
 - 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載
 - 再活性化B型肝炎予防策策定とシステム改修の検討

- PET-CT 検査前チェックリストの作成、改訂
- ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成、周知
- 報告すべき事例の例示
- インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成、周知
- 透視室救急カート、AED 配置状況改善

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 院内感染対策のための措置に関する審議 職員の教育・研修に関する審議 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施、職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年149回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：別紙③～⑥参照 開催した研修会（年間平均 1人当たり 2.22回 受講）の主な内容は次のとおり。 「ポケットマニュアルの説明会」 「院内感染対策上必要な届け出」 「アンチバイオグラムの活用」 「エピネット（針刺し・切創報告書）の年度集計報告」 「抗菌薬の適正使用について」 「海外旅行の際に注意すべき感染症」 「当院における B 型肝炎の再活性化対策について」「5 S は医療安全の基本」「感染性病原体の伝播予防の基本」 「全職員が知っておきたいスタンダードコンプライアンス(実践編)」 「感染経路別予防策」 「処置別感染防止と職業感染予防策」 <p>DVD貸出必須研修 (43回) DVD貸出選択研修 (62回) 出前研修 (5回) 集合必須研修・集合選択研修 (39回)</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">感染症法に基づく院内報告基準の改訂感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認経路別予防策の指導・教育手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認ベストプラクティスの作成、遵守状況確認	

- ・抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）
- ・交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止
- ・血液培養複数セット採取の推奨

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 2 回
<p>・ 研修の主な内容：別紙⑦参照 平成28年度は全体研修会を2回、採用者研修会を2回、職種別研修会を8回実施。 主な内容は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none">・ 抗菌薬の適正使用、医薬品の安全使用について・ 糖尿病注射治療薬・ 再活性化B型肝炎の発生予防に関する院内の新たな取り組み・ 薬剤部におけるリスクマネジメント、医薬品の管理と安全使用について・ 薬剤に関する基礎知識、麻薬管理について 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (<input checked="" type="radio"/>有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○ 医薬品の採用、購入管理、供給・使用管理 (適宜)○ 看護師、薬剤師による病棟および外来舘所配置注射薬の管理状況チェック (週1回)○ 薬剤師による病棟及び外来舘所配置薬剤全般の管理状況チェック (3ヶ月毎)○ 救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え○ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い (収集・提供) (適宜)	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/>有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○ 手順書の見直し○ 情報の院内通知 (ホームページ、電子メール、オーダシステム上) 特に重要な情報については、処方医に文書を送付○ 副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告○ 疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化○ 類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫○ 各診療科に対し未承認・適応外使用の状況調査実施	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年5回
<p>・研修の主な内容：別紙⑧参照</p> <p>平成28年度は全体研修会を5回、安全使用のための研修会を15回、導入時説明会を11回実施。</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none">・呼吸管理セミナー・除細動器取扱い研修会・内視鏡装置取り扱い研修会 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。</p> <p>(2) 日常点検(始業、使用中、終業)と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書により実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。</p> <p>(2) 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。</p> <p>(3) 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師) ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・ 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。</p> <p>医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長 (医薬品安全管理責任者)、医療機器安全管理専門委員会委員長 (医療機器安全管理責任者) も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。</p> <p>なお、平成 28 年 9 月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報、安全性速報、医薬品の適正使用に関して、ホームページ掲載や全職員宛 e メール送信のみでなく、該当診療科のリスクマネージャー宛に再度情報を e メール送信し、周知内容の確認並びに確認表の管理を依頼。その他の情報については必要に応じて対応。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>処方監査時に発生する疑義照会内容の確認・把握と院内情報共有 (毎月)</p> <p>高度新規医療評価部会での協議 (適宜)</p> <p>臨床倫理審査委員会での審議内容の把握 (適宜)</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有) ・ 無</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無

・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有 無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
: 医療安全

【遵守状況の確認】

影響度レベル3a以上のインシデントが発生し報告された時、報告されたインシデントの経過を確認する時、全死亡・死産事例を把握・検討する時に確認が行われている。

【指導の主な内容】

インシデントに関わるIC関連記録に不備・不適切な記載があるもの。

インシデントに関するICの記録がないもの。

診療録

診療録管理室：診療科単位でカルテレビューを行い、対象症例からIC記載等に関する状況を確認し、内容の検討を行って指導している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

カルテ記載状況、退院サマリー・手術記録の承認状況、研修医カルテの承認状況、指導記録の記載状況等を確認し、カルテ委員会にて報告して改善を促している。

診療科単位でカルテレビューを行い、診療録等の記載内容を確認して不十分な点について指導を行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（2）名

うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：別紙⑨参照

■事故防止に関すること

インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる

■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること

基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施

■院内の事故に関すること

状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導

診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底

原因究明・改善策の確認や必要な指導

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)
- ・活動の主な内容：別紙⑩参照

〈「九州大学病院高度新規医療評価部内規」から抜粋〉

第2条により評価部は九州大学病院における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的としている。

第3条では高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器及び高度新規医療についての定義を定めている。

第4条では業務として、第1号で診療科の長から高度新規医療実施申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること、第2号で第1号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること、第3号で高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること、第4号では高度新規医療の提供の適否について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告することを定めている。

第5条では組織、第6条では評価部に高難度新規医療技術評価部門、未承認新規医薬品評価部門、未承認新規医療機器評価部門を置くことを定め、第7条では第6条の部門の責任者、第8条では実務担当者を定めている。

第9条では諮問委員会として、高難度新規医療技術の提供では九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用については九州大学病院臨床倫理委員会を定めている。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)
- ・活動の主な内容：別紙⑩参照

〈「九州大学病院高度新規医療評価部内規」から抜粋〉

第2条により評価部は九州大学病院における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的としている。

第3条では高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器及び高度新規医療についての定義を定めている。

第4条では業務として、第1号で診療科の長から高度新規医療実施申請が行われた場合、申請内容

を確認するとともに諮問委員会に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること、第2号で第1号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること、第3号で高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること、第4号では高度新規医療の提供の適否について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告することを定めている。

第5条では組織、第6条では評価部に高難度新規医療技術評価部門、未承認新規医薬品評価部門、未承認新規医療機器評価部門を置くことを定め、第7条では第6条の部門の責任者、第8条では実務担当者を定めている。

第9条では諮問委員会として、高難度新規医療技術の提供では九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用については九州大学病院臨床倫理委員会を定めている。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑨ 監査委員会の設置状況

有 無

・ 監査委員会の開催状況：年 0 回

・ 活動の主な内容：

平成29年度は2回開催予定（10月23日に第一回委員会を開催予定）

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 無)

・ 委員名簿の公表の有無 (有 無)

・ 委員の選定理由の公表の有無 (有 無)

・ 公表の方法：

HP上に公表している。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学	○	安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
木村早希子	佐賀大学		安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
久保井 摂	九州合同法律 事務所		法律の識見者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
宮部 治恵	キャンサーサ ポート		医療を受ける者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 271 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 120 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。報告の実施状況の確認については、平成28年9月分から医療安全管理部でチェックを行っている。

有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既に実施している。

確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：H29.10.24 予定 鳥取大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：H29.11.14 予定 東京医科歯科大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

○「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置

- ・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼

○「意見箱」：患者、職員等からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置

・外来診療棟1階ロビー、北棟・南棟1階エレベーターホール、及び北棟・南棟5階から11階までの各ラウンジに設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記

- ・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

「医療安全管理に関する基本方針」に記載のとおり、「患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。」体制となっている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）

- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）

- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

・医療安全管理に関する研修

医療安全管理ポケットマニュアル説明会、院内で発生した事例について、B型肝炎の再活性化対策について、歯科診療における誤飲・誤嚥対策、死亡事例報告について、5Sは医療安全の基本、輸血にまつわる素朴な疑問、観血的検査・処置・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方法など

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

・平成29年1月28日（土）に開催された医療安全をテーマとした病院長塾に病院長が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成28年度 医療安全管理研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

No.	開催日	開始時間	時間	場所	受講者数 (研修者数)	(内数)					研修費 (千円)	講師
						医師	看護師	薬剤師	管理職	その他 (研修者)		
1	平成28年4月12日	14:00	80分	西年講堂ホール	1,747	647	52	112	684	252	55	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
2	平成28年4月14日	14:00	80分	西年講堂ホール	1,281	461	25	140	529	116	4	DVD教材使用
3	平成28年5月13日	14:00	60分	臨床大講堂	893	320	3	56	393	121	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
4	平成28年5月16日	14:00	60分	臨床大講堂	1,600	510	0	13	54	2	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
5	平成28年5月18日	14:00	60分	臨床大講堂	1,72	56	19	23	64	10	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
6	平成28年5月20日	14:00	60分	臨床大講堂	531	156	26	117	192	35	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
7	平成28年5月22日	13:30	30分	西年講堂ホール	126	117	0	5	3	1	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
8	平成28年5月24日	13:30	30分	西年講堂ホール	244	74	3	34	110	21	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
9	平成28年5月26日	13:30	30分	臨床大講堂	242	72	6	34	109	21	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
10	平成28年5月28日	13:30	30分	臨床大講堂	303	60	1	35	135	32	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
11	平成28年6月9日	18:30	90分	西年講堂ホール	264	84	8	36	131	5	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
12	平成28年6月20日	18:00	60分	西年講堂ホール	228	129	2	23	33	41	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
13	平成28年6月23日	13:30	30分	西年講堂ホール	126	117	0	5	3	1	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
14	平成28年6月28日	13:30	30分	西年講堂ホール	244	74	3	34	110	21	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
15	平成28年7月18日	13:30	30分	臨床大講堂	242	72	6	34	109	21	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
16	平成28年8月4日	10:00	60分	臨床大講堂	303	60	1	35	135	32	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
17	平成28年8月13日	14:00	60分	臨床大講堂	264	84	8	36	131	5	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
18	平成28年10月11日	18:00	60分	臨床大講堂	228	129	2	23	33	41	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
19	平成28年10月20日	14:00	60分	臨床大講堂	225	124	0	29	66	6	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
20	平成28年10月31日	13:30	90分	西年講堂ホール	188	83	2	18	80	5	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
21	平成28年11月9日	10:00	60分	臨床大講堂	95	70	0	7	5	13	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
22	平成28年11月14日	14:00	60分	臨床大講堂	224	91	4	85	7	7	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
23	平成28年11月18日	18:00	60分	臨床大講堂	224	91	4	85	7	7	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典
24	平成28年11月21日	13:30	60分	臨床大講堂	224	91	4	85	7	7	0	医療安全管理 池田 由美、長 孝子、 グローバリゼーションセンター 安部 幸枝、 日産 義典

No.	開催日	開始時刻	時間	場所	(内容)										開催	
					受講者数 (申込者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)	受講者数 (参加者)		受講者数 (参加者)
38	平成28年12月15日	18:00	10分	臨床小講堂1	129	134	19	7	17	86	0	5	その他 (申込者)	「特別研修科」 岩田 大樹 様子 「研修科」 岩田 大樹 様子	129	
39	平成28年12月22日	18:00	60分	臨床大講堂	138	138	58	7	17	47	9	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	138	
40	平成28年1月18日	17:30	60分	臨床大講堂	103	103	53	3	14	28	5	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	103	
41	平成28年1月30日	17:30	60分	分子科教室	97	97	87	0	8	1	1	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	97	
42	平成28年2月16日	18:20	30分	百年講堂大ホール	109	109	70	6	16	13	4	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	109	
43	平成28年2月1日	17:30	60分	臨床大講堂	71	71	28	6	8	28	1	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	71	
44	平成28年2月15日	17:30	30分	臨床大講堂	142	142	45	4	34	53	6	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子	142	
45	平成28年4月～ 平成29年2月			各自	175	175	143	0	6	25	1	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子		
46	平成28年4月～ 平成29年3月			各自	284	284	199	10	5	58	12	0	その他 (申込者)	「研修科」 岩田 大樹 様子 「特別研修科」 岩田 大樹 様子		
合 計					8,171	8,235	3,366	224	819	3,012	750	64			一人あたり	2.38
必須研修生出席者					3,490	3,539	1,452	79	250	1,216	423	59			回	

No.	開催日	開始時間	時間	場所	講師	受講者数 (人)				参加者数 (人)				分属	研修名	子 - マ	備考	
						受講者数	参加者数	研修費	講師費	受講者数	参加者数	研修費	講師費					
81	平成28年2月16日	13:00	60分		北平建設研修所	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
82	平成28年2月28日	9:00	60分		明大1	1	1	0	0	1	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
83	平成28年2月22日	17:30	60分		WFESスタッフルーム	7	7	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
84	平成28年2月18日	15:00	30分		小笠原村会	3	3	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
85	平成28年2月25日	14:30	30分		フライング	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
86	平成28年2月25日	12:30	60分		フライング	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
87	平成28年11月16日	18:00	60分		足康福祉	3	3	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
88	平成28年2月18日	10:30	30分		副島建設業	2	2	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
89	平成28年2月9日	13:30	60分		向性産業	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
90	平成28年2月17日	15:00	30分		ARQ次世代医療センター	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
91	平成28年3月22日	14:30	60分		ARQ次世代医療センター	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
92	平成28年3月15日	17:30	60分		カンファレンスルーム	2	2	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
93	平成28年2月15日	18:00	60分		カンファレンスルーム	2	2	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
94	平成28年3月10日	14:00	60分		副島建設業研修所	2	2	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
95	平成28年3月29日	14:00	60分		東海分子細胞治療科	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
96	平成28年3月29日	12:05	60分		東海分子細胞治療科	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
97	平成28年3月30日		60分		倉田産科	1	1	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
98	平成28年3月28日	15:00	30分		カンファレンスルーム	3	3	0	0	0	0	0	0	選択	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
99	平成28年3月29日	14:00	60分		カンファレンスルーム	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】	【全労連連済会管理DPO研修会】
開催期間																		
合計						493	493	346	10	83	10	0	0			0.15		3



平成28年度 必須・選択 院内感染対策研修会

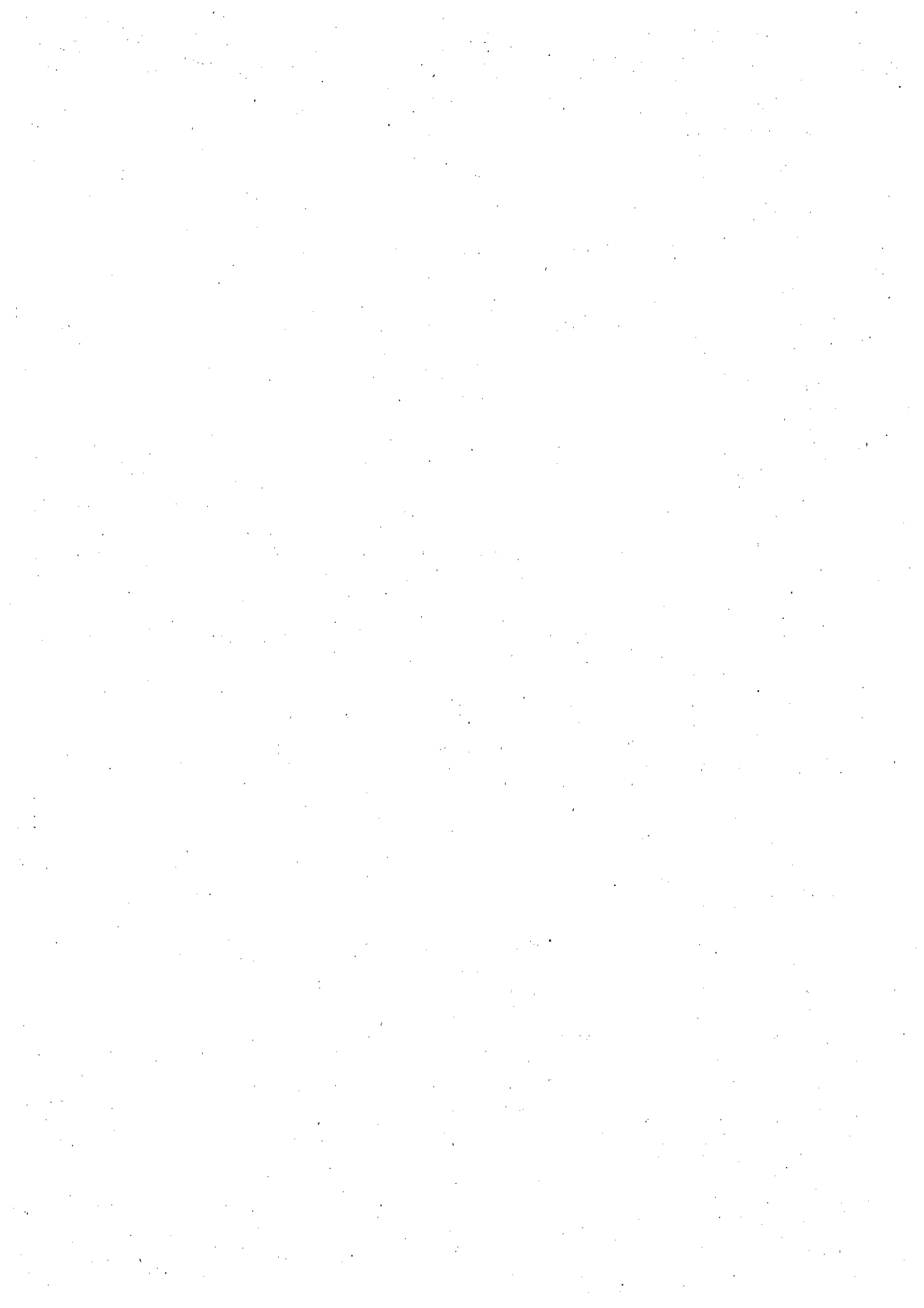
○ 全体 (全病院職員) に向けた内容の研修会 (DVD貸出、出前研修を除く)

No.	開催日	開始時間	時間	場所	受講者数 (名)	(内訳)					研修者名	テーマ	講師	
						医師	看護師	薬剤師	検査技師	事務職員				
1	平成28年4月12日	14:00												
2	平成28年4月12日	17:30	60分	百年講堂大ホール	1,747	647	52	112	684	252		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	坂本 幸三 日産 山田 幸三 日産	
3	平成28年4月14日	14:00												
4	平成28年4月14日	17:30												
5	平成28年4月20日	17:30	20分	科医務部研修室 空室	83	38	0	8	39	0		院内感染対策研修会	山田 幸三 日産	
6	平成28年5月10日	14:00	60分	臨床大講堂										
7		18:00	60分											
8	平成28年5月10日	10:00	60分	臨床小講堂										
9	平成28年5月10日	14:00	60分	臨床小講堂	1,281	463	25	148	529	116		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
10		18:00	60分											
11	平成28年5月10日	14:00	60分	臨床小講堂										
12	平成28年5月10日	17:30	60分	臨床大講堂										
13	平成28年5月20日	14:00	60分	臨床大講堂										
14		18:00	60分											
15	平成28年5月26日	17:30	60分	百年講堂大ホール	893	320	3	56	393	121		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
16	平成28年5月27日	14:00	60分											
17	平成28年5月27日	17:30	60分											
18	平成28年6月20日	18:00	60分	百年講堂大ホール	172	56	19	23	64	10		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
19	平成28年6月20日	17:30	60分	百年講堂大ホール	531	158	28	117	192	36		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
20	平成28年6月20日	17:30	60分	臨床大講堂	244	73	6	34	110	21		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
21		10:00	60分											
22	平成28年6月24日	14:00	60分	臨床大講堂	303	80	1	35	135	52		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
23		18:00	60分											
24	平成28年6月23日	14:00	60分	臨床大講堂	264	84	8	36	131	5		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
25		18:00	60分											
26	平成28年10月11日	18:00	60分	臨床大講堂	228	129	2	23	33	41		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
27	平成28年10月11日	18:00	60分	臨床大講堂	228	129	2	23	33	41		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
28	平成28年10月20日	14:00	60分											
29	平成28年10月20日	18:30	90分	百年講堂大ホール	225	124	0	29	66	6		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
30	平成28年10月31日	17:30	90分	百年講堂大ホール	189	168	3	18	80	5		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
31	平成28年11月15日	10:00	60分											
32	平成28年11月15日	14:00	60分	臨床大講堂	35	95	0	7	5	0		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産	
33	平成28年11月14日	18:00	60分											
34	平成28年11月18日	18:00	60分											
35	平成28年11月21日	17:30	60分	臨床大講堂	274	224	97	31	4	85	7		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産
36	平成28年11月16日	17:30	60分	臨床大講堂	103	103	53	3	14	26	5		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産
37	平成28年11月16日	18:30	90分	百年講堂大ホール	108	108	70	6	16	13	4		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産
38	平成28年6月16日	10:00	60分	百年講堂大ホール	160	160	91	0	13	54	7		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産
39	平成28年10月19日	18:00	60分	百年講堂大ホール	30	30	12	2	8	4	4		院内感染対策研修会 アンチバイオフィームの活用	山田 幸三 日産
合 計					6,860	6,939	2,659	186	701	2,645	685	59	一人あたり	2.00

平成28年度 院内感染対策研修会(必須研修DVD貸出)

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (名)	受講状況				(内訳)				研修名	貸出先	備考	
					受講者数	出席者数	欠席者数	不参加者数	出席者数	欠席者数	不参加者数	その他 (等)				
1	平成28年6月9日	60分	北棟6階研修室	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
2	平成28年6月5日	60分	ICU	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
3	平成28年9月5日	60分	手術室	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
4	平成28年11月28日	60分	第一内科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
5	平成28年11月28日	60分	第一内科	4	4	3	0	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
6	平成28年11月28日	60分	第一内科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
7	平成28年11月28日	60分	第一内科	5	5	2	0	0	0	1	0	2	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
8	平成28年11月28日	60分	NIC	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
9	平成28年11月28日	60分	第一内科	14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
10	平成28年12月10日	60分	五等車庫・研修室外 社	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
11	平成28年2月9日	60分	五等車庫・研修室外 社	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
12	平成28年5月30日	60分	看護管理室	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
13	平成28年5月31日	60分	歯科検査室	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
14	平成28年5月31日	60分	歯科検査室	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
15	平成28年6月3日	60分	南E-2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
16	平成28年6月15日	60分	北3	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
17	平成28年6月15日	60分	北3	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
18	平成28年6月24日	60分	リハビリテーション	3	3	1	0	0	0	2	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
19	平成28年6月24日	60分	リハビリテーション	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
20	平成28年6月28日	60分	北3	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
21	平成28年6月28日	60分	北3	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
22	平成28年7月6日	60分	検査部	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
23	平成28年7月25日	60分	南E-2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
24	平成28年7月27日	60分	口腔腫瘍科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)
25	平成28年8月12日	60分	整形外科	27	27	27	0	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な貸出・了済み ハイオグラムの活用	(DVD貸付)

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (名)	(内訳)					研修者名	テーマ	講師
					受講者数 (名)	医師 研修者	研修 職員	研修 医学生	その他 (研修者)			
27	平成28年9月2日	60分	北10-1	3	0	0	0	3	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
28	平成28年11月10日	60分	眼科会議室	1	1	0	0	0	1	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
29	平成28年11月17日	60分	眼科会議室	20	20	0	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
30				1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
31	平成28年11月22日	60分	眼科会議室	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
32				1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
33				2	2	2	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
34	平成28年11月30日	60分	眼科	3	3	2	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
35	平成28年12月2日	60分	先端工字診療部	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
36	平成28年12月3日	60分	先端工字診療部	3	3	3	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
37	平成28年12月5日	60分	神経内科	15	15	15	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
38	平成28年12月6日	60分	眼科部長	2	2	2	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
39	平成28年12月14日	60分	眼科部長	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
40	平成28年12月15日	60分	薬剤部	1	1	0	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
41	平成28年12月15日	60分	眼科部長	2	2	2	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
42	平成28年12月15日	60分	眼科部長	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
43	平成28年1月30日	60分	看護部内科	4	4	4	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
44	平成28年1月31日	60分	内科内科	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
45	平成28年2月1日	60分	ARG世代医療センター 1F	2	2	2	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
46	平成28年1月30日	60分	眼科部長	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
47				1	1	0	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
48	平成28年2月7日	60分	光学医療部	2	2	0	0	2	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
49	平成28年2月11日	60分	総合外来	2	2	0	0	2	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
50	平成28年2月16日	60分	光学医療部	1	1	0	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
51				1	1	0	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
52	平成28年2月22日	60分	眼科部長	7	7	7	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
53	平成28年2月25日	60分	眼科内科	1	1	1	0	0	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)
54	平成28年3月22日	60分	ARG世代医療センター 1F	1	1	0	0	1	0	0	0	ポットマニアル説明会・院内感染対策上必要な届出・アンプル ハイオグラムの活用 (DVD教材)



No.	開催日	時間	場所	受講者数 (名)	(内訳)						受講者名	開催名	テーマ	講師
					医科	看護	薬剤	検査	放射線	その他 (学生等)				
1	平成28年11月24日	30分	心療内科	8	3	0	2	0	3	0	院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
2	平成28年12月11日	30分	北7階2病棟	1	0	0	0	1			院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
3	平成28年12月6日	60分	経理課庶務第一係	1					1		院内感染防止重要感染予防策	院内感染防止重要感染予防策	(DVD教材)	
4	平成28年12月8日	60分	総合診療科	1					1		抗菌薬の適正使用について-血培養薬のお知らせ	抗菌薬の適正使用について-血培養薬のお知らせ	(DVD教材)	
5	平成28年12月9日	60分	顎口腔外科	9				9			院内感染対策DVD研修会	CDcガイドラインに基づく医療現場における感染対策の実施	(DVD教材)	
6	平成28年12月12日	60分	小児外科	6				6			院内感染対策DVD研修会	処置別感染防止と難患感染予防策	(DVD教材)	
7	平成28年12月15日	60分	病理科	4				3	1		院内感染対策DVD研修会	全職員が知っておきたいスタンダードプリコーション(実践編)	(DVD教材)	
8	平成28年12月20日	60分	第2外科	8				6	2		院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	
9	平成28年12月21日	60分	栄養管理室	4				4			院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
10	平成28年12月22日	60分	皮膚科	10				10			院内感染対策DVD研修会	SSIは医療安全の基本	(DVD教材)	
11	平成28年12月27日	60分	リハビリテーション部	2				2			院内感染対策DVD研修会	全職員が知っておきたいスタンダードプリコーション(実践編)	(DVD教材)	
12	平成28年12月28日	60分	北8階2病棟	2				2	2		院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	
13	平成28年12月28日	60分	北9階1病棟	2				2			院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	
14	平成28年12月29日	60分	歯内治療科	1				1			院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
15	平成29年1月10日	60分	検査部	1				1			院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	
16	平成29年1月12日	60分	口腔顎顔面外科	1				1			院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
17	平成29年1月16日	60分	南5階1病棟	4				4			院内感染対策DVD研修会	全職員が知っておきたいスタンダードプリコーション	(DVD教材)	
18	平成29年1月20日	60分	歯科衛生室	1				1			院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	
19	平成29年2月1日	60分	眼科	4				4			院内感染対策DVD研修会	感染性病原体の伝播予防の基本	(DVD教材)	
20	平成29年2月9日	60分	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1				1			院内感染対策DVD研修会	SSIは医療安全の基本	(DVD教材)	
21	平成29年2月13日	60分	北7階1病棟	1				1			院内感染対策DVD研修会	感染経路予防策	(DVD教材)	

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (名)	受講者数 (名)	(内訳)						研修者名	テーマ	講師
						医師 専科医師	薬剤師	看護師 助産師	事務職員	その他 (学生等)				
22	平成29年3月1日	60分	医療管理課	1	1	0	0	1	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
23	平成29年3月2日	60分	小児科(国産母子)	3	3	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
24	平成29年3月27日	60分	ハートセンター	1	1	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
25	平成28年11月21日	30分	グループA感染症センター	1	1	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
26	平成28年10月25日	60分	カサノカサノカ	2	2	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
27	平成28年9月31日	60分	ウエストウイング1階	3	3	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
28	平成28年11月24日	60分	北5-1	3	3	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
29	平成28年11月30日	30分	顎口癌外科	2	2	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
30	平成28年12月3日	30分	病態制御内科学	8	8	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
31	平成28年12月5日	30分	神経内科	26	26	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
32	平成28年12月6日	30分	ICU	12	12	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
33	平成28年12月6日	30分	経理課	3	3	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
34	平成28年12月6日	30分	薬剤部	9	9	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
35	平成28年12月6日	60分	ICU	6	6	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
36	平成28年12月7日	60分	小児外科医	8	8	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
37	平成28年12月8日	30分	階11	4	4	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
38	平成28年12月14日	60分	矯正歯科医局	2	2	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
39	平成28年12月14日	60分	MIC	2	2	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
40	平成28年12月15日	60分	薬剤部	3	3	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
41	平成28年12月15日	60分	薬剤部	23	23	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
42	平成28年12月13日	30分	国際医学講座	8	8	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
43	平成29年1月6日	30分	顎口癌外科医局	8	8	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)
44	平成28年12月28日	60分	第2外科	12	12	0	0	0	0	0	0	院内感染対策DVD研修会	院内感染防止と職業感染予防策	(DVD教材)

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (名)	受講者数 (名)	(内訳)					研修会名	テーマ	講師		
						医師 講師	薬剤師 講師	技師系 職員	看護系 職員	専任職員 (学生)				その他 (学生)	
68				2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	(DVD教材)	
69				1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	(DVD教材)	
70				1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	(DVD教材)	
71	平成29年3月30日	60分	小瀬川管外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	(DVD教材)	
72				3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	(DVD教材)	
合計				339	339	238	10	23	53	15	0	1人当たり	0.1回		

色つき部署は複数回貸出だが、研修会開催は1回に換算。総貸出数から該当部分を減じた62回を研修会の回数とする。

平成28年度 院内感染対策研修会

○ 出前研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (1名あたり)	(人数)					研修会名	テーマ	講師	
					医師 数(名)	看護師 数(名)	事務職員 数(名)	その他 職員(名)	研修員 数(名)				
1	平成28年4月12日	60分	小児科	37	41	36	0	0	1	4	院内感染対策	グロリー/小児感染症センター 助教 西尾 香葉	
2	平成28年5月16日	60分	救命救急センター	43	43	25	0	1	17	0	予備衛生	グロリー/小児感染症センター 助教 西尾 香葉	
3	平成28年5月30日	60分	小児外科	20	20	12	0	1	7	0	病院小児科感染症対策を基として	グロリー/小児感染症センター 助教 西尾 香葉	
4	平成28年7月5日	60分	小児科	35	35	33	0	2	0	0	小児科カンファレンス	グロリー/小児感染症センター 助教 西尾 香葉	
5	平成28年7月25日	60分	心臓血管外科	15	15	15	0	0	0	0	院内感染対策講習	グロリー/小児感染症センター 助教 西尾 香葉	
合 計				150	154	121	0	4	24	11	4	0.04	回



平成28年度 医薬品安全管理研修会

別紙⑦

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成28年6月20日	60分	百年講堂大ホール	172	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	・抗菌薬の適正使用 ・医薬品の安全管理について	・薬剤部 山田 孝明 ・薬剤部 吉田 実
2	平成28年6月23日	60分	百年講堂大ホール	531	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	当院におけるB型肝炎の再活性化対策について	検査部 後藤和人
3							
小計				703			

○ 採用者への研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成28年4月5日	60分	外菜棟5Fカンファレンスルーム	11	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部 副薬剤部長 金谷朗子
2	平成28年5月12日	60分	臨床小講堂	106 名 ¹	新採用者1ヶ月フォローアップ研修・看護実践研	医薬品の管理と安全管理について	薬剤部 副薬剤部長 渡邊裕之
小計				117			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成28年4月12日	30分	南7階カンファレンス室	10	病棟看護師向け講義	北10階 授与時の注意点～レミケド、R-CHOP	薬剤部 貴島 幸子 薬剤師
2	平成28年6月30日	60分	南7階カンファレンス室	10	病棟看護師向け講義	南7-2階 脳神経外科 麻薬に関する講義	薬剤部 松本 慎太郎 薬剤師
3	平成28年7月9日	60分	臨床小講堂	21 名	第21回 静脈注射認定看護師(Nアース)認定研	薬剤に対する基礎知識～特に注射剤について～	薬剤部 副薬剤部長 渡邊裕之
4	平成28年8月3日	30分	WW1階カンファレンス室	6	精神科病棟看護師向け講義	糖尿病	薬剤部 釜 昌敏 薬剤師
5	平成28年9月23日	45分	北棟3Fハートセンター	14	病棟看護師向け講義	糖尿病薬に関する講義	薬剤部 齋藤 麻美
6	平成28年10月21日	45分	北9階病棟	8	病棟看護師向け講義	すい臓の化学療法に関する講義	薬剤部 吉澤 裕子
7	平成28年10月27日	30分	南7階カンファレンス室	8	病棟看護師向け講義	医薬品に関する講義	薬剤部 松本 慎太郎
8	平成28年11月14日	30分	北7階カンファレンス室	14	北7-2 ナースカンファレンス	神経内科における薬物療法	薬剤部 尾川 理恵
9							
10							
小計				91			

平成28年度 医療機器安全管理研修会

別紙⑧

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成28年6月8日	90分	百年講堂大ホール	160	第34回呼吸管理セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全のための気道確保 呼吸器感染症への対応 生体監視モニターの設定と確認事項について 	<ul style="list-style-type: none"> 手術部 松下 克之 呼吸器科 三雲 大功 MEセンター 藤原 明弘
2	平成28年7月29日	60分	種床大講堂	244	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医療機器安全管理委員会共催)	<ul style="list-style-type: none"> 海外渡航の際に注意すべき感染症 徐細動器の取り扱いについて 	<ul style="list-style-type: none"> グロームハル感染症センター 豊田一弘 MEセンター 徳本裕哉
3	平成28年10月20日	90分	百年講堂大ホール	225	第35回呼吸管理セミナー	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療で望む医療安全【術前の肺機能評価は重要です】 床下障害と可燃性肺炎 NPV・ネーザルハイフロー管理 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器科 松元 幸一郎 看護部 吉村 久美子 救急救命センター 水口 壮一
4	平成28年10月31日	60分	百年講堂大ホール	188	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医療機器安全管理委員会共催)	<ul style="list-style-type: none"> 内視鏡検査と感染症・安全管理 内視鏡の取り扱いについて 	<ul style="list-style-type: none"> 光学医療診療部 助教 前島 裕司 MEセンター 臨床工学技士 峰 俣太郎
5	平成29年2月16日	0:00分	百年講堂大ホール	109	第36回呼吸管理セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠時無呼吸症候群がもたらすリスクとそのマネージメント 医療安全・リスクマネージメント 小児・新生児呼吸器 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠時無呼吸センター センター長 安藤 真一 看護部 池田 由美 小児科 神野 俊介
小計				766			



医療安全管理マニュアル（抜粋）

4) 医療安全管理部

医療安全管理委員会を有効に機能させるため、医療安全管理部教授を部長とする医療安全管理部を設置する。(医療法施行規則第9条の23第1項第1号ロ)

医療安全管理部には、業務の中核を担うセーフティマネージャーを置く。(医療法施行規則第9条の23第1項第1号イ)

医療安全管理部は、医療安全管理委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に院内の安全管理を担う。

医療安全管理部は次の業務を行う。

1. 医療法上、医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
- ② 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
- ③ 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
- ④ 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。
- ⑤ 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- ⑥ その他医療安全対策の推進に関すること。

2. 医療法上行わなければならない業務

- ① インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
- ② 医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること。

3. 医療安全対策加算のために医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録していること。
- ② 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録していること。
- ③ 医療安全対策に係わる取組みの評価等を行うカンファレンスが週1回程度開催されており、医療安全管理委員会及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者が参加していること。

4. その他

- ① 医療安全管理マニュアルの編集及び見直しに関すること。

九州大学病院高度新規医療評価部内規

施行 平成29年 4月 1日

(趣旨)

第1条 この内規は、九州大学病院内規第11条第4項の規定に基づき、九州大学病院高度新規医療評価部（以下「評価部」という。）の組織その他必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 評価部は、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の23第1項第7号口及び第9条の23第1項第8号口の規定並びに当該規定に係る厚生労働省告示に基づき、九州大学病院（以下「本院」という。）における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的とする。

(定義)

第3条 この内規において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 高難度新規医療技術 本院で実施したことのない医療技術（軽微な術式の変更等を除く。）であってその実施により患者の死亡その他の重大な影響が想定されるもの
- (2) 未承認新規医薬品 本院で使用したことのない医薬品であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (3) 未承認新規医療機器 本院で使用したことのない高度管理医療機器であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (4) 高度新規医療 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療

(業務)

第4条 評価部の業務は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 診療科の長から高度新規医療実施申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、第9条に規定する各委員会（以下「諮問委員会」という。）に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
- (2) 前号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて、定期的に確認すること。
- (4) 高度新規医療の提供の適否等について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

(組織)

第5条 評価部に、部長及び部員を置く。

- 2 部長は、安全管理・危機管理担当副病院長をもって充てる。
- 3 部長は、評価部の業務を統括する。
- 4 部員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 医療安全管理部長
 - (2) 医薬品安全管理責任者
 - (3) 医療機器安全管理責任者
 - (4) 麻酔科蘇生科科長
 - (5) 手術部副部長のうちから選ばれた者 1人
 - (6) 医師ゼネラルリスクマネージャー
 - (7) 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー

- (8) 看護師ゼネラルリスクマネージャーのうちから選ばれた者 1人
- (9) 臨床工学技士ゼネラルリスクマネージャー
- (10) インフォームド・コンセント小委員会委員長
- (11) その他評価部が必要と認めた者 若干人

(部門)

第6条 評価部に、次に掲げる部門を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門
- (2) 未承認新規医薬品評価部門
- (3) 未承認新規医療機器評価部門

(責任者)

第7条 各部門に次のとおり責任者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 医療安全管理部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 医薬品安全管理責任者
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 医療機器安全管理責任者

(実務担当者)

第8条 各部門に次のとおり実務担当者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 手術部副部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 臨床工学技師ゼネラルマネージャー

(諮問委員会)

第9条 評価部は、高度新規医療の提供の適否等について、内容に応じて次の委員会に意見を求めるものとする。

- (1) 高難度新規医療技術の提供 九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会
- (2) 未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用 九州大学病院臨床倫理委員会

(秘密の保持)

第10条 評価部の構成員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(事務)

第11条 高度新規医療評価部に関する事務は、研究支援課の協力を得て医療管理課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、評価部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

(様式第 8)

九大院医医第 63 号
平成 29 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

九州大学病院
石橋 達

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

・日本医療機能評価機構が実施する研修会に平成 29 年度から参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（2）名
うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名
うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

・医師、看護師については、専従を配置しているが、薬剤師については、専従の配置は出来ていない。今後は、薬剤師について平成 30 年 3 月までに専任、平成 32 年 3 月までに専従と段階を踏んで配置する予定である。

